

# 横須賀市 博物館報



横須賀市博物館報 第 69 号 2022 年 12 月

- 目 次 -

は じ め に

博 物 館 事 業 報 告

|             |    |
|-------------|----|
| 1 特別展示・企画展示 | 3  |
| 2 研究発表会     | 30 |
| 3 講演会       | 32 |
| 4 調査等出張     | 33 |
| 5 ニュース      | 47 |
| 6 アンケート     | 48 |

博物館事業概要 令和3年度(2021年4月～2022年3月)

|                        |      |
|------------------------|------|
| 7 展示教育普及事業             |      |
| (1) 主催事業①(展示)          | 54   |
| (2) 主催事業②(学習会)         | 57   |
| (3) 主催事業③(イベント等その他)    | 59   |
| (4) 主催事業④(出版・制作)       | 62   |
| (5) 共催・協力事業            | 63   |
| (6) 学校教育等指導・対応         | 64   |
| (7) 学校教育以外の指導・対応       | 65   |
| (8) 報道発表・取材等協力         | 67   |
| 8 収集調査研究事業             |      |
| (1) 調査・研究              | 71   |
| (2) 研究発表・執筆            | 72   |
| (3) 学術研究団体・会議等協力       | 74   |
| 9 分類整理保存事業             |      |
| (1) 資料の寄贈・借用           | 76   |
| (2) 登録資料               | 76   |
| (3) 資料の利用              | 77   |
| (4) 資料の保守・保存環境保全       | 79   |
| 10 管理事業                |      |
| (1) 施設利用               | 81   |
| (2) 開館園日数・入館園者数        | 82   |
| (3) 人 事                | 82   |
| (4) 予 算                | 82   |
| (5) 営繕工事               | 83   |
| (6) 消防訓練・避難訓練          | 83   |
| (7) ホームページ・メールマガジン・SNS | 83   |
| (8) 講習会等の参加            | 83   |
| 職員名簿(令和3年度)・表紙写真解説     | 裏表紙裏 |

## は じ め に

令和3年度も新型コロナウイルスの影響を大きく受けた1年となりました。神奈川県では、4月20日から8月1日まで「まん延防止等重点措置」が適用され、8月2日から9月30日まで「緊急事態宣言」が発令、4年1月21日から3月21日まで「まん延防止等重点措置」が再び適用されました。これに伴い、本館と馬堀自然教育園では8月24日から9月23日、天神島臨海自然教育園とヴェルニー記念館では8月24日から9月30日まで臨時休館・休園となり、期間中の博物館行事は中止または延期となりました。

一方、令和2年度は延期とした特別展示「足跡から探る太古の世界―恐竜からナウマンゾウまで―」を7月から翌年1月まで開催し、臨時休館を挟みましたが多くの来場者を迎えることができました。また、4月には博物館に隣接する中央公園が「平和中央公園」としてリニューアルされ、これに合わせて中央公園をテーマとした企画展示「中央公園ものがたり―砲台山から中央公園、そして平和中央公園へ―」を開催及び平和中央公園での博物館行事を実施しました。大変うれしいことに、平和中央公園を訪れた方が博物館にも足を運んでくださるようになりました。さらに、「一般財団法人シティサポートよこすか」から文化事業の一環として、デジタルサイネージを寄贈していただきました。自然館（ナウマンゾウ側）入口に設置し、来館者のみなさまに博物館の行事や展示などをわかりやすくお伝えできるようになりました。そのほかにも本館の展示の一部を更新して最新の情報を提供できるようになったほか、人文博物館の外壁工事等の営繕工事を実施しました。

コロナ禍で減少していた来館者数は、本館については、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度より増加し、附属施設も合わせた来館園者数は令和元年度の3/4まで回復しました。まだまだ新型コロナウイルスと向き合う日々が続くと予想されますが、当館は皆様に三浦半島の自然と歴史をわかりやすく伝えられるよう一層努めてまいります。引き続き皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

横須賀市自然・人文博物館

《ポスター》



特別展示  
「足跡化石から探る太古の世界—恐  
竜からナウマンゾウまで—」



企画展示①  
「第 32 回全国「みどりの愛護」のつ  
どい開催記念 中央公園ものがた  
り 一砲台山から中央公園、そして平  
和中央公園へ」



企画展示②  
「新着資料展 2022—近年収蔵の近現  
代史料から—」



みんなの理科フェスティバル

## 博物館事業報告

### 1 特別展示・企画展示

#### (1) 特別展示

#### 「足跡化石から探る太古の世界—恐竜からナウマンゾウまで—」

横須賀市自然・人文博物館がこれまでに収集した恐竜をはじめとする足跡化石資料 128 点を一堂に展示した。展示マスコットキャラクター 2 体（ユーくん、すかぞう）を設定し、古生物復元画は北村雄一氏のイラストを用いた。足跡化石研究者 3 人（ロックレイ M. G., ミルナー A. R. C., 松川正樹）より執筆いただいた記事をパネル展示した（記事全文は展示解説書参照）。資料の収集、展示物の開発には JSPS 科研費 JP17K12968 の助成を受けた。

担当：柴田

#### 開催場所

本館特別展示室

#### 開催期間

7 月 24 日（土）～ 4 年 1 月 10 日（月・祝）（12 月 26 日（日）までの開催期間を延長）[115 日間]

#### 見学者数

23,025 人

#### 関連事業

- ・展示解説 7 月 24 日（土）、8 月 7 日（土）、10 月 16 日（土）
- ・講演会（新型コロナウイルス感染症拡大のため中止）
- ・展示解説書「足跡化石から探る太古の世界—恐竜からナウマンゾウまで—」
- ・オリジナルグッズの販売「巾着」3 種、「缶バッジ」2 種
- ・児童図書館とのコラボレーション  
児童図書館入口付近に古生物に関する書籍を集めたコーナーを設置し、そのチラシを特別展示室入口付近に配架した。

#### 展示内容

展示資料、展示物、解説パネル全文を以下に掲載する。

#### 「入口ゲート」

- ・入口ゲート 木工造作、壁面装飾
- ・映像「展示資料の見どころ：足跡化石と足跡化石を残した動物」約 1 分 30 秒  
フォトグラメトリーで作成した足跡化石 3D モデル 5 点を動画で紹介した。
- ・特別展示記念スタンプ 2 件（ユーくん、すかぞう）

#### 「ごあいさつ」

- ・展示解説書の見本
- ・パネル 1 枚（以下全文）

#### ごあいさつ

全国の博物館では恐竜やナウマンゾウといった古生物の骨格が数多く展示され、展示の目玉となっています。太古の動物たちは、骨の化石のほかに、足跡を地層の中



マスコットキャラクターの  
ユーくん（左）とすかぞう（右）



入口ゲート

に残しました。足跡化石は骨の化石に比べ、博物館で展示されることが少ないようです。今回の特別展示では、足跡化石に注目しました。足跡化石は、過去の動物の行動を直接、地層の中に記録していて、骨の化石からはわからない過去の動物の行動や生態、古環境を解き明かすカギとなります。この特別展示は、当館が収集した足跡化石を一同に公開するものです。アメリカの恐竜の足跡化石や、日本のゾウやシカの足跡化石を、日本初公開の標本を含め数多く展示します。横須賀は初めてナウマンゾウの化石が見つかった場所ですが、残念ながら横須賀からナウマンゾウの足跡化石は見つかっていません。今後ナウマンゾウの足跡化石が横須賀から見つかることを期待しつつ、足跡化石から太古の動物や古環境について考える機会となれば幸いです。

令和 3 年（2021 年）7 月 24 日  
横須賀市自然・人文博物館

#### 協力機関一覧（50 音順）

神奈川県立生命の星・地球博物館、慶應義塾幼稚舎、滋賀県立琵琶湖博物館、セントジョージ恐竜発見産地博物館、野毛山動物園、野尻湖ナウマンゾウ博物館、モアブジャイアンツ博物館

#### 協力者一覧（50 音順）

石浜佐栄子、伊藤 慎、岡咲航平、北川博道、北村雄一、柊原礼土、近藤洋一、里口保文、高橋啓一、樽 創、西田尚央、葉室俊和、松川正樹、アンドリュー R. C. ミルナー、マーチン G. ロックレイ

#### 「1. 足跡化石の世界へようこそ」

- ・映像「足跡を残す肉食恐竜」約 30 秒、モアブジャイアンツ博物館提供
- ・体化石資料 1 点
- ・生痕化石（足跡化石を除く）資料 3 点
- ・足跡化石資料 2 点
- ・足跡化石ラバーモールド 1 点
- ・現生動物の足型資料 3 点
- ・パネル 1 枚（以下全文）

#### 1. 足跡化石の世界へようこそ

##### 1-1. 足跡化石とは

動物の足跡は、長い時間をかけて化石になることがあります。恐竜の骨や貝殻など、生き物の体全体やその一部が化石になったものを体化石といいます。一方、巣穴や糞、胃石のように、生き物の生活のあとが化石になったものを生痕化石といいます。足跡化石も生痕化石の 1 つです。また、1 匹の動物が残した 2 つ以上の連続した足跡を歩行跡と呼びます。

##### 1-2. 足跡化石の作り方

洪水などで足跡の上に砂や泥が降り積もると、長い時間をかけて砂や泥が固い地層になり、足跡化石が保存されます。足跡化石は地層面（層理面）に見られることが普通ですが、地層の断面でも、しま模様のへこみとして見つかることがあります。

##### 1-3. 足跡化石が見つかる地層

足跡化石はおもに河川、湖、海岸、干潟、砂漠のオアシスなどでつくられた地層から見つかります。



全景その 1



全景その 2

## 1-4. 足跡化石産地の調査

1. 産状の確認
2. 足跡化石産地マップの作成
3. 足跡化石と歩行跡の計測
4. 足跡化石の採集・型どり・トレース

## 1-5. フォトグラメトリー

近年は多数の写真からコンピュータ上で 3D モデルや深度マップ、ひずみを補正したオルソフォトをつくる、フォトグラメトリーという手法が発達し、足跡化石研究にも応用されています。

## 1-6. 動物の歩き方

趾行：かかとを地面につけない歩き方。獣脚類、鳥脚類、イヌ、ネコ、鳥類など

蹠行：かかとを地面につける歩き方。竜脚類、クマ、ヒトなど。

蹄行：ひづめだけで歩く歩き方。ゾウ、ウマ、ウシなど。

肉食恐竜である獣脚類は二足歩行で、かかとを地面につけないで歩くため、人間の足の人差し指、中指、薬指に相当する第 2 指、第 3 指、第 4 指からなる 3 本指の足跡を残します。

## 1-7. 足跡を残した動物と足跡化石の名前

足跡化石のかたちや、同じ地層から発見される体化石をもとに、足跡化石を残した動物を推定できます。また、体化石や現在の動植物と同じように、ラテン語で書かれた学名が与えられることがあります。足跡化石の学名は属名（生痕属）と種小名（生痕種）からなり、体化石とは異なる足跡化石専用の学名が与えられます。「isp.」は「ichnospecies（生痕種）」の略で、生痕種が明らかでない時に用いられます。

い時に用いられます。

## 「2. アメリカ・ユタ州の恐竜足跡化石」

- ・足跡化石資料 32 点
- ・現生動物足型資料 1 点
- ・映像「セントジョージ恐竜発見産地博物館 SGDS」約 12 分、SGDS 提供
- ・パネル 4 枚（以下全文）

## 2. アメリカ・ユタ州の恐竜足跡化石

## 2-1. ユタ州の地形と地質

ユタ州はアメリカ西部に位置します。ユタ州の南東部はコロラド高原の一部で、古生代から新生代につくられた地層がほぼ水平に積み重なり、足跡化石が多く見つかります。

## 2-2. モアブの足跡

ユタ州東部の街モアブの周辺では、古生代ペルム紀から中生代白亜紀の地層が観察でき、足跡化石産地が多数見つかっています。2016 年、恐竜の足跡化石を中心に展示するモアブジャイアンツ博物館がオープンしました。

## 【デルタポダス】

モアブジャイアンツ博物館がつくられた場所から見つかった足跡です。短い 3 本の指と大きな長いかかとを持ち、植物食恐竜ステゴサウルス類の足跡と考えられています。同じ場所から、鳥脚類の足跡ディネヒクヌス？も見つかりました。

## 【エオアノモエプス】

モアブ北の後期三畳紀の地層から見つかった、アノモエプスに似た足跡です。2018 年にエオアノモエプスと



1. 足跡化石の世界へようこそ



2. アメリカ・ユタ州の恐竜足跡化石

名付けられました。

#### 【走った肉食恐竜】

モアブ南方のメールステーションの恐竜足跡化石産地では、前期ジュラ紀の地層から、獣脚類の足跡と歩行跡がたくさん見つかりました。歩行跡から恐竜の歩行速度が計算できます。この足跡化石産地の歩行跡には、獣脚類が時速 28 ~ 49 km で走ったことを示すものがありました。

#### 【ミルキャニオンの恐竜足跡化石産地】

モアブ北方のミルキャニオンでは、前期白亜紀の地層から 170 個以上の足跡化石が見つかっています。獣脚類、竜脚類、鳥脚類といった恐竜の足跡や、鳥類の足跡です。

#### 【足跡からわかる恐竜の歩行速度】

動物が走るときは、歩くときに比べてステップとストライドが長くなります。イギリスの動物学者アレクサンダーは、動物のストライドと腰の高さがわかれば歩行速度が計算できること、恐竜の腰の高さは足跡の長さのおよそ 4 倍であることを発見しました。つまり、恐竜の足跡の長さとストライドがわかれば、その歩行跡を残したときの恐竜の歩行速度が計算できます。右のグラフを使うと、計算をしなくても簡単に歩行速度が推定できます。

### 2-3. セントジョージの足跡化石産地 (SGDS)

ユタ州セントジョージで、2000 年に肉食恐竜である獣脚類の足跡化石がたくさん見つかりました。足跡化石産地にはセントジョージ恐竜発見産地博物館 (SGDS) がつくられ、2005 年にオープンしました。ここでは SGDS の化石を詳しくご紹介しましょう。

#### 【セントジョージ周辺の地層】

SGDS の地層は、前期ジュラ紀、約 2 億年前の乾燥した気候の下、河川や湖でつくられたモエナビ層です。足跡化石が多く見つかるのは湖のほとりでつくられた地層です。この湖はユタ州南西部の低地のニックネーム“ディキシー”にちなんでディキシー湖と呼ばれています。

#### 【SGDS の化石】

小さな獣脚類の足跡グララターと、大きな獣脚類の足跡ユーブロンテスが多く見つかります。それぞれ肉食恐竜のメガプノサウルスとディロフォサウルスの足跡と考えられています。植物食恐竜である初期の鳥盤類や、初期のワニ類などの足跡化石も発見されました。獣脚類の歯や椎骨、魚類といった体化石も産出しています。

#### 【グララター】

3 本の指からなる小さな足跡です。SGDS で一番多く見つかる足跡です。メガプノサウルス、またはそれに似た小型の獣脚類が残した足跡と考えられています。

#### 【ユーブロンテス】

グララターよりも大きく、がっしりとした 3 本の指からなる足跡です。第 1 指と尻尾の跡がある足跡や、ユーブロンテスよりややほっそりとした指の足跡もまれに見つかり、それぞれギガンディプス、カヤンタプスと呼ばれています。これらの足跡化石は、獣脚類のディロフォサウルスのなかまが残したと考えられています。

#### 【アノモエプス】

ほっそりとした 3 本の指からなり、指の間の角度が広い足跡です。植物食恐竜である初期の鳥盤類スクテロサウルスなどが残しました。まれに前足の足跡も見つかります。初期の鳥盤類は主に二足歩行し、たまに四足歩行をしていました。

#### 【バトラコプス】

四足歩行で、前足、後足とも 4 本指からなる小さな足跡です。初期のワニ類プロトスクスなどが残したと考えられています。

#### 【足跡に残る皮膚の跡】

ユーブロンテスのナチュラルキャストには、皮膚の跡が残されているものもあります。皮膚の跡はデコボコしていて、まるでダチョウの足の裏の皮膚のようです。

#### 【泳いだ肉食恐竜】

平行な 3 本のひっかいたような跡は、獣脚類が水底をけて泳いだ跡と考えられています。SGDS からは魚類の化石も見つかるため、獣脚類はディキシー湖を泳いでエサとなる魚を探していたのでしょう。

#### 【しゃがんだ肉食恐竜】

左右にならんだ足跡は少なくとも 3 つ重なり、獣脚類が 2 回、姿勢を変えたことがわかります。足跡にはかかとの跡があり、足跡の後方には恥骨、つまりお尻の跡もあります。さらに前足を地面につけた跡も残っています。獣脚類のしゃがんだ様子がよくわかります。

#### 【前期ジュラ紀の生態系】

SGDS では、獣脚類や初期のワニ類といった肉食動物の足跡が多く見つかり、植物食動物の足跡はわずかに見つかるだけです。肉食動物が魚をエサにするために湖の周辺に多く集まっていたのかもしれませんが。もしくは前期ジュラ紀には肉食動物の数が多く、植物食動物の数が少なかったのかもしれませんが。コロラド高原の前期ジュラ紀の地層からも、やはり獣脚類の足跡が多く見つかります。

いずれにせよ、この時代の獣脚類は乾燥した環境で活

発に動き回っていたようです。

### 「3. 地質時代と足跡化石」

- ・足跡化石資料 81 点 (大型資料 8 点は特別展示室奥の壁面に展示)
- ・体化石資料 1 点
- ・パネル 2 枚 (以下全文)

#### 3. 地質時代と足跡化石

足跡化石から、地質時代の陸生動物の移り変わりや、動物の体の大きさの変化などがわかります。ここでは、アメリカ・コロラド高原の恐竜の足跡化石を中心に、古生代から新生代の足跡化石を紹介します。

##### 3-1. 古生代の足跡：陸生動物の出現

古生代デボン紀には陸上で生活する両生類が現れ、石炭紀には初期のは虫類や、ほ乳類の祖先である単弓類が現れました。ペルム紀には、すべての大陸が集まってパンゲアという大きな大陸ができました。ペルム紀の終わりには史上最大規模といわれる大量絶滅が起こり、多くの海洋生物が姿を消しました。多くの陸上で生活する動物も絶滅しましたが、両生類や・は虫類、単弓類の一部は生き残りました。ペルム紀の地層からは、両生類や単弓類などの足跡が見つかります。

##### 【狩りを示す足跡】

小さな動物が大きな動物に食べられてしまったことを示す 2 つの歩行跡です。

##### 3-2. 中生代三畳紀の足跡：さまざまなは虫類と恐竜の登場

三畳紀もパンゲア大陸が存在していました。内陸では乾燥した気候でしたが、現在のアメリカ西部などの低緯度の沿岸地域ではモンスーンによって湿った場所もありました。三畳紀はさまざまなは虫類が栄えた時代で、後期三畳紀には最初の恐竜が出現しました。しかし恐竜は陸生動物の一部でしかなく、体もさほど大きくありませんでした。

##### 【多様なは虫類の足跡】

足跡化石から、三畳紀には多様なは虫類が生息していたことがわかります。

##### 【恐竜の足跡】

後期三畳紀の地層からは、獣脚類や古竜脚類など恐竜の足跡も見つかります。

##### 3-3. 中生代ジュラ紀の足跡：恐竜の繁栄と大型化

パンゲア大陸は分裂し、北のローラシア大陸と南のゴンドワナ大陸に分かれました。三畳紀に生息した多様なは虫類の多くは三畳紀末に絶滅しましたが、恐竜は生き残ってジュラ紀に大繁栄しました。前期ジュラ紀には三畳紀よりも大きな獣脚類が現れ、後期ジュラ紀にはアロサウルスのようなさらに大きな獣脚類が登場しました。首の長い植物食恐竜のグループのうち、古竜脚類は前期ジュラ紀の終わりに姿を消しましたが、竜脚類は後期ジュラ紀に大型化して栄えました。

##### 【砂漠の恐竜たち】

前期ジュラ紀のアメリカ西部には広大な砂漠が広がり、恐竜を含む多くの動物が生活していました。

##### 【翼竜の足跡】

翼竜の足跡から、翼竜が四足歩行をしたことがわかりました。

##### 【恐竜の大型化】

恐竜が後期三畳紀からジュラ紀にかけて大型化していったことがわかります。

##### 【竜脚類の足跡】

竜脚類がならんで歩き、群れで行動したことを示す歩行跡が見つっています。

##### 3-4. 中生代白亜紀の足跡：鳥類の多様化と恐竜の絶滅

白亜紀は大陸の分裂が進み、温暖な気候が続きました。獣脚類やイグアノドンのような鳥脚類、体がよろいでおおわれたアンキロサウルス類、トリケラトプスのような角竜類などの恐竜が栄えました。鳥類は後期ジュラ紀に獣脚類から進化し、白亜紀になるとより多くみられるようになりました。白亜紀の終わりには恐竜やアンモナイトなど多くの生物が絶滅しました。この絶滅は隕石の衝突が原因とする説が有力です。

##### 【多様な鳥類の足跡】



3. 地質時代と足跡化石

後ろに向いた第 1 指の跡がある足跡、X 字型を示す足跡、水かきの跡がある足跡など、いろいろなタイプの鳥類の足跡が見つかります。

#### 【アンキロサウルス類の足跡】

全身がよろいにおおわれたアンキロサウルス類は後期白亜紀によく栄えましたが、不思議なことに足跡は白亜紀中ごろの地層からたくさん見つかります。

#### 【ドロマエオサウルス類の足跡】

鳥類に近縁なドロマエオサウルス類は、後足の第 2 指に大きなかぎ爪があり、このかぎ爪を地面から浮かせて歩きました。そのため 2 本指の足跡が残されました。

#### 【鳥脚類の足跡】

白亜紀によく栄えた植物食恐竜の 1 つはイグアノドンに代表される鳥脚類です。いろいろな年齢の鳥脚類が残した、さまざまな大きさの足跡が見つかります。同じ方向を向いた平行な歩行跡は、鳥脚類が群れで行動していたことを示しています。また、皮膚の跡が残った足跡もあります。

#### 【恐竜の絶滅】

白亜紀の終わり、アンモナイトや恐竜が絶滅しました。恐竜時代最後の地層からは、ティラノサウルス、鳥脚類、トリケラトプス、ワニのような虫類チャンプソサウルス、ほ乳類の足跡などが見つかります。新生代の地層からは確実な恐竜の足跡は見つかっていません。

### 3-5. 新生代の足跡：ほ乳類と鳥類の時代

新生代に栄えたのがほ乳類と鳥類です。現在を含む新生代第四紀は氷河時代ともよばれ、寒冷な氷期と温暖な間氷期が繰り返し訪れました。新生代の地層からは、鳥類やゾウ、サイ・バクなどの奇蹄類、シカなどの偶蹄類、人類などの足跡が見つかります。

#### 【エサを探した鳥類の足跡】

歩行跡に沿って、鳥類がエサを探しながら湖岸の泥をくちばしでつついた跡が見られます。

### 「4. 日本の足跡化石」

- ・足跡化石資料 12 点
- ・床面足跡化石産地シート 1 枚
- ・パネル 2 枚 (以下全文)

### 4. 日本の足跡化石

#### 4-1. 中生代の足跡：日本の恐竜たち

1985 年に群馬県の前期白亜紀の地層から、恐竜の足跡が日本で初めて確認されました。それ以降、これまでに福島県、長野県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、山口県、熊本県の中生代の地層から、恐竜、翼竜、鳥類の足跡が見つかります。中生代の日本列島は、ユーラシア大陸の東のはじにありました。そのため、日本の中生代の地層からは、韓国や中国、タイなどの足跡化石と似た足跡化石が見つかります。

#### 【手取層群・神通層群の足跡】

日本の中生代の足跡化石の多くは、前期白亜紀の地層



3. 地質時代と足跡化石 (大型資料)

から見つかったものです。特に、石川県、福井県、岐阜県に分布する手取層群や、富山県に分布する神通層群から、恐竜、鳥類、翼竜の足跡が見つかっています。この地域の地層からは、獣脚類と鳥脚類の恐竜足跡が多く見つかります。

#### 【アジアノボダス】

石川県の手取層群から発見された獣脚類の足跡で、4つの足跡が2つの歩行跡をつくっています。歩行跡はほぼ平行で、同じ向きを示しています。2匹の恐竜が群れで行動していたのかもしれません。

#### 4-2. 新生代の足跡：大陸からやってきた動物たち

新生代新第三紀中新世（2,000 万～1,500 万年前ごろ）に日本海が誕生し、日本列島はユーラシア大陸から離れました。その後、第四紀に繰り返し訪れた氷期には、海面が下がって大陸と陸続きとなり、動物が大陸からわたってきました。ゾウのなかまである長鼻類、シカなどの偶蹄類、サイやバクなどの奇蹄類、ツル類、サギ類、コウノトリ類、チドリ類またはシギ類といった鳥類、ワニ類の足跡が、新第三紀中新世から第四紀更新世の地層より見つかっています。

#### 【シカ（偶蹄類）の足跡】

ひづめの先が丸い足跡はエラフルフォルミペス、先がとがった足跡はセルビプスと呼びます。それぞれタマシフゾウとニホンムカシジカのような偶蹄類の足跡と考えられています。

#### 【ゾウ（長鼻類）の足跡】

日本には、鮮新世（400 万～300 万年前）にミエゾウ、前期更新世の初期（約 250 万年前）にハチオウジゾウ、前期更新世（200 万～60 万年前）にアケボノゾウ、中期～後期更新世（34 万～2 万年前）にナウマンゾウが生息していました。ゾウの足跡が見つかった地層の時代

がわかれば、どのゾウが残した足跡なのかがわかります。

ミエゾウ、ハチオウジゾウ、アケボノゾウはステゴドンというゾウのなかまでです。ステゴドン類はユーラシア大陸から移動ってきて、大型のミエゾウから小型のアケボノゾウへと日本で進化しました。一方、ナウマンゾウは約 34 万年に大陸からやってきた別の系統のゾウで、アケボノゾウより大型です。ゾウの時代的な移り変わりとともなって、足跡化石も小さくなったり大きくなったりしました。また、ナウマンゾウの歩行跡は、ステゴドン類であるミエゾウやハチオウジゾウ、アケボノゾウの歩行跡に比べて幅広いことが特徴です。

#### 「5. 体験! ダイナソートラッカー」

ハンズオン展示を 6 件展示し、来場者の知的好奇心を刺激し気づきや学習の動機につなげることを意図した。

・足跡化石ジグソーパズルに挑戦しよう！

12 ピースと 20 ピースの足跡化石産地ジグソーパズルを制作した。野外で発掘した足跡化石産地の断片を、室内で復元する作業を体験できるようにした。

・足跡化石を発掘しよう！

獣脚類の歩行跡レプリカを木工の箱に固定して砂利を入れた。シャベルや刷毛で砂利をどかし、足跡化石の発掘を体験できるようにした。さらにメジャーで足跡化石の計測ができるようにした。

・3D モデルで足跡化石を観察しよう！

フォトグラメトリーで作成した 3D モデル 7 点をタブレット端末で自由に閲覧できるようにした。

・360°画像で足跡化石産地を見てみよう！

360°カメラで撮影した足跡化石産地画像 1 件をタブレット端末で自由に閲覧できるようにした。

・巨大な足跡化石に入ってみよう！



4. 日本の足跡化石



5. 体験! ダイナソートラッカー

FRP製の竜脚類の足跡レプリカに、幼児・小学生が入れるようにした。

- ・床の足跡化石産地を見てみよう！

展示室全体の床面に足跡化石を模したシートを貼り、足跡化石産地を再現した。太古の動物が歩く、走る、しゃがむ、泳ぐ、狩りをする、ジャンプするといった行動を足跡シートから読み取れるように工夫した。

- ・パネル7枚(以下全文)

#### 5. 体験！ダイナソートラッカー

「トラッカー」とは足跡を調べる研究者のこと。足跡化石の調査を体験して、キミもダイナソートラッカーになろう！

#### 【足跡化石ジグソーパズルに挑戦しよう！】

完成したパズルからどんなことがわかるかな？ どんな動物の足跡だろう？何匹の動物がいただろう？ 動物は何をしていただろう？



足跡化石ジグソーパズルに挑戦しよう！

#### 【足跡化石を発掘しよう！】

シャベルとブラシでかくれた足跡化石を見つけましょう。どんな足跡化石が見つかるかな？足跡化石の大きさや歩幅をメジャーで測ってみよう。※砂や小石は箱から出さないでね。

#### 【3Dモデルで足跡化石を観察しよう！】

タッチパネルで足跡化石をいろいろな方向から見られます。

1. 足跡化石選択画面 ①見たい足跡化石をタッチ
- ②「OK」をタッチ！

2. 足跡化石画面 ③足跡化石を動かそう！ ④「Back」で「足跡化石選択画面」に戻ります。

#### 【360°画像で足跡化石産地を見てみよう！】

画面をスクロールさせて、いろいろな方向を見てみましょう。どんな足跡化石が見えるかな？ ※スクロール：指を横方向あるいは縦方向に滑らせて、画面をスライドさせる動作

#### 【巨大な足跡化石に入ってみよう！】

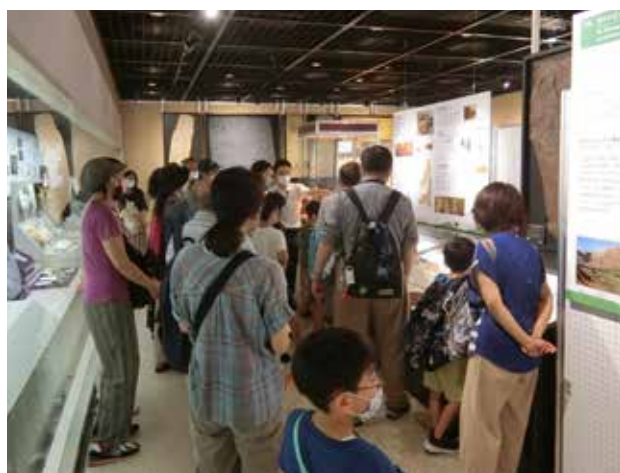
くつを脱いで入りましょう。幼児～小学生向け。大人の方はご遠慮ください。

#### 【床の足跡化石産地を見てみよう！】

床を見てみましょう。どんな動物の足跡だろう？ 動物は何をしていただろう？



足跡化石を発掘しよう！



展示解説(7月24日)

## (2) 企画展示①

## 第 32 回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念 「中央公園ものがたり—砲台山から中央公園、そして平和中央公園へ—」

2021 年 4 月 1 日にリニューアルオープンした平和中央公園（旧 中央公園）について、その沿革を当時の写真や資料で振り返るとともに、公園の地質や動植物について標本や写真で紹介し、公園のリニューアルに際して行われた発掘調査の成果資料や、公園景観の変遷を撮影した写真を展示し、平和中央公園と当博物館を相互に利用することで学びを深める機会とした。

なお、本事業は『第 32 回全国「みどりの愛護」のつどい』開催記念行事の一つとして開催した。

担当：内船・山本・柴田・萩原

**開催場所**

本館特別展示室

**開催期間**

4 月 24 日（土）～ 6 月 27 日（日）[56 日間]

**見学者数**

11,920 人

**関連事業**

展示解説 4 月 24 日（土）、5 月 8 日（土）、  
6 月 19 日（土）

**展示内容**

以下、展示区画毎に解説パネル内容と展示資料内訳を掲載

**展示区画①：エントランス**

入口ゲート上部には、新しい公園の景観とレンガと桜をあしらった、ポスターと同様のタイトルデザインを用い、ゲートの柱およびパーテーション装飾には、リニューアルオープン間もない平和中央公園で満開のクルメツツジで赤く色づいた「花の階段」を中心とした同園「博物館口」の様子をパネル化した。ゲートの裏面は中央公園時代に撮影した園内の動植物の写真パネルで装飾した。

エントランスを過ぎて左側（室内東側）の壁には横須賀市中央地区の航空写真において中央公園の場所を図示した。

- ・入口ゲート

スチレンボード製ゲート 1 台、片面装飾パーテーション 2 台、小型写真パネル（20 × 14 cm）91 枚

- ・大型航空写真パネル（180 × 100 cm）1 枚

「空から見た横須賀中央地区とその周辺」(写真データ：2018 年 1 月撮影，横須賀市所管)

- ・パネル（A1）

「はじめに」（以下全文）

中央公園は市街地と東京湾を一望できる丘の上にあります。1970 年の開園以来、長く市民に親しまれてきました。

眺望だけでなく、桜などの樹木や「砲台山」の時代の遺構があり、慰霊塔や平和モニュメント、彫刻や歌碑も設置されています。憩いの場でありながら、平和について考え、自然や豊かな文化にも触れられる、《発見と学びの場》でもあります。

当博物館も中央公園と同じ年に移転し、この地で半世紀を共に過ごしました。横須賀市を中心に三浦半島の自然や歴史・文化を展示していることから、当博物館もまた《発見と学びの場》です。

この展示は、51 年目のリニューアルを果たした「平和中央公園」のこれまでを振り返ります。となり合いつながら《発見と学びの場》として、この展示が博物館と公園とを行き来するきっかけになりましたら幸いです。

2021 年 4 月 横須賀市自然・人文博物館



出入口ゲート正面

## 展示区画②：平和中央公園の歴史・自然

展示室南側のウォールケースには、リニューアルオープンより前の平和中央公園の沿革について、時代を5つに区切って資料を展示した。

### ②ー1：貝塚のころ（バナーパネル、以下全文）

平和中央公園には、大昔（縄文時代）の集落があったと考えられており（砲台山遺跡）、公園北口ちかくの斜面からは縄文中期後葉（およそ4,000年前）の貝層（深田貝塚）がみつかっています。

近代になって米ヶ濱砲台の建設により、集落のあとや貝塚を残していた地形が大きく変わってしまいました。そのため、ここにあった大昔の集落について、詳しいことは分かりません。

この公園の近くにある大昔の別の遺跡に平坂貝塚（縄文早期前葉：およそ9,600年前）があります。横須賀市内では同時代の夏島貝塚とならんで考古学上の重要な遺物が出土しています。

・標本等資料 [キャプション全文]

「深田貝塚 出土土器の一部」(曾利式土器片 実物1点)[縄文時代中期後葉（約4,000年前）の貝層から出土したもの。加曾利E式とは同年代であるが、こちらは平行のすじ（条線）模様が特徴。]

「深田貝塚 出土土器の一部」(加曾利E式土器片 実物2点)[縄文時代中期後葉（約4,000年前）の貝層から出土したもの。曾利式とは同年代であるが、こちらは縄目の模様が特徴。]

「考古資料図録Ⅲ」(博物館発行、実物1点)[1988年発行。博物館収蔵の考古資料の実測図をまとめたもの。実測遺物の図解と遺跡の位置や現況などが記載されている。]

「平坂の貝塚」(博物館発行 教育資料シリーズ41、実物

1点)[1986年発行（販売終了）。平坂～深田台の中央エリアの縄文時代について、平坂東・平坂（西）・深田貝塚について解説。]

### ②ー2：砲台山の時代（バナーパネル、以下全文）

平和中央公園の場所（横須賀市深田台の北東部）は、かつて「砲台山」と呼ばれていました。この場所に砲台（米ヶ濱砲台）が設置され、戦後も跡地が残っていたことに由来します。

米ヶ濱砲台は、旧日本陸軍の東京湾要塞に属する沿岸砲台の一つです。東京湾要塞には、湾全体の防御地点と局地的な防御地点が設定されていて、米ヶ濱砲台は横須賀海軍工廠の防御地点の一つとして設置されました。

米ヶ濱砲台は明治23～24年（1890～1891年）に建設されました。この当時、砲台の西側には横須賀海軍病院（明治13年[1880年]設置）が、南側には工兵方面横須賀支署（明治24年[1891年]設置、明治30年[1897年]に築城部横須賀支部に改称）が、それぞれ隣接していました。

米ヶ濱砲台は設置当初、教育・訓練用として運用されましたが、明治32年に演習砲台（公郷演習砲台）が設置されたことを受け、教育・訓練用砲台の指定を解かれました。大正12年（1923年）の関東大震災では、周辺の施設とともに大きな被害を受けたことで演習砲台に改修（→米ヶ濱演習砲台）され、隣接する田戸演習砲台（築城部横須賀支部の跡地）とともに終戦を迎えました。

・写真パネル（A5～A3サイズ）[キャプション全文]

「写真1：28 榴弾砲演習のようす」（\*鈴木謙家文書）[米ヶ濱演習砲台。榴弾砲砲台第2砲座に2門の榴弾砲が配置され、左手奥には横牆に地下構造物のアーチが認められる。]



航空写真～砲台時代



戦後～中央公園時代

「写真 2:戦後の砲台山のようす」(\*毛塚五郎家文書) [横  
 壁には手前に 2 室,奥に 2 室,それぞれ地下構造物のアー  
 チが認められ, その間に榴弾砲砲台第 2 砲座(写真 1)  
 の胸壁が認められる.]

「写真 3:掩蔽壕(地下構造物)」(\*毛塚五郎家文書) [戦  
 後の写真. 写真 1・2 の奥にみられる地下構造物の姿. アー  
 チの上部はススキ類とみられる草が繁茂している.]

「写真 6:米ヶ濱演習砲台入口」(\*毛塚五郎家文書) [戦  
 後の写真. 砲台入口は坂の上にあり, 両脇には門柱が残っ  
 ているものの, 門扉はない. 奥にみえる砲台施設は草木  
 に覆われている.]

「写真 7:米ヶ濱(演習)砲台入口」(\*毛塚五郎家文書) [戦  
 後の写真. 砲台入口(写真 5)へとつづく坂の下. 敷石  
 や道路脇の構造物などが剥がれたり欠落している.]

「現在のようす」6 点 [モニュメントの丘の北西から展  
 望広場方向に撮影. 左手奥には砲台横壁の 2 室の地下  
 構造物のアーチが認められる. / 北口の広場で保存公開  
 されている 2 つの地下構造物(右上の写真). 広場がか  
 つての累道より高くつくられているのがわかる. 手前の  
 地下構造物の開口部は保存のためコンクリートで覆わ  
 れ, 奥の地下構造物(左上の写真)は見学に対応するた  
 め扉や階段が設置された. / 公園北口. 現在の施設の位  
 置関係から, 写真 6 の奥にみえる部分が榴弾砲砲台第 2  
 砲座(写真 1)であることがわかる. / 上の写真, 坂道  
 の入口は拡張されていることがわかるが, カーブの内側  
 は当時のままのようにみえる. 向かって左側の柵の下を  
 裏から見ると(左の写真), 古そうな石材がブラフ積み  
 のように配置されている.]

\*は横須賀市立中央図書館 郷土資料室所蔵

## ②-3:戦後のころ(バナーパネル, 以下全文)

昭和 20 年(1945 年)に太平洋戦争が終わり, 米ヶ



博物館と平和中央公園

濱演習砲台は米軍の接収を経て他の旧軍用地とともに大  
 蔵省(今の財務省)に引き継がれました。

戦後も「砲台山」と呼ばれていたこの場所が「中央公  
 園」となったきっかけは, 昭和 40 年(1965 年)に完  
 成した文化会館を中心とした, 周辺一帯の「(市民総合)  
 文化センター」構想にあります。

中央公園の整備事業は昭和 39 年(1964 年)に始まり,  
 昭和 41 年(1966 年)からは横須賀市がこの土地につ  
 いて大蔵省から無償貸付を受けました。

・写真パネル(A5~A3 サイズ) [キャプション全文]  
 「写真 4:米ヶ濱(演習)砲台(の跡)」(\*毛塚五郎家  
 文書) [中央付近は加農砲砲台第 1・2 砲座をつなぐ横  
 壁で, 地下構造物のアーチの一部が認められる. 奥には  
 観測所類似施設がみえる.]

「写真 5:中央公園 南側の広場」(\*横須賀市広報資料:  
 昭和 44 年[1969 年] 3 月) [右奥には除幕式を翌月に  
 控えた戦没者慰霊塔がある. 中央の休憩所をはじめ, 砲  
 台山の地形(写真 4)を活用しているのが分かる.]

「写真 8:市立横須賀病院」(\*絵葉書) [昭和 5 年(1930 年)  
 設置. 昭和 37 年(1962 年) 3 月に主要部分が焼失し,  
 昭和 39 年(1964 年) 3 月に廃止. のちに文化会館が  
 建設される.]

「写真 9:市立横須賀病院の解体」(文化会館所蔵アルバ  
 ム) [昭和 38 年(1963 年)頃. 病院内東側, 砲台山近  
 くには高い煙突が建っていた. 左手には解体中の木造の  
 建物がみえる.]

「写真 10:建設中の文化会館」(\*横須賀市広報資料:  
 昭和 40 年[1965 年] 3 月) [完成約 2 か月前の大ホー  
 ル. 手前の道路沿いには横須賀病院時代(写真 8)の構  
 造物が残っている.]

「写真 11:文化会館と駐車場」(\*横須賀市広報資料:  
 昭和 41 年[1966 年] 12 月) [完成の約 1 年半後の大ホー  
 ル. 施設の周辺には大きな駐車場をそなえる.]

「写真 12:文化会館(事務棟)と前庭」(\*横須賀市広  
 報資料:昭和 41 年[1966 年] 9 月) [施設の南側から  
 撮影. 前庭には憩いの場として噴水が設けられている.]

「写真 13:文化会館落成式」(\*横須賀市広報資料:昭  
 和 40 年[1965 年] 5 月) [2 点. 5 月 29 日開催の横  
 須賀開港百年祭の一環で, 文化会館では落成記念式典が  
 举行された. 上町の商店街では, 文化会館へつづく坂道  
 の起点となる交差点に装飾が施され, 建物周辺の路地  
 には旗や提灯が飾られた.]

「現在のようす」7 点 [モニュメントの丘から撮影した  
 南側の広場. 砲台山時代(写真 4)から中央公園時代(写  
 真 5)さらに現在へと, 視点が低くなる. / 文化会館の

東側。写真のさらに右手には博物館があり、写真右手奥には平和中央公園の博物館口がみえる。／道路に沿って植栽された木は大きく成長した(左の写真)。駐車場(右の写真)は博物館や平和中央公園の来館園者にも利用される。／奥に位置する大ホールへ向かって走る路地は現在、文化会館の駐車場に出入りするルートの側道で、主に生活道路として使われている。／文化会館(事務棟)の南側。建物はほとんど変わらないが、写真手前は「自由の女神」像と花壇の広場になっている。／現在は「文化会館入口」の交差点として、文化会館や平和中央公園、博物館へ行く際の目印になっている。]

\* は横須賀市立中央図書館 郷土資料室所蔵

・他パネルおよび資料 [キャプション全文]

「公園地図：昭和 40 年(1965 年)」(A2 パネル) [公園の建設にあたり作製された現況図を元に作図したもの。図の左下(現在の公園北口)が出入口で、同じく図の右下(現在の博物館口)には出入りする道はない。右下の施設は博物館ではなく、「駐留軍従業員深田台宿舎」の建物。緑色の部分は草木が生え、桃色の遺構は高台にあり、黄緑色は低く平らにならされている。]

「中央公園計画図並事業執行年度割図」実物 1 点(横須賀市所蔵 中央公園関係簿冊) [中央公園の整備にあたる当初の計画図。その後、②は北口広場になり、③のあたりには戦没者慰霊塔がたち、④～⑥は滝と池になるなどした。]

「『総合文化センター』構想」(A4 パネル、横須賀市所管 広報よこすか 第 169 号:昭和 39 年[1964 年]1 月 1 日) [長野正義市長(当時)の新春あいさつ。建設予定の文化会館と中央公園を含む一帯を総合文化センターとする構想に言及(最下段中央)。]

「文化会館の開館当時の配布資料」(横須賀市文化会館所蔵『横須賀市文化会館』および『婚礼のしおり』パンフレット 実物各 1 点) [大・中ホールや展示室、会議室などは現在と同様であるが、3 階には結婚式場があった。]

②ー 4: 中央公園の時代(バナーパネル、以下全文)

市制 60 周年を迎えた昭和 42 年(1967 年)、公園入口(現在の公園北口)に「中央公園」と記した石碑が設置されました。

昭和 39 年(1964 年)の着工以来、年々整備がすすめられた中央公園には、「文化センター」構想における「市民憩いの場」としての役割が期待され、高台の立地を生かした展望台に続き、花木園、児童遊園(もしくは「子どもの遊び場」)、人工滝と池、周遊園路が整備されました。

昭和 44 年(1969 年)には中央公園の南端、南側の

広場の一角に戦没者慰霊塔が設置されました。この年、数年にわたる公園整備は大詰めを迎え、昭和 45 年(1970 年)4 月 1 日、中央公園は正式に開園の日を迎えました。

文化会館、中央公園につづき、「文化センター」構想の一角をなす公共施設として、中央公園内に博物館の建設が計画されました。その建設計画場所は、かつて米ヶ濱演習砲台に隣接していた田戸演習砲台の跡地で、戦後は駐留軍従業員深田台宿舎として国有地のまま県が管理をしていた場所です。横須賀市は昭和 44 年(1969 年)、この土地を中央公園の一部として大蔵省(現在の財務省)から無償貸付を受けました。

・写真パネル(A5～A3 パネル) [キャプション全文]

「写真 14:『中央公園』の石碑」(\*横須賀市広報資料:昭和 42 年[1967 年]12 月) [市制施行 60 周年を記念して、公園入口(当時、入口は北口のみ)に設置された。整備事業は昭和 39 年(1964 年)から着工。]

「写真 15:展望広場の子どもたち」(\*横須賀市広報資料:昭和 41 年[1966 年]12 月) [2 枚の写真を合成。左手には猿島、右手には走水がみえる。]

「写真 16:臨時の『子どもの遊び場』」(\*横須賀市広報資料:昭和 40 年[1965 年]3 月) [文化会館(の駐車場)予定地には「深田公園」も入っていたことから、子どもの遊び場確保のため、遊具が中央公園へ移設された。]

「写真 17:子どもの遊び場(児童遊園)」(\*横須賀市広報資料:昭和 43 年[1968 年]12 月) [臨時だった子どもの遊び場には、市制施行 60 周年にあたる昭和 42 年(1967 年)、正式に砂場と個性的な遊具が設置されました。]

「写真 18:戦没者慰霊塔の除幕式」(\*横須賀市広報資料:昭和 44 年[1969 年]4 月) [中央公園開園の前年の 4 月 11 日、戦没者慰霊祭を行う文化会館に近い同公園に設置。船の先の部分を模したデザイン。]

「写真 19:中央公園の開園式」(\*横須賀市広報資料:昭和 45 年[1970 年]4 月) [昭和 39 年(1964 年)に着工した公園の整備事業が完了。祭壇のテントの裏手に滝が、写真左奥に展望広場が見える。]

「写真 20:中央公園の滝と池」(\*横須賀市広報資料:昭和 45 年[1970 年]2 月) [当時の入口(現在の北口)の正面に構える、高さ 2 m、長さ 32 m の人工滝。]

「写真 21:公園から見た博物館」(\*横須賀市広報資料:昭和 47 年[1972 年]10 月) [中央公園と同じ昭和 45 年(1970 年)10 月 30 日に新館として開館。公園の博物館口ができる。現在のモニュメントの丘から撮影。]

「写真 22:子どもの遊び場(児童遊園)」(\*横須賀市広報資料:昭和 54 年[1979 年]10 月) [手前の「宇宙船」

と奥の「ゾウのすべり台」。前者は搭乗可能、後者は砂場内にあり奥に向かって滑降部を2本有した形状。]

「現在のようす」2点[展望広場を囲む低い石垣の一部は、当時のまま保存されている。ノモニュメントの丘（撮影地点）から博物館（左奥）へ、ゆるやかな花の階段が整備された。左側の空地には今後、遊具が設置される予定。]

\*は横須賀市立中央図書館 郷土資料室所蔵

・他パネルおよび資料 [キャプション全文]

「公園地図：平成3年(1991年)」(A2パネル)[平和モニュメントの建設にあたり作製された現況図を元に作図したもの。1970年に「中央公園」として開園して以来、大きな変更はない。右下には現在と同じ博物館の建物があり、公園と同年にできた自然館、1976年にできた重要有形民俗文化財収蔵庫、1983年にできた人文館から構成されている。]

「『宇宙船遊具』がつくられた時代」(A4パネル)[丸い窓にアンテナのような突起、土星の環のような手すりについて、子どもが中に入れる不思議な遊具。中央公園の開園当初に設置され、30年以上も活躍していました。「宇宙船」などと呼ばれていること、1960年代に設置されたことから、当時のアメリカとソビエト連邦が競った宇宙開発競争の時代背景がうかがえます。アポロ計画による月面着陸(1969年)の8年前、ガガーリン宇宙飛行士を乗せて地球を一周した、人類初の人工衛星船ボストークに似ています。]

「緊急特集号 人類初の月着陸」(『アサヒグラフ』昭和44年(1969年)8月15日号、実物1点)[アメリカのアポロ11号による月着陸を記念して発行。米ソの宇宙開発史に触れ、ソ連のボストーク(ウオストーク)も紹介。]

②ー5:博物館と平和とともに(バナーパネル、以下全文)

中央公園の正式開園と同じ年(昭和45年[1970年])の10月、久里浜にあった横須賀市博物館(昭和29年[1954年]開館)のうち自然科学部門が現在の場所に新築移転しました。博物館はその後、昭和51年(1971年)に重要有形民俗文化財収蔵庫の新築、昭和58年(1983年)に人文科学部門の新築移転を経て、現在の姿になっています。

平成元年(1989年)、横須賀市は「核兵器廃絶・平和都市宣言」を行いました。この宣言の意思を広く内外に示すため、平成4年(1992年)、中央公園に平和モニュメントが設置されました。

・写真パネル(A5～A3パネル)[キャプション全文]

「写真23・24:0.5トスチームハンマー」(\*横須賀市広報資料:昭和58年[1983年]6月、昭和60年[1985年]

1月)[米海軍基地から昭和46年(1971年)、博物館(中央公園内)に移設し公開。昭和53年(1983年)12月に土台を改修。]

「写真25:人文館の建設工事」(\*横須賀市広報資料:昭和57年[1982年]1月)[完成1年前のようす。落成式は昭和58年(1983年)6月1日。同年11月には中央公園に岩野泡鳴の文学碑が設置された。]

「写真26:市役所前公園にあったデッカー司令官胸像の台座」(\*横須賀市広報資料:平成3年[1991年]10月)[昭和24年(1949年)11月29日に除幕されたデッカー司令官謝恩の胸像は、地下駐車場建設のため中央公園へ移設された。]

「写真28:平和モニュメント建設」(\*横須賀市広報資料:平成4年[1992年]8月)[平成3年(1991年)7月着工、翌年10月24日に完成記念式典。モニュメントの丘も造成した。]

「写真29:完成した平和モニュメント」(\*横須賀市広報資料:平成4年[1992年]11月)[整備されたモニュメントの丘には、北口の広場に向かって広い階段が設けられた。]

「中央公園へ移設された胸像」(令和2年[2020年]4月)[南側の広場の東側、東京湾と横須賀の町なみを展望できる場所に、平成7年(1995年)8月に移設された。]「現在のようす」1点[芝生広場の北東側に移設され、後方には新しいモニュメントが位置する。今も変わらず横須賀の町なみを見つめている。]

\*は横須賀市立中央図書館 郷土資料室所蔵

・他パネルおよび資料 [キャプション全文]

「公園地図:令和2年(2020年)」(A2パネル)[公園リニューアルにあたり作製された現況図を元に作図したもの。平和モニュメント「ヘイワ・オーキク・ナーレ」の建設(1992年)と北口広場の一部改修(「モニュメント前広場」の造成やトイレの移設)、デッカー司令官胸像(1995年)や文学碑(1983年)が設置された。]「デッカー司令官 胸像除幕式」(A4パネル、横須賀市所管 横須賀市政時報[現 広報よこすか]第3号:昭和24年[1949年]12月30日)[「本市再建の偉大なる恩人」への謝恩の胸像。横須賀商工会議所によって市役所前(公園)に建てられ、盛大な除幕式が開催された。]

「横須賀こずえ①・②」(小田 扉 著、ビッグコミックス、実物2点)[横須賀を舞台に主人公のこずえ(犬)の視点で日常を描いた漫画。①・②巻ともに中央公園の平和モニュメントが登場する。]

「よこすか・彫刻・たんけんマップ」(横須賀美術館 発行、実物1点)[JR横須賀駅・京急横須賀中央駅周辺の市街

地にある屋外彫刻（立体造形）を約 30 点掲載。中央公園の屋外彫刻は 8 点を紹介。]

「さがして、みわけて、『セミのぬけがらしらべ』@キノコン—9 年間のあゆみ—」(A1 パネル+ 60 × 120 cm パネル) [2007 年に開講した博物館教室「昆虫教室」では、2010 年に「基礎から学ぼう昆虫学（キノコン）」への改称をきっかけに、参加者と一緒に中央公園のセミの抜け殻調査をはじめました。毎年、講座の最終日に参加者を 2 グループに分け、約 40 分間、公園内の 2 つの調査区（調査区 1, 2）内の 5 つの小区画（ア～オ）ごとに抜け殻をあつめ、博物館にもち帰って種に分けて記録します。① 地面に落ちている抜け殻は拾わない、② 木に登るなど危ないとり方はしない、③ 種に分けたら先生に確認してもらう、というルールのもと 2011 年からは同じ調査区で 9 回（工事が始まった 2020 年は除外）、調査をおこないました。年によって記録数に大きな違いがありますが、中央公園では三浦半島に生息するセミ類 6 種のうち、特にアブラゼミとミンミンゼミの抜け殻が多く、「花木園」として植込みの豊かな調査区 2 の方が、抜け殻が多い傾向にあります。調査区 2 は、今回のリニューアルによって大きく姿を変えました。今後の調査でこの調査区は、植栽の生長とともに抜け殻の数に変化がでるのではないかと注目しています。]

『身近な昆虫』、中央公園でも撮りました」(A4 パネル) [博物館の刊行物「身近な昆虫 3 6 5」は、三浦半島の身近な昆虫約 470 種を写真で紹介しています。その写真は、昆虫担当学芸員が約 10 年かけて三浦半島各地で撮影したものです。パネルにした昆虫たちは、中央公園で撮影された昆虫たちです。身近な昆虫観察のお供に、ぜひご活用ください。]

「公園の植物を教材にした学習活動」(A4 パネル) [博物館では、主催行事「植物標本の作り方」や「博物館実習」、「教員向け理科研修会（植物）」において、中央公園の植物観察や植物標本づくりを実施してきました。新しくなった平和中央公園には、教材として活用できる植物が多く植栽されました。博物館としては、これまで以上に公園を活用し、より多くの方の学びの場になるように務めていきます。]

「セミのぬけがら調査シート」(A6 パネル) [博物館行事「基礎から学ぼう昆虫学」教材の一つ。セミの種や性別は、成虫に羽化する際に脱ぎすてられる「ぬけがら」で判別がつかます。触角は種の判別にとても重要です。]

・動植物標本および A5 写真パネル [キャプション全文] 動物：「ホンダタヌキ」（はく製 1 点）[イヌ科。三浦半島に生息する在来種哺乳類として最も大型。夜行性、雑

食性で、夜間に小動物や種子、果実などを食べる。] / 「アブラコウモリ（イエコウモリ）」（液浸、写真各 1 点）[ヒナコウモリ科。建築物に「ねぐら」をつくる小型のコウモリ類で、近年数を増やしている。日没前後によく飛び、昆虫を捕食する。] / 「トビ」（はく製、写真各 1 点）[タカ科。大型のタカだが体重は軽く、気流にのって滞空することが上手い。小動物を捕食するほか、魚介類や死んだ動物も食べる。] / 「カワラバト（ドバト）」（はく製、写真 1 点）[ハト科。1,500 年以上前に持ち込まれたとされる歴史の古い外来種。改良され、ペット、伝書鳩、レース鳩などとして飼育される。] / 「ツバメ」（はく製、写真 1 点）[ツバメ科。夏鳥として飛来し、以前は春になると商店街などに多数営巣していたが、現在は激減している。飛んでいる昆虫をすばやく捕食する。] / 「ツグミ」（はく製、写真各 1 点）[ヒタキ科。冬鳥で、森林や農地、公園などにあらわれる。雑食性で、落ち葉の下や芝生の間から種子や昆虫、ミミズなどを探して食べる。] / 「モズ」（はく製、写真各 1 点）[モズ科。三浦半島では一年中見られるが、中央公園では、春先にウメの花などに集まる昆虫を捕食するようすが観察されている。] / 「イソヒヨドリ」（はく製、写真各 1 点）[ヒタキ科。海岸に多い種だったが、近年は市街地に適応している。オスは青色の背と赤茶色の腹部があざやかだが、メスは地味な姿をしている。] / 「ウグイス」（はく製、写真各 1 点）[ウグイス科。春～夏の繁殖期に「ホーホケキョ」とさえずることでも有名だが、繁殖期以外は「チツチツ」と鳴く。小型の昆虫を捕らえて食べる。] / 「シジュウカラ」（はく製、写真各 1 点）[シジュウカラ科。春に「ツピー、ツピー」と大きな声でさえずる。雑食性で、果実や種子のほか昆虫も食べる。庭や公園に巣箱を設置するとよく利用する。] / 「メジロ」（はく製、写真各 1 点）[メジロ科。スズメより小型で、ときには密集した群れをつくる。「目白押し」の語源。花の蜜を好み、ウメやサクラ、ツバキなどの花によく集まる。] / 「スズメ」（はく製、写真各 1 点）[スズメ科。もっとも身近な野鳥だが、近年はえさ場となる田畑の減少や、家屋のすき間などの営巣場所の減少によって数が減ってきている。] / 「ハシボソガラス」（はく製、写真各 1 点）[カラス科。くちばしが細く、体がやや小さめのカラス。農地や海岸に多く、中央公園でもハシブトガラスとともによく見られる。] / 「ヒガシニホントカゲ」（写真 1 点）[トカゲ科。東日本に分布し、形態や遺伝子系統の研究によって、2012 年に新種として西日本に分布するニホントカゲから分離された。] / 「ニホンカナヘビ」（写真 1 点）[カナヘビ科。トカゲ類に似るが、尾が長く体の

3分の2をしめ、体に光沢はなくてざらざらした感じを受ける。昆虫やクモなどを食べる。】／「ニホンヤモリ」(写真1点) [ヤモリ科。名に「ニホン」や「japonicus」と付くが、平安時代以降に大陸から侵入した外来種という説が有力。夜行性で、昆虫が主食。】／「シロマダラ」(写真1点) [ナミヘビ科。日本固有の無毒のヘビ。トカゲやカナヘビを食べる。夜行性で、見つけることが難しいヘビとされるが、三浦半島では比較的多い。】／「身近なセミのぬけがら・成虫」(セミ類乾燥標本約40点) [セミのぬけがら調査では、参考標本として見本となるぬけがらと成虫とを組み合わせた標本セットを提示しています。】／「昆虫類生態写真パネル」(中央公園で撮影した6点) [ヤマトウロコトビムシ、キゴシジガバチ、チャドクガの幼虫、ヤマトタマムシ、クズノチビタマムシ、ウバタマムシ]

植物：「ユウゲショウ」(さく葉標本、写真各1点) [アカバナ科。別名アカバナユウゲショウ。4～9月に紅色の花が咲く。南北アメリカ大陸原産で、明治時代に観賞用として渡来した。】／「ヒロハクサフジ」(さく葉標本、写真各1点) [マメ科。4～8月に青紫色の花が咲く。神奈川県内では三浦半島の海岸に多く見られ、他の場所ではあまりみられない。】／「オオシマザクラ」(さく葉標本、写真各1点) [バラ科。3～4月に白色の花が咲く。開花は葉の展開とほぼ同時。三浦半島では植栽されたものが野生化している。横須賀市の木。】／「センニンソウ」(さく葉標本、写真各1点) [キンポウゲ科。草本のように見えるが、木本性のつる植物。8～9月に花が咲き、9～10月に毛のある果実をつける。】／「ムラサキツメクサ」(さく葉標本、写真各1点) [マメ科。別名アカツメクサ。5～6月に淡紅色の花が咲く。ヨーロッパ原産で、明治維新の頃に牧草として渡来した。】／「ハイメドハギ」(さく葉標本、写真各1点) [マメ科。8～9月に紫色を帯びた花が咲く。神奈川県内では沿岸域を中心に分布するが多くはない。】／「イヌワラビ」(さく葉標本、写真各1点) [メシダ科。夏緑性(かりょくせい：夏に胞子をつけ、秋から冬になると地上部が枯死する)のシダ植物。】／「ムラサキエノコロ」(さく葉標本、写真各1点) [イネ科。エノコログサの一品種で、花序が紫色を帯びる。】／「ムシトリナデシコ」(さく葉標本、写真各1点) [ナデシコ科。5～6月に紅色の花が咲く。ヨーロッパ原産。日本では栽培されていたものが逸出し各地に広く見られる。】／「ガクアジサイ」(さく葉標本、写真各1点) [アジサイ科。6月に青紫色の花が咲く。4枚の萼(がく)が花びらのように変化した装飾花(そうしよくか)をつける。三浦半島の海岸に自

生する。】／「オオニワゼキショウ」(さく葉標本、写真各1点) [アヤメ科。4～6月に淡い青紫色の花が咲く。北アメリカ原産といわれ、神奈川県内で分布が増えている。分類の検討が必要とされている。】／「ツボミオオバコ」(さく葉標本、写真各1点) [オオバコ科。4～6月に淡い黄色の目立たない花が咲く。北アメリカ原産で、神奈川県内に広く分布している。植物全体に毛があることが特徴。】／「ハナイソギク」(さく葉標本、写真各1点) [キク科。別名サトイソギク。三浦半島の海岸に自生するイソギクと園芸のキクとの交雑種。]

・デジタルアーカイブ紹介 (A4 および A5 パネル、全文掲載)

「横須賀市立図書館 デジタルアーカイブ」[展示している昔の写真パネルは、横須賀市立中央図書館郷土資料室が所蔵している写真データを元になっています。郷土資料室では現在、所蔵写真などのデジタル化をすすめていて、その一部は横須賀市立図書館のHPにある「デジタルアーカイブ」のサイトで公開しています。郷土資料室では、横須賀市立図書館のTwitterにて、「横須賀なつかし写真館」というシリーズの投稿もおこなっています。]「展示パネル関連画像をデジタルアーカイブでチェック！」(QRコード表示、2か所)

### 展示区画③：リニューアル工事における公園景観の変遷

展示室西側の壁面には、2020年7月から2021年3月までのリニューアル工事期間とその前後において、博物館屋上から定点撮影したパノラマ合成写真を展示した。

・バナーパネル「平和中央公園へ」(以下全文)

開園以来、“港が見える丘公園(世界の船が見える公園)”として市民に親しまれるとともに、歌碑や彫刻が置かれたり文化会館や博物館にも隣接したりした“文化



リニューアル変遷パノラマ

と学びの丘”として、さらには戦没者慰霊塔や平和モニュメントなどを備えた“平和について考え祈る場所”として、中央公園は令和の時代を迎えました。

昭和 45 年（1970 年）の開園から 50 年目にあたる令和 2 年（2020 年）をひかえ、その前年から中央公園のリニューアルが始まりました。これは令和 3 年（2021 年）に運用を開始する横須賀市のルートミュージアムに合わせて中央公園を“平和中央公園”として開園させ、博物館・文化会館を含めた一帯を“歴史・文化・平和”をコンセプトとした、横須賀を象徴する場所の一つとして機能強化を図るものです。

リニューアルにともない、中央公園は令和 2 年（2020 年）7 月から令和 3 年（2021 年）4 月まで約 9 か月間、休園しました。バリアフリーへの対応や老朽化した施設の改修のほか、米ヶ濱砲台の調査ならびに遺構の公開展示、身近な落葉広葉樹および海岸植物の植栽によって、新たに横須賀の歴史や自然についての学びの場も創出されました。

・パノラマ写真解説「博物館からの定点撮影」(A4 パネル)

博物館（人文館）の屋上から公園リニューアル工事の変遷を撮影し、2 枚の画像を合成しました。

・パノラマ写真（60 × 15 cm もしくは 90 × 23 cm, 18 点（以下全文）

2020 年 6 月 10 日：リニューアルにともなう全面閉鎖前のようす。高木化した木々が葉をしげらせ、園内の地形や施設はみえにくい。平和モニュメント「ヘイワ・オーキク・ナール」は、すでに撤去されていた（矢じり）。

2020 年 7 月 16 日：リニューアルにともなう全面閉鎖が 7 月 13 日から始まった。樹木伐採や除草が全体的に行われ、南側の広場（パネル右寄り）や博物館口～子どもの遊び場のあいだの階段（パネル左寄り）などがみえるようになった。北口の広場（矢じり）では、大型の植栽ポットが撤去されていた。

2020 年 8 月 2 日：南側の広場ならびに博物館口～子どもの遊び場では、老朽化した施設の撤去がはじまった。パネル左寄り奥、北口の広場や展望広場のあたりでは、地形や区画がはっきりとみえるようになった。

2020 年 8 月 20 日：博物館口～子どもの遊び場では、斜面の勾配を変える工程にはいった。平和モニュメントの丘はやや低くととのえられ、階段が撤去された。パネル左寄り奥、北口の広場～展望広場のあいだの階段が撤去された。南側の広場では埋蔵文化財（米ヶ濱砲台跡）の発掘調査がおこなわれていた。

2020 年 9 月 11 日：南側の広場では周囲にコンクリートで縁をつくっていた。博物館口～子どもの遊び場では、

新しい階段を作るための目印がつくられた。展望広場～平和モニュメントの丘をつなぐ散策路では、新しくするために舗装がはがされた。

2020 年 9 月 30 日：博物館口～子どもの遊び場では、新しい階段に沿って斜面が掘られた。博物館口～南側の広場のあいだの坂道を改良するため、下側の斜面（★）の草が刈られた。この斜面では 7 月中旬の全体除草（7 月 16 日のパネルを参照）の約 2 か月後（9 月 11 日のパネルを参照）には下草がしげっており、植物の生長のたくましさうかがえた。

2020 年 10 月 24 日：南側の広場では周囲に白い縁ができ、かさ上げのために用意された土が山になっていた。博物館口～子どもの遊び場では、新しい階段がつくられていた。博物館口～南側広場の間の坂道には下側（9 月 30 日の“★”）に石垣ができた。平和モニュメントの丘では、新しい平和モニュメントのための円形の基礎がつくられた。

2020 年 11 月 11 日：展望広場からは、北口の広場に向かって新しい階段が、平和モニュメントの丘に向かって新しい散策路が、それぞれつくられていた。北口の広場のうち平和モニュメントちかくでは、ゆるやかなスロープにするための盛り土がおこなわれていた。南側の広場では平和モニュメントの丘ちかくにデッカー司令官胸像（矢じり）が移設された。

2020 年 12 月 18 日：平和モニュメントの丘では新しい平和モニュメントがつくれ、子どもの遊び場と南側の広場にむけてそれぞれ新しい階段がつくられていた。南側の広場では盛り土がおわり、円形の広場（以降、芝生広場）の区画が作られていた。博物館口～南側の広場のあいだの散策路がきれいにならされていた。北口の広場のトイレが撤去された。

2021 年 1 月 6 日：展望広場と平和モニュメントの丘をつなぐ新しい散策路が舗装されはじめた。芝生広場では、戦没者慰霊塔前の改修のようす（パネル右寄り）や歌碑の移設（矢じり）が、手前の木々の落葉によって 12 月あたりから見えるようになった（12 月 18 日のパネルを参照）。新しい平和モニュメントをおおっていた足場がとれた。

2021 年 1 月 21 日：博物館口～子どもの遊び場のあいだの新しい階段ができ、両脇には植栽スペースが設けられた。平和モニュメントの丘では、周囲の斜面が改修され、ゆるやかなスロープがつくられはじめた。北口の広場では新しいトイレが設置された。

2021 年 2 月 11 日：北口の広場の平和モニュメントちかく、かつて「モニュメント前広場」とよばれたあたり

にもスロープができ、公園内の全ての散策路が姿をあらわした。子どもの遊び場はきれいにならされた（以降、遊具広場）。パネル下部、芝生広場～博物館口のあいだの散策路が舗装された。新しい平和モニュメントの基礎をおおように盛り土がされた。

2021 年 2 月 27 日：博物館口～子どもの遊び場をつなぐ階段を中心に植栽がはじまった。芝生広場では散策路が舗装された。遊具広場は平らになり、安全柵をたてるため基礎がつけられた。

2021 年 3 月 10 日：安全柵や手すりが設置された（芝生広場の周囲では 12 月に柵が設置されていた）。平和モニュメントの丘および芝生広場では芝生張りがはじまった。北口の広場では植栽などの区画がつけられていた。

2021 年 3 月 23 日：斜面の種子吹付けがはじまった。公園内のすべての舗装が完了した。外灯および案内看板が設置された。平和モニュメントの丘および芝生広場は、芝生でおおわれた。

2021 年 3 月 30 日：いよいよオープン（4 月 1 日）直前。博物館口～子どもの遊び場をつなぐ階段では、両脇に植栽したツツジ類が赤い花をさかせた。植栽・移植されたサクラも開花していた。

2021 年 4 月 9 日：サクラの花が終わり、木々は葉が茂り、新緑が濃くなってきた。新しくなった公園をひと目見ようと、週末だけでなく平日も来園する人が増え、その前後に博物館にも立ち寄る方も増えた。

2021 年 4 月 19 日：新しい平和モニュメント「平和の軸」の点灯式。周辺が夜景に変わった午後 6 時 40 分頃、モニュメントから空に向かって光の柱が現れた。

・写真パネル（60 × 20 cm パネル）[キャプション全文]  
「写真 27：博物館屋上からの中央公園（合成）」（\* 横須賀市広報資料：昭和 60 年 [1985 年] 1 月）[2 年前に開館したばかりの人文館の屋上から撮影された 2 枚の写真をもとに、パノラマ写真風に合成したもの.]

\* は横須賀市立中央図書館 郷土資料室所蔵

#### 展示区画④：米ヶ濱砲台跡の調査に関する展示

展示室中央には、リニューアル工事期間に横須賀市教育委員会が行った米ヶ濱砲台跡遺構発掘調査の成果や、米ヶ濱砲台跡から出土したレンガの特徴について、博物館や横須賀市教育委員会に保管されている出土資料をパネルとともに展示した。

・バナーパネル「発掘調査でわかったこと」（以下全文）

米ヶ濱砲台は、国指定史跡の「猿島砲台跡」や「千代ヶ崎砲台跡」と同じく、東京湾要塞を構成する砲台群

の一つとして、明治 24 年（1891 年）に建設されました。その遺構の一部は、昭和 45 年（1970 年）に中央公園として造成された後も残っています。

横須賀市教育委員会では、中央公園リニューアル工事による米ヶ濱砲台跡の遺構への影響を調べるため、令和 2 年（2020 年）の 2 月から 8 月にかけて、地中にある遺構の発掘調査を行いました。調査終了後、将来にわたる保存のため、遺構面を不織布で覆って保護し、埋め戻しを行いました。

・解説パネル 1「米ヶ濱砲台について」（A1）（以下全文）

米ヶ濱砲台は旧日本陸軍の東京湾要塞の施設群の一つで、沿岸砲台に分類されます。

東京湾要塞を構成する砲台群は、要塞建設期（明治 10 ～ 20 年代：1880 ～ 96 年）につくられた東京内湾湾口部の砲台群と、要塞整理・震災復興期（大正年間～昭和初期：1917 ～ 38 年）につくられた東京外湾・相模湾に面した砲台群、に大別されます。

要塞建設期の沿岸砲台群は、① 富津一観音崎間の東



砲台跡遺構調査成果 & レンガ比較



砲台跡遺構出土品

京湾の湾口部を守る砲台群と、②横須賀・長浦両軍港を守る砲台群に分けられます。①のつくられた時期のあいだに②が入るため、つくられた時期を3期に分けて整理すると、次のようになります。

【要塞建設期 前期】明治10年代（1880～87年）

建築材にはレンガ（煉瓦）が多用され、その組積法はフランス積み、地下施設は壁（脚壁）およびヴォールト（かまぼこ型）天井ともレンガ造り。焼過レンガは使用されない。

【要塞建設期 中期】明治20年代前半（1888～91年）

建築材にはレンガが多用されるが、その組積法はオランダ積み（イギリス積み的一种）。地下施設は壁およびヴォールト天井ともレンガ造り。前面壁やアーチの一部には焼過レンガが使用された。

【要塞建設期 後期】明治20年代後半（1892～96年）

建築材にはレンガおよびコンクリートが併用された。地下施設は、壁がレンガ造りで組積法はオランダ積み、ヴォールト天井がコンクリート造り。焼過レンガは、その防水性を活かした用途に使用された。

要塞建設期中期につくられた米ヶ濱砲台跡の調査では、以下の特徴が明らかになりました。

建築材にはレンガおよびコンクリートが併用された。地下施設は壁がレンガ造りで組積法はオランダ積み、ヴォールト天井はコンクリート造り。前面壁やアーチの一部には焼過レンガが使用された。

上の下線部分（展示パネルでは赤字部分）は、これまで要塞建設期中期の沿岸砲台にはなかった特徴です。米ヶ濱砲台の建設は要塞建設期中期の中でも最も遅い時期にあたり、後の要塞建設期後期の砲台に正式採用される技術がいち早く使われたと考えられます。

・解説パネル2「米ヶ濱砲台跡—中央公園リニューアル工事にともなう調査—」（A1）（以下全文）

※このパネルは、横須賀市教育委員会の令和2年度「埋蔵文化財発掘調査速報展」の内容に、加筆・再構成をしたものです

空堀：砲台の防衛のために掘られた溝のことです。加農砲砲台の前面（海側）に位置し、大津砂泥層をおおよそ南北50m以上にわたって掘削して付設されていました。深さは調査時の地表面から約2.5mでしたが、加農砲砲台とその周辺は中央公園造成の際に3m以上削平されていることから、付設当時の深さは6m以上あったと推測されます。前後の法面も検出され、付設当時の前後幅は9m以上あったと判明しました。

砲側弾薬庫：加農砲砲台の二つの砲座の間には、砲側弾薬庫と考えられる地下構造物があり、地上を連絡する階

段とともに良好に残っていることが分かりました。

入口は焼過レンガを用いた半円アーチという、東京湾要塞の他の砲台には見られない独特の意匠でした。室内のヴォールト（かまぼこ型）天井はコンクリート製で、東京湾要塞の地下施設の天井がレンガ造りからコンクリート造りへと移行する最初の事例であることが判明しました。砲側弾薬庫入口と地上を連絡する階段は、凝灰岩でゆるやかな段差をつけた上で、板状にした花崗岩を踏み板とし、蹴込みも設けられていました。これにより、他の東京湾要塞の砲台に比べて格段に上り下りしやすくなっています。

・博物館保管のレンガ部材2点（うち1点は大型のため文化収蔵庫前に屋外展示）[キャプション全文]

「米ヶ濱砲台 砲側弾薬庫排気筒のレンガ部材」（A4パネル）[中央公園のリニューアル工事では、右下の図の水色で示した加農砲砲台の砲側弾薬庫と地上をつなぐ排気筒（矢印）の一部と考えられるレンガの塊が見つかりました。筒の角を構成していた部材で、外に面した部分が黒くなっています。これは、防水性を高めるためにアスファルトを塗布して仕上げたためです。],「ここにも！桜の刻印」(キャプション)[部材の最上層のレンガを覆っていたコンクリートを除去したところ、桜（単弁b種）の刻印が出てきました。]

「米ヶ濱砲台 地下通路の大型部材」（A4パネル）[博物館にはもう一つ、リニューアル工事で発見された部材を保管しています。人文館と文化財収蔵の間に置かれている大型部材で、榴弾砲の右翼観測所付近のトンネル通路（隧道、矢印で示した水色点線部分）の、壁と天井アーチをつなぐ部分と考えられます。人文館1階ホールから窓越しに見ることができます。]

・横須賀市教育委員会保管の東京湾要塞跡のレンガ8点[キャプション全文]

「レンガで比べる要塞建設期の前・中・後期」（A4パネル）[要塞建設期の3つの時代区分の間には、砲台等施設の建築様式の違いだけでなく、使われたレンガにも違いが認められます。]

【前期】「東洋組」の製品が採用された。猿島砲台跡では、「東洋組」や「東洋組西尾分局」の刻印レンガが見つかったている。

【中期】民間の製品が多く採用された。箱崎高砲台跡では「横浜煉化製造会社」の刻印レンガが見つかったている。

【後期】小菅集治監（現在の東京拘置所）にあったレンガ工場の製品が多く採用された。桜（単弁／複弁／つばみ）の刻印レンガが目印。

中期のなかでは建設時期が遅い米ヶ濱砲台では、小菅集

治監製のレンガが見つっています.]

「新モニュメントに引き継がれた『刻印』」(A4 パネル) [平和中央公園内の新しい平和モニュメント「平和の軸」の円周部分の台座には、レンガを積み重ねたような模様がつけられています。その中にときどき、写真のような桜の刻印を見つけることができます。この刻印は米ヶ濱砲台跡から出土したレンガの「桜(単弁 a 種)」の刻印(右下)を参考にしてつくられたそうです.]

「『東洋組西尾分局』刻印入りレンガ」(\* 猿島砲台跡出土品 実物 1 点) [刻印には「東洋組西尾分局」の文字が見える.], 「『横浜煉化』刻印入りレンガ」(\* 箱崎高砲台跡出土品 実物 1 点) [横浜煉化製造会社製.], 「『桜(つばみ)』刻印入りレンガ」(\* 千代ヶ崎砲台跡出土品 実物 1 点) [開花前の桜の花を模した刻印.], 「『桜(単弁 a 種)』刻印入りレンガ」(\* 千代ヶ崎砲台跡出土品 実物 1 点) [「単弁」とは 5 枚の花弁が確認できる刻印で、八重になっている「複弁」と区別して呼称される。「a 種」では花弁や雄しべが写實的.], 「『桜(単弁 a 種)・単弁 b 種』刻印入りレンガ」(\* 小原台砲台跡出土品 実物 1 点) [2 種類の単弁桜の刻印レンガが隣り合っており、写實的な a 種とデフォルメされた b 種の違いが比較しやすい.], 「『桜(単弁 a 種)』刻印入りレンガ」(\* 米ヶ濱砲台跡出土品 実物 1 点) [小菅集治監製。単弁の桜を写實的に模している.], 「『桜(単弁 b 種)』刻印入りレンガ」(\* 米ヶ濱砲台跡出土品 実物 1 点) [小菅集治監製。八重の花弁の桜はデフォルメされて用いられている.], 「『桜(単弁 a)』刻印入り焼過レンガ」(箱崎高砲台跡出土品 実物 1 点) [「焼過」で「やきすぎ」と読む。一面のみ他より高温状態にしている(矢印)。刻印面には焼成時に他のレンガと重ねた痕が見られる.]

\* は横須賀市教育委員会所蔵

#### 展示区画⑤：旧平和モニュメントおよび地質調査ならびに平和中央公園について

展示室北側の壁面には、リニューアル工事に先駆けて撤去された旧平和モニュメントの 3D 映像や、リニューアル工事の際に実施した地質調査の成果展示のほか、リニューアル間もない平和中央公園で開始した活動について展示した。

・3D 映像展示「3D でよみがえる平和モニュメント」(モニタ, A4 パネル各 1 点) (以下全文)

2020 年に撤去された平和モニュメントの小型模型(マケット)は現在、文化会館に展示されています。展示される少し前に、地球科学担当の学芸員によって写真撮影を行い、3D モデリングを試みました。そのデータ

を元に CG を得意とする博物館スタッフにより、中央公園に建つモニュメントの動画(40 秒)が制作されました。

・地質調査の成果展示 [キャプション全文]

「平和中央公園をつくる地層(地層はざと標本)」(A1 パネル, 実物 1 点) [中央公園の地層に専用の接着剤を塗り、寒冷紗で補強してはざとったものです。地層は米ヶ



旧モニュメント 3D 動画



中央公園をつくる地層



平和中央公園のこれから

濱砲台加農砲砲台空堀の発掘調査中に出現しました。中央公園をつくる地層は、横須賀層大津砂泥部層の上部です。おもに細粒砂からなり、生き物の巣穴の痕である泥質の生痕化石が含まれています。大津砂泥部層は干潟や浅い海でつくられた地層です。この地層ができた約 15 万年前は世界中で温暖化が進んだ時期で、海面が上昇して海岸線が陸側に移動しました。この時代の海岸線の移動を下末吉海進といいます。この海進によって、約 12 万年前の関東平野には、古東京湾と呼ばれる浅い海が広がっていたと考えられています。採集場所：中央公園南側の広場、地層名：横須賀層 大津砂泥部層、時代：新生代第四紀更新世（約 15 万年前）

「地層のはぎとり作業の様子」（A4 写真パネル）〔撮影場所：中央公園南側広場、地層名：横須賀層 大津砂泥部層、時代：新生代第四紀更新世（約 15 万年前）、専用の接着剤で地層を固めてはぎとっている。〕

「南側広場の大津砂泥部層」（A4 写真パネル）〔撮影場所：中央公園南側広場、地層名：横須賀層 大津砂泥部層、時代：新生代第四紀更新世（約 15 万年前）。米ヶ濱砲台加農砲砲台空堀の発掘調査中に出現。〕

「博物館口付近の大津砂泥部層」（A4 写真パネル）〔撮影場所：中央公園博物館口付近、地層名：横須賀層 大津砂泥部層、時代：新生代第四紀更新世（約 15 万年前）。公園リニューアル工事に伴って出現。〕

「砂層」（実物 1 点）〔撮影場所：中央公園博物館口付近、地層名：横須賀層 大津砂泥部層、時代：新生代第四紀更新世（約 15 万年前）〕

「中央公園の地層ができたころの関東地方（約 12 万年前）」（A4 パネル）

「三浦半島の層序」（A4 パネル）

・バナーパネル「平和中央公園のこれから」（以下全文）

令和 3 年（2021 年）4 月 1 日、平和中央公園が開園しました。芝生広場や花の階段など、公園の外観は大きく変わりました。さまざまな種類の桜や横須賀の雑木林、海岸などで見られる草木が植栽され、米ヶ濱砲台跡の一部も公開展示されました。

三浦半島についての発見と学びの場である当博物館では、隣接する平和中央公園を、自然や歴史についての新たな《発見と学びの場》と考えます。植栽された若い草木の成長とともに、この公園についての多くの自然や歴史の情報を蓄積し、提供できることを目指します。

・他パネル〔キャプション全文〕

「公園地図：令和 3 年（2021 年）」（A2 パネル）〔リニューアルした公園に設置されている案内図に一部改変を加えたもの。右上のあたり（「南側の広場」）は「芝生広場」

に生まれ変わり、博物館口から新しい平和モニュメントに向かうルートには花の階段が設置された。北口の広場では、トイレを改修したほか、米ヶ濱砲台跡の一部を外から見学しやすくしている。〕

「公園と博物館をつなぐ新しい活動『平和中央公園はっけん隊』」（A2 パネル）〔どのような活動ですか？：公園内の見ごろの植物を調べて、博物館に掲示します。／この活動はどのような効果がありますか？：博物館や公園を利用するみなさんが、地域の自然や歴史について自分で学び、くわしくなれます。博物館（資料・情報・知識）と屋外（自然）を関連づけ、みなさんが効果的に学べるような仕組みをつくっていきます。博物館と公園を往復しながら、地域の自然や歴史について自発的に探究できるように進めていきます。／これからどのように発展させていきますか？：これからの公園を、地域のみなさんと一緒につくっていきます！「公園内の植物（樹木や草花）に名前のプレートをつける」、「自分たちで花壇をつくる」など、博物館と公園が近くにあるからこそできる活動をみなさんと考えていきたいです。〕、（A1 パネルには 4 月 3 日、10 日、17 日、24 日の活動をマップにまとめた画像を掲示）

#### 展示区画⑥：アンケートならびに資料配架コーナー

展示室出入口の近くには、パーテーションで囲まれた配架・記入台を用意し、展示や博物館の関連配布資料を配架するとともに、展示アンケートの記入スペースとするとともにパネルを設置した。

・パネル（A1）

「おわりに」（以下全文）

かつて中央公園は「砲台山」と呼ばれ、軍港都市・横須賀の防衛の一角を担っていました。戦後四半世紀にあたる年に開園した中央公園には戦没者慰霊塔が設置され、平成に入って核兵器廃絶・平和都市宣言のモニュメントが設置されました。

令和の今、この地から見わたす横須賀の市街地は、軍港都市だった横須賀が、戦後、平和産業都市へと大きく舵を切り、その後の発展を遂げた姿です。新しくなった中央公園の名称に付された「平和」の二文字は、戦争の記憶と平和への願いを未来につなぐ私たちの決意を新たにさせてくれます。

博物館は地域の自然や歴史・文化を集め、未来へつなぐ施設です。新しくなった公園と共に、当博物館もまた、時代とともに形や展示を変えながら、地域の《発見と学びの場》の一つとして、未来に向けて資料や記憶をつなぐ施設として、使命を果たしてまいります。

最後に、本展示制作にあたりご協力いただいた機関・個人にこの場を借りて感謝申し上げます。

横須賀市自然・人文博物館

・写真パネル（A1）2点

「新しい平和モニュメントの上空照射試験の様子」、「平

和モニュメント点灯式当日の博物館屋上から撮影した公園と夜景」、『第32回全国「みどりの愛護」のつどい』

\* 開催告知パネル

\* は横須賀市環境政策部自然環境共生課制作



愛護のつどいパネル&アンケート



出入口ゲート裏

### (3) 企画展示②

#### 「新着資料展 2022—近年収蔵の近現代史料から—」

博物館では、多くの資料を大切に収蔵しているものの、これら貴重な資料も展覧会のテーマに合わない限り実物展示の機会に恵まれることはない。そこで、今回の企画展示では、資料の展示機会の拡大を主眼として、展覧会全体のテーマを設定せず、多くの貴重な資料を幅広く紹介する企画とした。

担当：菊地・瀬川・藤井

#### 開催場所

本館特別展示室

#### 開催期間

4 年 3 月 5 日（土）～ 令和 4 年度へ継続 [23 日間]

#### 見学者数

5,515 人

#### 関連事業

展示解説 4 年 3 月 5 日（土）

#### 展示内容

以下、パネルのあいさつ文原稿、並びにコーナー毎に展示資料一覧を掲載

#### ■導入パネル全文

企画展示の開催にあたって 《ごあいさつ》

企画展示「新着資料展 2022 —近年収蔵の近現代史料から—」へご来場いただき、ありがとうございます。今回の企画展示は、これまで展示されてこなかった所蔵資料をなるべく幅広く展示紹介させていただこうと企画したものです。

博物館では、寄贈資料など、多くの貴重な資料を大切に保存管理しています。

しかし、これらの資料も、展覧会のテーマに合わない限り、実物展示の機会に恵まれることはありません。今回の企画展では、資料の展示機会の拡大を主眼として、全体のテーマを設定しないで、展示エリア毎にまとまりをもった内容の資料群を並べさせて頂きました。昭和 20 年代の横須賀市・座間市で描かれたであろう「アメ

リカ兵と家族の似顔絵たち」も今回のような全体のテーマを設けない新着資料展であるからこそ、全体像を展示紹介することが可能となったコレクションの一つと思います。絵を一点ずつ見つめると、アメリカ人たちの良き記念となるよう、一生懸命に描写した画家の気持ちと熱意が今に蘇ってくるかのようです。

展示開催に際して、横須賀市民の皆様をはじめとし、多くの方々の支援を得ております。この場をお借りしまして心より深く御礼申し上げます。

横須賀市自然・人文博物館

## 【展示品目録】

### ■コーナー① 小学校のむかしの資料 創立 150 周年目の豊島小学校や鶴久保小学校、走水小学校の卒業アルバムなど

◎映像上映「むかしの小学生」昭和 32 ～ 45 年（全 10 分 30 秒）

小学生の消防クラブ・諏訪小学校（昭和 32（1957）年 3 月）、夏休み子どもたち・市内外（昭和 33（1958）年 8 月）、ぼくらのこども銀行・浦賀小学校（昭和 39（1964）年 12 月）、修学旅行「日光」・豊島小学校（昭和 40（1965）年 10 月）、横須賀に新しい博物館（昭和 45（1970）年 12 月）

◎豊島小学校関係

『創立百周年記念 としま』（横須賀市立豊島小学校、昭和 47（1972）年 4 月 15 日）、『横須賀市立豊島小学校創立 100 年記念 学校概要』（横須賀市教育委員会、昭和 47（1972）年 6 月 22 日）、『創立八十周年記念アルバム』（横須賀市立豊島小学校、昭和 27（1952）年 6 月 22 日）、『鎌倉歴史絵語』（昭和 27 年、豊島小学校遠足で児童が購入）、『江の島鎌倉名所カード』（同上）、『豊

島尋常高等小学校絵葉書』2 点（昭和 12（1937）年 5 月 28 日横須賀鎮守府許可済み）、『豊島小学校航空写真』、『昭和 8 年度水泳記念撮影豊島小学校児童集合写真』

◎鶴久保、走水小学校関係ほか

『創立百周年記念 はしりみず』（走水小学校、昭和 48（1973）年 10 月）、『走水小学校大正 4（1915）年度卒業記念アルバム』、『卒業記念アルバム鶴久保尋常小学校』（昭和 6（1931）年 3 月）、『卒業記念写真帳 鶴久保尋常小学校』（昭和 10（1935）年 3 月）、『創立 60 周年記念誌 つるくば一学校と郷土のおいたち』（横須賀市立鶴久保小学校、昭和 43（1968）年 11 月）、『就学通知書』（昭和 10（1935）年 2 月）、『小學國語読本 卷一』（文部省、昭和 8（1933）年 2 月）、『小學國語読本 卷二』（文部省、昭和 8（1933）年 7 月）、『小學國語読本 卷十一』（文部省、昭和 13（1938）年 3 月）、『小學國語読本 卷十二』（文部省、昭和 13（1938）年 8 月）

◎パネル

「豊島尋常高等小学校、朝礼式、昭和 12（1937）年 5 月鎮守府許可済」拡大写真パネル、「豊島小学校、朝礼、創立八十周年記念アルバム、昭和 27（1952）年 6 月」拡大写真パネル、「豊島小学校、本校正門、創立八十周年記念アルバム、昭和 27（1952）年 6 月」拡大写真パネル、「走水小学校、大正 4（1915）年度卒業記念」拡大写真パネル

### ■コーナー② 小学校と中学校の昔の資料 ～ 創立 150 周年の汐入小学校、今は逗子市立の旧横須賀市立久木小学校、マンモス校としても有名だった不入斗中学校など～

◎小学校と中学校の昔の資料

『しおりり 創立百周年記念誌』（横須賀市立汐入小学校、



エントランス



展示全景 (1)

昭和 48 (1968) 年 5 月),『しおりり 創立百二十周年記念 副読本』(横須賀市立汐入小学校,平成 4 (1992) 年 11 月),「改築落成記念絵葉書 汐入尋常小学校」一式(昭和 3 (1928) 年 12 月 9 日),「汐入小学校少年少女入団式記念写真」(昭和 11 (1936) 年 5 月),「進んで学習に取り組む子に育てる指導は,どうあるべきかー社会学習を通してー」『研究紀要』(横須賀市立汐入小学校,昭和 63 (1988) 年 3 月),『創立五周年 新校舎落成記念 学校沿革略史』(不入斗中学校,昭和 27 (1952) 年 10 月 17 日),「不入斗中学校職員集合写真」,「写真 不入斗中学校校庭(五周年落成記念体育祭の様子)」(昭和 27(1952) 年),「写真 不入斗中学校校舎正面全景」(昭和 27(1952) 年),『学校要覧』(横須賀市立馬堀中学校,昭和 60 (1985) 年度),『学校要覧』(横須賀市立長井中学校,昭和 61 (1986) 年度),『学校要覧』(横須賀市立長沢中学校,昭和 63 (1988) 年度),『学校要覧』(横須賀市立武山中学校,平成 2 (1988) 年度),『十周年記念誌』(横須賀市立桜台中学校),『職業体験 2 学年』(横須賀市立北下浦中学校,2003 年 2 月 13・14 日),「羽根田弥太学芸員・大谷茂学芸員業績目録」『横須賀市博物館資料集』第 1 号(横須賀市博物館,昭和 53 (1978) 年 3 月),「横須賀市立久木小学校開校記念写真」(昭和 24 (1949) 年 5 月 14 日),『横須賀市博物館研究報告』第 2 号(横須賀市博物館,昭和 32 (1957) 年 3 月),平賀譲「最近の帝國軍艦の誕生に就いて」『海軍グラフ』第 4 巻 2 号(海事研究社,昭和 11 (1936) 年 2 月)

#### ◎市内小中学校の記念誌

『創立九十年誌 大津のあゆみ』大津小学校,昭和 42 (1967) 年,『創立 60 周年 記念誌』(沢山小学校,昭和 46 (1971) 年),『創立 50 周年記念誌』(田戸小学校,

昭和 47 (1972) 年),『山崎小学校 創立 60 周年記念誌』(山崎小学校,昭和 47 (1972) 年),『創立百周年記念 くりはま』(久里浜小学校,昭和 48 (1973) 年),『創立百周年記念 かもい』(鴨居小学校,昭和 48 (1973) 年),『創立百年誌 きぬがさ』(衣笠小学校,昭和 48 (1973) 年),『創立 50 周年記念誌 こうざか』(高坂小学校,昭和 50 (1975) 年),『創立 70 周年記念 こうざか』(高坂小学校,平成 7 (1995) 年),『おぎの開校のしおり』(荻野小学校,昭和 57 (1982) 年 5 月),『開校記念文集 おぎの』(荻野小学校,昭和 57 (1982) 年 5 月 24 日),『創立 10 周年記念 みどりの岩戸』(岩戸小学校,昭和 60 (1985) 年),『創立 10 周年記念誌 おばらだい』(小原台小学校,昭和 61 (1986) 年),『創立 20 周年記念誌 おばらだい』(小原台小学校,平成 9 (1997) 年),『わたしたちの町船越ー創立 100 周年記念・副読本ー』(船越小学校,昭和 62 (1987) 年),『創立 10 周年記念 しんめい』(神明小学校,平成元 (1989) 年 6 月),『創立十周年のしおり』(汐入小学校,平成元



小学校のむかしの資料



展示全景 (2)



映像上映「昔の小学生」

(1989) 年 6 月 17 日), 『富士見』第 95 号(富士見小学校 PTA 広報委員会, 平成 3 (1991) 年), 『富士見』第 100 号(富士見小学校 PTA 広報委員会, 平成 5 (1993) 年), 『城北 創立三十周年記念』(城北小学校, 平成 4 (1992) 年), 『創立 20 周年記念・副読本 わたしたちの津久井』(津久井小学校, 平成 8 (1996) 年), 『創立 100 周年記念 あゆみ』(北下浦小学校, 平成 13 (2001) 年 5 月 12 日), 『神明』(神明中学校, 昭和 61 (1986) 年), 『2001 年度 2 年生 職業体験学習』(横須賀市立北下浦中学校), 『横須賀市の教育』(横須賀市教育委員会, 昭和 28 (1953) 年), 『よこすかの教育』(横須賀市教職員組合, 昭和 33 (1958) 年 12 月), 『64 年 よこすかの教育』(横須賀市教育委員会, 昭和 40 (1965) 年 3 月)

#### ◎教科書・副読本 昭和 20 年代～ 30 年代

『あたらしいおんがく 1 ねん』(弘田龍太郎編, 東京書籍株式会社, 昭和 28 (1953) 年), 『たのしいうた』(神奈川県小学校音楽教育研究会, 昭和 34 (1959) 年), 『標準 しょうがくせいのおんがく』(池内友次郎・木下保監修, 教育出版株式会社, 昭和 35 (1960) 年), 『小学生の科学 交通機関はどのようにして動くか』第 6 学年用(東京書籍株式会社, 昭和 24 (1949) 年), 『私たちの科学 9 海をどのように利用しているか』中学校第 2 学年用(文部省, 昭和 22 (1947) 年), 『私たちの科学 11 地下の資源をどのように利用しているか』中学校第 2 学年用(文部省), 『私たちの科学 14 機械を使うとどのようにはかどるのか』中学校第 3 学年用(文部省), 『私たちの科学 15 電気はどうして役に立つか』中学校第 3 学年用(文部省), 『私たちの科学 16 交通通信機関はどれだけ生活を豊かにしているか』中学校第 3 学年用(文部省)

#### ◎パネル

「汐入尋常小学校, 校地改修作業, 昭和 3 (1928) 年 11 月, 横鎮許可済」拡大写真パネル, 「汐入尋常小学校, 改築校舎, 昭和 3 (1928) 年 11 月, 横鎮許可済」拡大写真パネル

#### ■コーナー③ 戦前戦後の雑誌コレクション ～『海と空』, 『海軍グラフ』, 『海洋少年』, 『アサヒグラフ』など～

『海洋少年』(海と空社, 昭和 14 (1939) 年), 二木卓也「手旗信号の話」『海洋少年』第 2 巻第 1 号(海と空社, 昭和 15 (1940) 年 1 月号), 『海と空』(海と空社, 昭和 11 (1936) 年), 荒井郁「祖父荒井郁之助を語る」『海と空』第 5 巻第 3 号(海と空社, 昭和 11 (1936) 年 3 月号), 徳川夢聲「足柄お土産画帖」『海と空』第 6 巻第 12 号(海と空社, 昭和 12 (1937) 年 9 月号), 汐入小学校の先輩平賀譲の記事ほか(『海軍グラフ』(海事研究社, 昭和 11 (1936) 年)所収), 『歴史写真』(歴史写真會, 昭和 3 (1928) 年から昭和 4 (1929) 年, 昭和 6 (1931) 年), 『演藝と映画』(歴史写真會, 昭和 3 (1928) 年 10 月号から昭和 4 (1929) 年 11 月号), 『世界画報』(国際情報社, 昭和 9 (1934) 年 3 月号), 『国際写真情報』(国際情報社, 昭和 9 (1934) 年 3 月号), 「世界的名女優ベティ・ブーブ嬢一殴られる彼奴の巻」『世界画報』第 10 巻第 11 号(国際情報社, 昭和 9 (1934) 年 11 月), 『科学朝日』(朝日新聞社, 昭和 18 (1942) 年 10 月号), 伴俊彦「西貢パスツール研究所一訪問記」『科学朝日』第 2 巻第 4 号(朝日新聞社, 昭和 17 (1942) 年 4 月), 『航空朝日』(朝日新聞社, 昭和 17 (1942) 年 1 月号, 2 月号), 『学生の科学』(誠文堂新光社, 昭和 17 (1942) 年 10 月号), 『ポピュラサイエンス 日本語版』(株式会社イヴニング・スター社, 昭和 23 (1948)



戦前戦後の雑誌コレクション



美しい天井飾り

年),『アサヒグラフ』(朝日新聞社,昭和2(1927)年9月14日号),『アサヒグラフ』(朝日新聞社,昭和19(1944)年4月26日号),『アサヒグラフ』(朝日新聞社,昭和24(1949)年6月1日号),『アサヒグラフ』緊急特別号(朝日新聞社,昭和44(1969)年8月15日号),『アサヒグラフ』(朝日新聞社,昭和44(1969)年1月31日号),『科学圏』(青山書院,昭和21(1946)年)

#### ■コーナー④ 美しい天井飾り～戦前の医院と旧横須賀鎮守府庁舎～

「小松原医院旧建物の天井飾り」3点(昭和初期,古典様式,金属製),「横須賀鎮守府庁舎の天井飾り」2点(大正15年竣工建築の当初部材),『旧横須賀鎮守府庁舎&ドライドック』(長浜つぐお編,平成10(1998)年11月),『横須賀鎮守府』の歩み』(長浜つぐお編,横須賀の文化遺産を考える会発行,平成20(2008)2月15日),「古典様式の装飾(卵鍔など)スケッチ」(浦賀コミュニティセンター主催行事配布資料,作図:横須賀市教育委員会生涯学習課文化財係亀井泰治),鈴木博之「建築様式のディテール ギリシャ」『図説年表 西洋建築の様式』(彰国社,平成10(1998)年4月),「絵葉書(横須賀名所)横須賀鎮守府」(昭和8(1933)年2月横鎮検閲済),「絵葉書(横須賀名所)横須賀鎮守府」(昭和15(1940)年1月横鎮許可済)

#### ■コーナー⑤ 米兵とその家族の似顔絵コレクション ～持ち帰られなかった横須賀・日本みやげ～

◎米兵とその家族の似顔絵原本 75 点

#### ■コーナー⑥ 軍港よろづ新聞(大正14(1925)年)と公正新聞(明治43(1910)年)

『軍港よろづ新聞』(大正14(1925)年11月16日・17日・18日各号),

『公正新聞(復刻版)』(『横須賀・三浦繁盛記』附録,明治43(1910)年5月28日)

#### ■コーナー⑦ 旧海軍の進水式・観艦式や旅の資料,雑誌のふろくなど

◎雑誌附録と旅関連資料

「海陸空交通機関写真場帖」『子供の科学』第四巻第一号附録(昭和16(1941)年1月1日),「皇紀二千六百年奉祝建國繪巻双六」(主婦之友社,新年号附録,昭和15(1940)年),「海の守 戦艦陸奥,年賀状型紙」『少年倶楽部』第22巻第1号附録(昭和9(1934)年),「タバコラベル帖」(昭和12(1937)年から,世界各国のコレクション),「御朱印帖」(昭和11(1936)年から昭和12(1937)年代の全国各地のコレクション),『健歩雑誌 ハイキング』第110号(ハイキング社,昭和16(1941)年12月),『SHORT MOTOR TRIPS around TOKYO & YOKOHAMA』(JAPAN TOURIST BUREAU,昭和7(1932)年),『三浦半島ハイキング』(中村謙,神奈川県観光協会,昭和22(1947)年5月),『湘南絶勝 三浦半島』(黒田壽太郎,昭和4(1929)年5月),『三浦半島』(日本名勝研究会,昭和2(1927)年10月),『三浦半島めぐり』(東京鐵道局,昭和2(1927)年12月),『みうら』(神奈川県三浦市商工観光課,三浦市観光協会),『横須賀名所案内 三浦半島めぐり』(起明堂書店,昭和5(1930)年8月),『逗子・葉山・三崎・横須賀 三浦一周案内』(昭和3(1928)年7月),『箱根 湯河原』(日本交通公社,昭和29(1954)年3月),『相模鐵道沿線案内』,『真鶴及附近』(朝倉重治,大正12(1923)年5月),『大楠』(大楠青年団長 安田仙之助,



米兵とその家族の似顔絵コレクション



公正新聞

昭和 11 (1936) 年),『最新 鎌倉地図』(後藤邦栄堂,  
昭和 3 (1928) 年 10 月)

◎横須賀海軍工廠での進水式関係資料

「潜水母艦(大鯨)起工式記念写真」(昭和 8 (1933)  
年 4 月 12 日),「軍艦大鯨進水記念繪葉書」(横須賀海  
軍工廠,昭和 8 (1933) 年 11 月 16 日),「帝國海軍に  
一新鋭を加ふ 潜水母艦大鯨の進水式の光景」『海と空』  
第 2 巻第 12 号(海と空社,昭和 8 (1933) 12 月),「軍  
艦鈴谷起工式記念写真」(昭和 8 (1933) 年 12 月 11 日),  
「軍艦鈴谷命名式記念繪葉書」(横須賀海軍工廠,昭和 9  
(1934) 年 11 月 20 日),「軍艦鈴谷進水式」『海と空』  
第 3 巻第 13 号(海と空社,昭和 9 (1934) 12 月),「鈴  
谷」『海と空』第 16 巻第 9 号(海と空社,昭和 32 (1957)  
10 月),「軍艦飛龍進水記念繪葉書」(横須賀海軍工廠,  
昭和 12 (1937) 年 11 月 16 日),「新鋭航空母艦“飛  
龍”の進水式」『海軍グラフ』第 6 巻第 1 号(海事研究社,  
昭和 13 (1938) 1 月),「軍艦飛龍進水記念品」

◎進水式の参考映像「昭和 34(1959) 年進水式映像(横  
須賀市広報番組より編集)」

内容は,旧横須賀海軍工廠ガントリークレーン(大  
正 2(1923) 年製)での船の進水式と同年の横須賀製鉄  
所開設 94 周年記念式典の記録映像番組。なお,昭和  
34(1959) 年はガントリークレーンが日本政府に返還さ  
れた年。

◎昭和 8 (1933) 年旧海軍観艦式関係資料

「昭和八年 特別大演習 観艦式御式次第 式場圖」,「陪  
観者乗退艦其の他に關する注意事項」,「昭和八年特別  
大演習御召艦記念寫眞 比叡」,「昭和八年特別大演習  
観艦式記念繪葉書」,「昭和八年特別大演習観艦式記念  
品 バックル」,『世界画報』第 9 巻第 11 号(國際情報社,  
昭和 8 (1933) 年 11 月号)

■コーナー⑧ 勲章・記念章・従軍記章 ～ 明治時代か  
ら昭和戦前期 ～

◎従軍記章類

「明治二十七八年従軍記章」,「明治三十三年従軍記章」,  
「明治三十七八年従軍記章」,「大正三四年従軍記章」,「大  
正三年及至九年戦役従軍記章」,「昭和六及至九年事變  
従軍記章」,「支那事變従軍記章」,「池田家漆賞状入れ」,  
「略綬」,「従軍記念品,文鎮 多摩」

◎大禮記念,紀元二千六百年記念品類

「大禮記念章」(大正 4 (1915) 年 11 月),「大禮記念  
章之證」(昭和 3 (1928) 年 11 月 16 日),「大正天皇  
大禮記念切手」,「大正天皇大禮記念繪葉書」,「繪葉書「立  
太子当日の光景」」,「昭和の大禮記念章」(昭和 3 (1928)  
年 11 月),「大禮記念招待状」(昭和 3 (1928) 年 11  
月 1 日),「大禮記念 横須賀海軍工廠軍事功労者記念  
寫眞」,「繪葉書(御大典の都)本郷三丁目 十一月六  
日」(昭和 3 (1928) 年),「繪葉書(御大典の都)東京  
駅 十一月六日」(昭和 3 (1928) 年),「紀元二千六百  
年祝典記念章」(昭和 15 (1940) 年 11 月),「紀元  
二千六百年祝典記念スタンプ用繪葉書」,「繪葉書 紀  
元二千六百年奉祝記念實況から「銀座通り奉祝風景」「市  
内奉祝神輿」

◎勲章類

「帝國勲章大鑑」『少年俱樂部』第 26 巻第 1 号附録(講  
談社),「功七級金鷄章」,「功六級金鷄章」,「勲八等白  
色桐葉章」,「勲七等青色桐葉章」,「勲六等単光旭日章」,  
「勲五等雙光旭日章」,「勲八等瑞寶章」,「勲七等瑞寶章」,  
「勲六等瑞寶章」,「勲四等瑞寶章」,

■コーナー⑨ 近年収蔵の民俗資料から



雑誌ふろくなど



勲章・記念章・従軍記章

## ◎民俗コーナー

「田戸の庚申塔, 貞享3 (1686) 年 12 月 10 日」, 「牛の角で製作したツノ (疑似餌), 久里浜, 彦四郎丸作」, 「曲物一匏, 米ヶ浜の望月商店 3 代目望月孝治郎氏作」, 「篩, 米ヶ浜の望月商店 3 代目望月孝治郎氏作」

■コーナー⑩ 旧海軍・医療に関わる資料から ～ 看護師に届いた召集令状, 薬学専攻の海軍技師と初代市立病院長の旧蔵資料など～

◎薬学を専門とした旧海軍技師 高等官笹尾祐氏の旧蔵資料

「顕微鏡, ドイツ製 Ernst Welzlar 社」, 「顕微鏡関係品スライドガラス, 接眼レンズ」, 「薬品小瓶」, 「上皿天秤」, 「木箱入り分銅」, 「アルバム (笹尾祐氏や旧横須賀海軍

軍需部の同僚達の写真など)」

◎市立横須賀病院と同病院初代院長中島悦郎氏旧蔵資料  
「市立横須賀病院落成の記念写真」(昭和6 (1931) 年 3 月 3 日), 「市立横須賀病院前での集合写真」(昭和戦前期), 「絵葉書 横須賀大震災實況」(畠山発行, 大正期), 「宮中関係行事の招待状」(昭和戦前期)

◎海軍軍人とその娘の日赤看護婦関係資料

「任命状」(海軍機関特務大尉), 「海軍士官用トランク」, 「正肩章」, 「戦時召集状」(昭和20 (1945) 年 7 月 12 日), 「救護要員としての召集状」(昭和20 (1945) 年 12 月 15 日), 『浦賀港引揚船関連写真資料集～よみがえる戦後史の空白～』(旧浦賀地域文化振興懇話会・横須賀市市民部市民生活課編, 横須賀市発行, 平成18 (2006) 年 10 月 1 日)



田戸の庚申塔



薬学を専門とした旧海軍技師高等官笹尾祐氏の旧蔵資料



展示解説

## 2 研究発表会

### (1) みんなの理科フェスティバル

#### 「第 5 回 みんなの理科フェスティバル」

「こどもからおとなまで、みんなが『理科』でつながる」をテーマに、様々な出展者による研究発表展示やワークショップ、講演会などを開催した。横須賀市文化会館共催。2022 年 1 月上旬の新型コロナウイルス市内感染者数拡大を受け、プログラムや出展内容を一部変更した。

担当：内船・山本・萩原・柴田

#### 開催場所

本館講座室・1 階ロビー、横須賀市文化会館第一・第二市民ギャラリー

#### 開催期間

4 年 1 月 22 日、1 月 23 日

#### 来場者数

2,185 人

#### 開催内容

##### ・ギャラリー出展および発表会

開催期間中、文化会館のギャラリーに子どもから大人まで様々な「理科」の作品を集約展示した。

##### ①理科研究

市内小学校「よこすか子ども科学賞」入賞作品および応募作品 38 件のほか、小中学生 3 件、県立高校生 16 件、大学院生 2 件、一般 1 件、当博物館 2 件のポスターもしくはレポート

##### ②理科工作

市内小学校の「よこすか子ども発明展」入賞作品 9 件、市内中学校科学部の作品 2 件

##### ③理科活動

市立小学校 1 件、県立高校 1 件、市内研究団体 1 件のポスターもしくはパネル・作品

##### ④ワークショップ

企業 2 件、大学サークル 1 件、市外活動団体 1 件、当博物館 1 件。市内感染者数拡大を受け、予定していた県立高校の 2 件は中止

##### ⑤表彰式および発表会

表彰式（主催：横須賀市教育委員会、主管：横須賀市小学校理科教育研究会）は「よこすか子ども科学賞」および「よこすか子ども発明展」入賞者を表彰するものであり、発表会（みんなの発表会）は出展者が一堂に会して他の出展者や来場者と交流するものであるが、いずれも市内感染者数拡大を受け中止

##### ・関連企画

##### ①関連講演会 1（自然環境講演会）

本館講座室。4 年 1 月 22 日。63 ページを参照。

##### ②パネル展示

本館 1 階ホール。4 年 1 月 15 日～2 月 6 日。前項関連企画①とともに、理科フェスティバル実施時期に合わせて開催した。

##### ③関連講演会 2



理科研究（よこすか子ども科学賞の作品群）



理科研究（大学院生の研究を熱心に聞く小学生）

本館講座室. 4 年 1 月 23 日. 64 ページを参照.

④ミュージアム・トーク

本館. 4 年 1 月 23 日 (中止).

⑤実験演示と演奏

本館. 4 年 1 月 23 日 (中止). 「パイプオルガンの科

学と音楽」と題し、市内を拠点とするパイプオルガン工房の技術者と演奏家、ワークショップ出展の実験演示者によるコラボレーションのもと、パイプオルガンの音が鳴る科学的機序の解説とともに身近な音楽の演奏を予定した。



理科活動 (三浦半島昆虫研究会による写真展)



関連講演会 1 (自然環境講演会. トークセッションにおける本多和彦氏, 林 公義氏, 内船 [左から])



関連講演会 2 (LiCaCLUB 主催. 講演者: 近藤俊三氏)



ワークショップ  
(東京都立大学のサークルによる「いきもの園」)



ワークショップ (企業による実験演示・体験)



ワークショップ (当博物館出展の「押し葉しおりとレジニアクセサリー」)

### 3 講演会

#### (1) 特別展示講演会「アジアと世界の恐竜足跡化石」

特別展示「足跡化石から探る太古の世界」に関連して、足跡化石研究の第一人者であるマーチン・ロックレイ博士(コロラド大学名誉教授)の講演会を8月に企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、講師の来日が困難となったため中止とした。

担当：柴田

#### (2) よこすか歴史物語1 建築史からみた「ティボディエ邸」

11月13日、本館、参加者21人。横須賀製鉄所副首長ティボディエ官舎(通称ティボディエ邸)は、横須賀製鉄所の当初建築として唯一現存してきたものである。通称ティボディエ邸は、横須賀製鉄所が建設に関わった世界遺産の富岡製糸場に連なる木骨煉瓦造技術の源流を物語る存在でもあり、日本の近代建築史上でも極めて重要な価値を有すると位置づけられてきた。講演会では、通称ティボディエ邸の現存確認から保存に至るまでの調査の過程で見えてきた建築史的価値について紹介した。

担当：菊地・瀬川

#### (3) よこすか歴史物語2 横須賀の考古学最前線

4年2月27日、本館、参加者63人。横須賀市で考古学を担当してきた職員のうち、3名が当該年度で再任

用期間を終えるのを契機に、これまで蓄積してきた横須賀の考古学上の情報や新知見を広く紹介していただく機会とした。本来登壇予定だった当館の故稲村学芸員については、業績とその意義について、自著も含めて紹介した。

講演題目と講演者は下記の通り。

##### 1 旧石器時代

題目：陥し穴状土坑群の調査をめぐって ～すごいことになっているぞ、横須賀の旧石器時代！～

講演者：佐藤明生(横須賀市立中央図書館郷土資料室・当館考古学担当併任)

##### 2 縄文時代

題目：史跡 夏島貝塚を再び考える～縄文時代の海産資源開発の原風景を伝える貝塚遺跡～

講演者：野内秀明(市教育委員会生涯学習課)

##### 3 近世(江戸時代)

題目：浦賀奉行所跡の発掘調査～埋もれていた浦賀奉行所〔役所〕跡の姿が見え始めた！～

中三川昇(市教育委員会生涯学習課)

##### 4 近代(幕末以降)

題目：横須賀の近代遺跡を概観して～横須賀製鉄所跡、史跡 東京湾要塞跡、浦賀船渠跡など～

講演者：野内秀明(市教育委員会生涯学習課)

担当：佐藤・菊地・瀬川・藤井



よこすか歴史物語2 講演者：野内秀明氏



よこすか歴史物語2 講演者：中三川昇氏

## 4 調査等出張

### (1) 調査出張

#### ア 出張①

### 「伊豆諸島の昆虫調査 A および B」

本事業は、「八丈島の身近な自然および発光生物」の調査（A [写真 1～6]）と「伊豆大島の身近な自然」の調査（B [写真 7, 8]）の 2 回に分けて実施した。

A は、本州本土部に由来するゲンジボタルおよびヘイケボタルの生息状況と発光キノコ類の現地確認を行うため、6 月 25 日～28 日の行程で東京都八丈島にて実施した。発光生物は八丈町三根のホタル水路および同町中之郷の安川ほとたるの里の 2 か所で探索し、ゲンジボタルは少なかったもののホタル 2 種を確認したほか、ヤコウタケとエナシラッシタケの発光も観察することができた。また、八丈島の自然や歴史についての情報を収集するため、同町大賀郷の八丈植物公園内にあるビジターセンターや同地区の東京都八丈支庁内にある八丈島歴史民俗資料館にて資料調査や聞き取り調査を行った。一方、身近な自然の調査は、前出の八丈植物公園のほか、垂土野営場跡および和泉親水公園（同町三根）、南原千畳敷および大潟浦園地（同町大賀郷）などで実施した。

B は、東京都伊豆大島の身近な昆虫を明らかにするため、7 月 25 日～27 日の行程で実施した。三原山山頂に続く



写真 1. ヘイケボタル (左) と飛翔発光 (右)

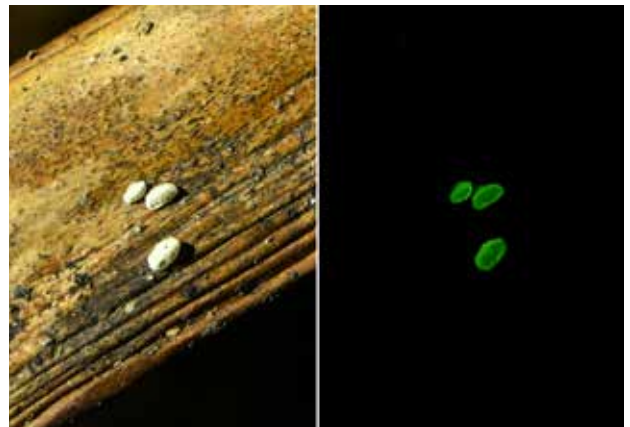


写真 2. エナシラッシタケ (左) と発光 (右)



写真 3. オオムラサキシキブを食害するイチモンジカメノコハムシ (神奈川県内で記録はあるが三浦半島未記録) の幼虫 (右) を捕食するキュウシュウクチブトカメムシ (神奈川県内沿岸域ではわずかに確認) の幼虫 (左)



写真 4. イタドリ葉裏のイタドリオマルアブラムシ (神奈川県内では西部のみ分布)

樹海ルートおよび大島公園（大島町泉津）、野田浜（同町岡田）、砂の浜（同町野増）、大島町メモリアル公園（同町元町）などで調査を行った。また、伊豆大島の自然についての情報を得るため、伊豆大島火山博物館（同町元町）や大島町貝の博物館 ばれ・らめーる（同町差木地）を見学した。

担当：内船



写真 5. リュウキュウツヤハナムグリ（神奈川県未記録だが東京都本土部湾岸域で移入発生）



写真 6. ミナミアオカメムシ（南方系のイネ科害虫、神奈川県内では稀）



写真 7. フタオビミドリトラカミキリ（神奈川県では沿岸を中心に分布）



写真 8. トゲアリ（神奈川県内で記録はあるが三浦半島未記録）

## イ 出張②

### 「山陰地方の民俗調査」

今回の山陰地方の民俗調査では、以下の3つの目的があった。

1. 山陰地方の丸石信仰に関する調査
2. 全国の漁師から信仰された隠岐諸島の焼火神社の調査
3. 「散米」習俗の調査

1. 松江市の美保神社では御霊石という丸石があり安産信仰を集めている。美保神社の御霊石を実見すると、確かに丸石であるが、横須賀市秋谷の子産石と同様の球状コンクリーションかどうかはわからなかった。また、浜田市では球状コンクリーションと近似のノジュールで有名な石見畳々浦がある。石見畳々浦の現地調査、浜田市浜田郷土資料館と浜田市立中央図書館での資料調査では、秋谷の子産石と同じような安産・子宝信仰に結び付く事象や記述は得られなかった。

2. 焼火神社周辺の灯籠・狛犬・寄付者掲示等を実見したが、三浦半島に関わる人名・漁船名等は確認できなかった。  
 3. 「散米」とは、社寺へ参拝した折に賽銭箱などに向け白米を撒く習俗であり、松江市の宍道湖周辺ではまだ見られるとされる。散米が現在でも行われていることを賽銭箱近くに白米が置かれていることで確認できた。三浦半島においても、湯立神楽の演目「羽能」では、場を清めるために散米する所作がある。散米の習俗は、お賽銭の普及により見られなくなったと考えらえるが、宍道湖周辺で散米を確認できたことは、湯立神楽研究の一助となった。

担当：瀬川



焼火神社



石見畳々浦



美保神社の御霊石



賽銭箱と米 (石宮神社)

## (2) 科研費調査出張

### 「三浦半島の昆虫相のルーツ解明に向けた伊豆諸島昆虫調査／九州南部昆虫調査」

本事業は、東京都八丈島 (① [写真1～4]) と鹿児島県奄美大島 (② [写真5～8]) の2回に分けて実施した。

①では、八丈島の夏季の身近な動植物を明らかにするため、7月22日～24日の行程で実施した。八丈植物公園および八丈富士および大瀨浦園地 (同町大賀郷)、垂土野営場跡および和泉親水公園 (同町三根) のほか、同町中之郷、檜立、末吉の各地区でも調査を行った。

②では、1970年代以降当館が魚類調査のフィールドの一つとした奄美大島において身近な昆虫を明らかにするため、予備調査として春季の3月15日～18日の行程で実施した。あやまる岬 (奄美市笠利町)、マングローブ林 (同市住用町)、あかさき公園・おがみ山公園・小湊漁港 (同市名瀬)、湯湾岳 (大島郡大和村)、湯湾岳公園 (同郡宇検村)、旧陸軍弾薬庫跡 (同郡瀬戸内町) などで調査を行った。

担当：内船



写真 1. タコノキの実とハチジョウコクワガタ (コクワガタの八丈島産亜種)



写真 2. アカメガシワの若い果実を訪れるアカギカメムシ (三浦半島では偶産、八丈島でも近年定着か)



写真 3. ウルシゴキブリ (三浦半島では 2018 年に初記録)



写真 4. 卵を守るアマミサソリモドキのメス (三浦半島では人為的に偶産記録あり)



写真 5. イヌビワにとまるオキナワイチモンジハムシ (三浦半島では近縁種イチモンジハムシが生息)



写真 6. アシナガキアリ (外来種。国内侵入地では奄美大島が北限)



写真 7. リュウキュウヒメジャノメ (奄美大島が北限, より北の国内各地には近縁種ヒメジャノメが分布)



写真 8. キチャバネゴキブリ (三浦半島では人為的に偶産記録あり)

### (3) 他館視察出張

#### ア 視察出張①

#### 「岩手・宮城の被災地域を主とした新設・改装施設の視察」

博物館のリニューアルに向けた検討を具体的に進めるための現地視察・ヒアリングとして、宮城県を中心に 2 県にわたる視察を行った。視察の目的は二つで、一つは自然系を中心とした様々な規模・館種の博物館の視察をとおして様々な博物館資料の展示等活用の実例を増やすこと、もう一つは 2011 年の東日本大震災をうけて「津波」や「復興」という共通したテーマを様々な所管・館種の施設においてどのように展示等博物館活動で扱っているのか、である。

視察において撮影した館内画像やヒアリングを行った内容については、各視察先に配慮し詳細を省略する。

担当：内船

#### 1 東日本大震災津波伝承館 [11 月 9 日]

2019 年 9 月開館、愛称「いわて TSUNAMI (つなみ) メモリアル」。国土交通省によって整備された高田松原津波復興祈念公園における震災津波伝承施設。展示は東日本大震災以前の津波の歴史、東日本大震災津波における被害、同津波発生以降の人々の行動、支援への感謝と復興に向かう姿、の 4 つのエリアで構成。屋外の公園には、国営追悼・記念施設を中心に「奇跡の一本松」をはじめとする 5 つの震災遺構が保存されている。

#### 2 リアスアーク美術館 [11 月 10 日]

1994 年 10 月開館、気仙沼市と南三陸町で構成する広域行政事務組合が管理運営。同館の特色は、2000 年に開館当初の常設展示を地域の実情に沿ったものへ全面リニューアルした「方舟日記」と、東日本大震災発災直後から災害写真や被災物を収集し発災からわずか 2 年後の 2013 年 4 月に公開した常設展示「東日本大震災の記録と津波の災害史」の 2 つの展示である。これらの展示の制作にあたった館長の山内宏泰氏にお話をうか

がった。

#### 3 気仙沼シャークミュージアム [11 月 10 日]

1997 年 4 月、気仙沼魚市場に隣接した観光物産施設「気仙沼 海の市」内に「氷の水族館」とともに開館。東日本大震災で被災・休館を経て、「気仙沼 海の市」の再建に合わせ「氷の水族館」とともに 2014 年 4 月に再開館。展示は、震災前の資料をクリーニングし北大名誉教授・仲谷一宏博士監修のもと再構成した“シャークミュージアム”と、震災を記憶し未来へ語り継ぐ“震災復興ミュージアム”の 2 部構成になっている。

#### 4 気仙沼市復興祈念公園 [11 月 10 日]

2021 年 3 月、東日本大震災 10 年にあたる日に開園。震災時の避難場所でもあった、気仙沼の港湾を一望する高台。追悼や伝承の彫刻・銘板が設置されているほか、震災前から当地にあった化石や史跡を見るための散策路も整備されている。

#### 5 気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 [11 月 11 日]

2019 年 3 月開館。設置は気仙沼市で運営は指定管理。

東日本大震災で被災したものの適切な判断・避難で人的被害が出なかった、旧宮城県気仙沼向洋高等学校の一部校舎をほぼ震災当時のまま保存・公開している。

#### 6 南三陸町震災復興祈念公園 [11 月 11 日]

2020 年 10 月開園。震災前は市街地であった同町志津川地区の一区画であったが、復興土地地区画整理事業で公園として整備。被災した防災対策庁舎を遺構として保存し、八幡川の対岸にある南三陸さんさん商店街（震災翌年に仮設営業開始、2017 年に本設移行）とのアクセスのためモニュメントを兼ねた人道橋である中橋を再建した。

#### 7 南三陸・海のビジターセンター [11 月 11 日]

環境省が国立公園内に設置・直轄するビジターセンターとして、2013 年に改称・拡大した三陸復興国立公園内に 2016 年に設置された。2018 年に隣接する石巻市に川のビジターセンターが設置され、これら 2 施設を NPO 法人海の自然史研究所が管理・運営。ラムサール条約湿地・志津川湾での自然体験に関わる展示制作のほか、若手漁師が参画するフィールドミュージアム運営協議会とともに自然体験活動を行う。センター長の平井和也氏にお話をうかがった。

#### 8 みやぎ東日本大震災津波伝承館 [11 月 12 日]

国土交通省によって整備された石巻南浜津波復興祈念公園における国営追悼・祈念施設、展示は宮城県。公園は 2021 年 3 月末に開園したが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で同年 6 月 6 日に開館。団体見学を想定した映像・パネル配置や動線、解説員の配置が特徴的。前出のリアスアーク美術館・山内館長には展示監修者の立場から建物と展示の関係についてお話をうかがった。

#### 9 伝承交流施設 MEET 門脇 [11 月 12 日]

2021 年 3 月 8 日開館。前出の石巻南浜津波復興祈念公園と震災遺構の一つ旧門脇小（2022 年 3 月開館。視察当時は整備中）との間に所在。公益社団法人 3.11 みらいサポート（旧 みらいサポート石巻）による伝承と交流の場として、設立資金集めにはクラウドファンディングも実施。交流拠点や伝承者の活動拠点としての機能が特徴的。

#### 10 石巻市博物館 [11 月 12 日]

2021 年 11 月 3 日開館。前身で 1986 年開館の石巻文化センターが被災し、その後文化財レスキューを受け

た資料を引き継ぐ。2021 年 4 月開館の市複合文化施設 マルホンまきあーとテラス内に所在。「大河と海」をテーマに歴史・民俗・考古・美術を展示。

#### 11 スリーエム仙台市科学館 [11 月 12 日]

1952 年に開設された「サイエンスルーム」を前身とし 1968 年に開館。前身時代より東北大学が運営委員会に加わる。1990 年に現在の場所へ移転、2001 年にリニューアル。ネーミングライツは 2013 年導入。展示フロアは自然史系展示室、理工系展示室、生活系展示室があり、後 2 者が一般的な科学館の体験展示であった一方、前者の自然史系展示室には県内外の大型ゾウ化石復元展示や県内の地質、環境別動植物展示のほか、様々な動植物の標本・写真が内部各所に散りばめられた大型展示「ジャングルジムの森」が特徴的であった。

#### 12 地底の森ミュージアム [11 月 13 日]

1996 年 11 月開館の公立施設。1988 年の発掘調査で 2 万年前の森林の跡および旧石器人のキャンプ跡が発見されたことを受け、現地に遺跡保存館として開館。地下フロアに広がる埋没林展示が特徴的で、地上階には遺跡を中心とした考古展示があり、さらに敷地内の屋外には 2 万年前の氷期の植生を再現した植栽がされている。

#### 13 カメイ美術館 [11 月 13 日]

1994 年 9 月開館の公益財団法人立の施設。絵画・蝶・こけしが展示されており、後二者はそれぞれ 3・4 代目社長によるコレクション。3 代目社長亀井文蔵氏による蝶コレクションは多くが本人採集で国内外産 14,000 点、ドイツ箱約 200 台にて展示されている。

#### 14 東北大学理学部自然史標本館 [11 月 13 日]

1995 年 10 月開館。東北大学総合学術博物館の常設展示スペース。展示は 2 階分あり、1 階は地球科学と化石が占め、2 階は理学部などに在籍した教員のコレクションやオープンキャンパスで使用するための学科別移動展示が展示されていた。

#### 15 仙台城跡 [11 月 13 日]

仙台市博物館（大規模改・リニューアル休館中）とともに青葉山公園内にあり、2019 年から青葉城資料展示館では「仙台城 VR ゴー」事業を行っているが、本事業に付随した「仙台 VR 体験ツアー」を現地にて体験した。



東日本大震災津波伝承館



リアスアーク美術館



気仙沼シャークミュージアム



気仙沼市復興祈念公園



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館



南三陸町震災復興祈念公園



南三陸・海のビジターセンター



みやぎ東日本大震災津波伝承館



伝承交流施設 MEET 門脇



石巻市博物館



スリーエム仙台市科学館



地底の森ミュージアム



カメイ美術館



東北大学理学部自然史標本館



仙台城跡から見た市街地方面（左）と  
VR による昔の風景（右）

## イ 視察出張②

## 「和歌山県他館視察出張の報告」

1. 出張目的 博物館が多数設置されており、紀州徳川家や雑賀衆に関連した史跡など横須賀市に縁の深い、和歌山県和歌山市周辺の博物館や史跡において展示手法や運営状況などの情報を収集することを目的とした。
2. 出張先 和歌山県立博物館、和歌山県立自然博物館、和歌山市立博物館、わかやま歴史館、雑賀崎番所台場、養翠園（江戸時代の日本庭園）など。
3. 出張期日・用務経過  
11月23日（火・祝）：横須賀市～和歌山市移動、和歌山県立博物館視察  
11月24日（水）：雑賀崎、養翠園、わかやま歴史館、和歌山県立自然博物館視察  
11月25日（木）：和歌山市立博物館視察、和歌山市～横須賀市移動

担当：萩原・瀬川・藤井



エントランスホール（和歌山県立博物館）



養翠園の長屋門



わかやま歴史館外観



クジラの全身骨格（和歌山県立自然博物館）



天王塚古墳関連展示（和歌山市立博物館）



「昔のくらし」の展示（和歌山市立博物館）

## ウ 視察出張③

## 「中部地方における新設・リニューアル館の視察」

当館のリニューアルを検討する際の事例を集めるため、神奈川県外に所在する博物館で、新設・リニューアルした博物館の現状等を、自然・人文の学芸員が合同で視察を行った。今回は、三重県、滋賀県、岐阜県の県立館を視察した。

担当：山本・瀬川・藤井

## 1. 三重県総合博物館 [12 月 16 日]

基本展示室（常設展示室）の床面積が 800㎡と予め議会で決定されていた。その条件のもと、コンペ形式による展示業者を決定した。その次の段階として、展示業者と学芸員との打ち合わせや展示内容の検討をした。具体的な展示内容は、展示業者と学芸員との検討会や同分野の学芸員同士での検討会を経て、作り上げていった。その結果、三重県の自然と歴史を「東西」と「南北」の視点から展示することを意識した展示となった。

こども体験展示室は、基本展示より先に検討に入った。これは、基本展示の前に検討しなければ、十分な検討の時間やモチベーションを確保できない懸念があったからである。電子機器を利用した展示はわかりやすく好評を得やすいが、故障することもあるため、継続的な修繕費用を用意しなければならない。

レクチャールームの定員は 80 名で、それ以上の人数で講演会等を実施する場合は隣接する三重県総合文化センターを会場としなければならない。

## 2. 滋賀県立琵琶湖博物館 [12 月 17 日]

前年度の視察時にリニューアル工事中であった A 展示室と B 展示室を視察した。リニューアル前に展示していたものの一部は、配置換え等を施し引き続き展示しているとのことだった。すべての展示を変えなくても、配置やパネル、学名の更新や新たな研究成果の追加をするだ

けでも効果が得られる。展示台の高さなどは、小学校 3・4 年生にも見やすいようにしている。展示室各所にフォトスポットを設け、AR 技術も導入している。A 展示室でも B 展示室でも学芸員の研究成果を発表するだけでなく、地層の剥ぎ取り標本などを美術館の絵画のように展示するなどの個性的な工夫も施している。

## 3. 岐阜関ヶ原古戦場記念館 [12 月 17 日]

岐阜関ヶ原古戦場記念館は、岐阜県 商工労働部 観光国際局 観光資源活用課が運営する施設である。

岐阜県と関ヶ原町は、東海環状自動車道の全線開通、関ヶ原合戦 420 周年などの節目を迎える 2020 年に向け、関ヶ原古戦場を整備し、多くの歴史ファンや観光客を呼び込み地域の活性化につなげるため、歴史、観光、文化財保存の専門家や歴史ファンなどで構成する関ヶ原古戦場グランドデザイン策定懇談会での議論を経て、「関ヶ原古戦場グランドデザイン」を策定した。

館内の展示は、有名俳優が出演する 10 分強の映像を観た後に、体験型展示室、そして最上階の展望スペースという構成になっていた。体験型展示には、刀や槍、火縄銃などの重さを体感できるものや、合戦の場にいるような合成写真が撮影できる装置などがあった。展望室では、各陣地の場所などがわかる地図が足元に示されており、見学後の散策につなげる工夫がなされていた。



こども体験展示室（三重県総合博物館）



レクチャールーム（三重県総合博物館）



展示室内の電子機器（三重県総合博物館）



フोटスポット（琵琶湖博物館）



絵画風に展示した地層の剥ぎ取り（琵琶湖博物館）



小学生にも見やすい展示台（琵琶湖博物館）



火縄銃の複製品（岐阜関ヶ原古戦場記念館）



展望室（岐阜関ヶ原古戦場記念館）

## エ 視察出張④

## 「東海地方の新設等施設の視察」

博物館のリニューアルに向けた検討を具体的に進めるための現地視察・ヒアリングとして、愛知・静岡両県にわたり視察を行った。視察の目的は二つで、一つは自然系を中心に様々な所管・館種における展示の実例を増やすこと、もう一つはユニバーサルデザインや子ども向け体験展示など多様な来館者に向けた展示手法を探ること、である。

ふじのくに地球環境史ミュージアムについては、山本と2名で視察を行った。視察において撮影した館内画像やヒアリングを行った内容については、各視察先に配慮し詳細を省略する。

担当：内船

## 1 南山大学人類学博物館〔4年3月7日〕

前身は1949年に同大人類学民俗学研究所の附属陳列室として設置、1979年に同研究所から分離独立して現在の名称に。学内での場所をたびたび変えてきたが、2013年の移転にともなうリニューアルで現在に至る。このリニューアルのテーマが「ユニバーサル・ミュージアムを目指す博物館」であり、展示什器、設置高、展示資料の多くがさわられる資料、などハード面での整備が特徴的。一方で、「さわる」体験を博物館の学びへつなげていくことについても先進的な探究を行っている。展示の特徴やバックヤードでの収蔵の工夫などについて秦優莉香学芸員にお話をうかがった。

## 2 中部大学蝶類研究資料館〔4年3月7日〕

藤岡知夫氏（1935～2022）収集の20万点を超える日本の蝶コレクションが、同大学へ譲渡されたことを受け2016年に開館。現在までのところ常設展示としての展示形態をもってはいないが、同氏が1975年に著した『日本産蝶類大図鑑』掲載の7,104個体を含むコレクションは今なお学術的価値が高く、高精細デジタル標本写真による画像ライブラリーの構築と採集情報に基づくGISデータの完備を目指した資料研究が行われている。同館副館長でもある大場裕一教授にお話をうかがった。

## 3 浜松科学館みらいーら〔4年3月8日〕

1986年開館、2019年に同館初となる大型リニューアル。常設展示はアクティブラーニングをテーマとしており、ヤマハ、カワイ、スズキ、ホンダなど地元の楽器や自動車メーカーと連携した展示も特徴。自然系の展示では生物を様々な視点で観察するための装置やラボスペースを完備。展示の概説や教育普及活動について同館サイエンスチームの小粥隆弘博士にお話をうかがった。

## 4 浜松市博物館〔4年3月8日〕

1958年に市立郷土博物館として開館、1979年には国指定史跡の蜷塚遺跡に隣接した場所へ移転、現在の名称となる。2011年にリニューアルを行ったが、施設の

老朽化対策や展示内容の見直しに向け、隣接する遺跡と一体的なリニューアルプランを検討中。また、2005年の広域合併によって市内14館にも及んだ歴史系博物館群も前述のリニューアルに際して6館まで再編し、太平洋岸から標高2,000m級の南アルプスの一部にわたる広大な地域をカバーしている。現在の施設・展示の特徴、さらには広域的な連携について、久野正博学芸員にお話をうかがった。

## 5 ふじのくに地球環境史ミュージアム〔4年3月9日〕

2016年開館。開館前からNPO法人静岡県自然史博物館ネットワークによる収集保管業務を行ったり、2013年に閉校した高校の校舎を活用したりと、開館に至るプロセスで特色のあった博物館。高校時代の教室の間取りや備品を活かして10個の常設展示室それぞれに象徴的な展示と「問い」が設けられた「考える展示」や、常設展示に比して多くの空き教室や体育館を収蔵・資料管理スペースにしている点など、近年の博物館の課題に向き合ったコンセプトを打ち出している。研究員の早川宗志准教授にお話をうかがった（山本も同行）。



南山大学人類学博物館



中部大学蝶類研究資料館



浜松科学館みらいーら



浜松市博物館



ふじのくに地球環境史ミュージアム

## オ 日本博物館協会全国博物館大会出張

### 「日博協 全国博物館大会（札幌）への参加及び市内施設の視察」

博物館のリニューアルに向けた検討を具体的に進めるための現地視察・ヒアリングとして、日本博物館協会主催の全国博物館大会への参加を機に、同大会参加館のうち会場の札幌市内 4 館の視察を行った。視察の目的は二つで、一つは全国博物館大会の参加を通じて博物館の最新のトピックを収集すること、もう一つは自然系を中心に県立・市立・大学立といった違いや、総合博物館、自然史博物館、科学館といった違いによる、様々な展示の実例を増やすこと、である。

全国博物館大会については、瀬川と 2 名で参加した。視察において撮影した館内画像やヒアリングを行った内容については、各視察先に配慮し詳細を省略する。

担当：内船

#### 1 全国博物館大会〔11 月 17・18 日〕

第 69 回となる全国博物館大会は北海道立道民活動センターを会場に二日間のプログラムで開催された。

基調講演は北海道大学総合博物館の小林教授による「古生物学者の語る博物館の未来」と題した講演で、同博物館および同教授がかつて在籍していた福井県立恐竜博物館での活動を通して、現在の同大総合博物館における研究を核とした【戦略的プロモーション】の重要性とその実践例について話を聞いた。ブランディング化に向けたプロモーションの成果の一つとして、同大総合博物

館は 2019 年には年間 24 万人の来場者を達成し、地域の観光にも貢献している。

全国博物館フォーラムは博物館法制定 70 年目の節目であるとともに、博物館法改正にともなう制度の在り方の議論が進んでいることを受けた「今後の博物館制度の在り方」がテーマとなり、同法のあゆみや近年の博物館業界を取り巻く変化、文化審議会博物館部会での議論や新制度の目指す博物館の姿などが 3 人の講師から語られた。

分科会は「1 博物館と文化の多様性」、「2 博物館に

おける自然史」,「3 博物館のサステナビリティ」の3つに分かれ行われた。報告者は2に出席し、自然史にまつわる標本や人材の問題、地域史における自然史の存在、自然史の捉え直し、などについての事例報告を聞いた。会場からは、いまだ「科学は文化ではない」という認識がある中で自然史から人の営みへもっとアプローチすることの必要性など、活発な意見が交わされた。その後の全体総括の場であるシンポジウムでは、他の分科会での総括を聞くとともに様々な意見が交わされ、「学芸員の展示が全てではなく、来館者の意見も尊重し議論する場としての博物館の在り方」という【多様性と多視点性】に基づいた意見などが出た。

## 2 北海道大学総合博物館 [11月17・18日]

1999年に大学内の古い校舎を利用して開館。2015年の休館を経てリニューアル。17日は同館スタッフの首藤光太郎助教に展示物やリニューアルの特徴についてお話をうかがった(瀬川も同行)。報告者はリニューアル前の2013年に同館を見学しており、18日にも改めて同館を見学し、リニューアル前後の変化に注目するとともに、前日の博物館大会での同館小林教授の講演を踏まえて化石展示のコーナーを見学した。

## 3 札幌市博物館活動センター [11月19日]

市立の自然系博物館の整備を推進する活動拠点として

2001年に開設、2016年に現在の場所へ移転。博物館整備に向け資料やネットワークを充実させるため、調査研究・整理保管・展示教育を行う。活動センターという性格上、現在の常設展示の特徴の一つに市内の学校等への出張展示にも対応した可搬式の構造をもたせている点など、視察に際して山崎真美学芸員にお話をうかがった。

## 4 北海道博物館 [11月19日]

前身は1971年開館の北海道開拓記念館で1992年にリニューアルを実施。道立アイヌ民族文化研究センターの統合にともなう新体制・名称のもと2015年に施設改修を含めリニューアル。2階分の常設展示スペースは5つのテーマに分かれ、うち4つは時系列に沿った展示であり、5つめのテーマで動植物が織りなす生態と人とのかかわりが展示される。渋谷美月学芸員にお話をうかがった。

## 5 札幌市青少年科学館 [11月19日]

1981年開館。2000年以降、約10年かけてコーナー単位で8件のリニューアルを実施。2022年夏から約1年半の休館により、施設改修を含む大型リニューアルを予定。訪問時には「はやぶさ2」の巡回展を実施。展示の特徴や施設改修のポイントなど管理課の木野 翠係長にお話をうかがった。



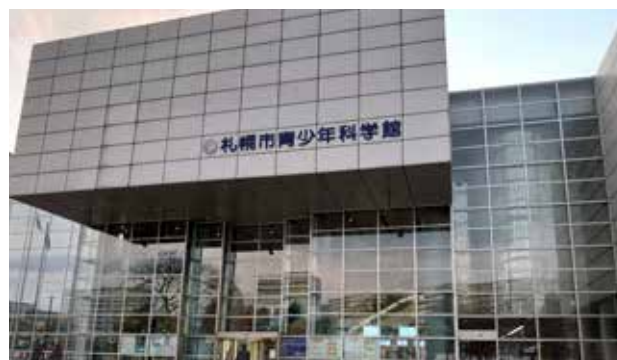
北海道大学総合博物館



札幌市博物館活動センター



北海道博物館



札幌市青少年科学館

## 5 ニュース

### (1) 平和中央公園のリニューアル

横須賀市中央公園は 2021 年 4 月 1 日から同市平和中央公園としてリニューアル開園した。当博物館の自然館の建物は、中央公園の開園と同年の 1970 年秋に竣工しており、約半世紀にわたり隣接している。前年 7 月 13 日から約半年間にわたる同公園リニューアルの様子は、2021 年度企画展示「中央公園ものがたり」においてパネル展示をした。写真 4 点はいずれも自然館入口付近から同公園リニューアルの様子を撮影したものである。

なお、平和中央公園リニューアルに際した事業として、当博物館では企画展示 1 件、トピックス展示 1 件、博物館教室 2 件を企画・実施した（7-(1)-ア、7-(1)-ウ、7-(2)-アを参照）。（内船）



リニューアル開始直後（2020 年 7 月 14 日）



リニューアル途中（2020 年 8 月 20 日）



リニューアル途中（2021 年 1 月 7 日）



リニューアル完了後（2021 年 4 月 8 日）

### (2) デジタルサイネージ贈呈式と玄関ホールへの設置

一般財団法人シティサポートよこすかから当館へデジタルサイネージ（50V 型）が寄贈されたことを受け、2022 年 3 月 30 日に贈呈式を行った。

贈呈式に先立ち、デジタルサイネージを自然館玄関ホールの壁面に設置するための補強及び取付工事を実施し、取付壁面周辺にはマグネット式掲示版等を整備した。自然館玄関ホールは 2001 年 3 月以来の改修工事（館報 48 号 31 ページ）であり、デジタルサイネージ設置ほかによってエントランス効果をより一層高めることとなった。

贈呈式では、シティサポートよこすかの竹内代表理事と当館佐々木館長が出席し、竹内代表理事から目録の贈呈を受け、佐々木館長から感謝状を贈呈した。

デジタルサイネージでは、現在開催中の特別展示等の展示情報やイベント情報、休館日カレンダーなどをスライドショー形式で切り替えて来館者に情報提供を行っている。（内船）



デジタルサイネージ贈呈式



玄関ホールの壁面補強工事

### (3) 柴田健一郎学芸員に学位授与

柴田学芸員は、4 年 3 月 25 日付で千葉大学から博士（理学）の学位（千大院理工博乙第理 5 号）を授与された。学位論文題目は「Development of hydrological equations from modern rivers on convergent margins and applications to fluvial successions in rock records」である。

柴田学芸員は、地層の堆積相解析に基づく古河川環境の復元、特に定量的な古河川水文学的特性値の復元について研究を進めてきた。これまでの研究をまとめた学位論文の内容は次のとおりである。

変動帯である日本の現世河川の深さ、流路幅、流量、流域面積、流域の長さのデータから経験式を構築し、それらを大陸や他の気候帯の河川の経験式と比較して類似点と相違点を明らかにした。構築した経験式を 3 つの地質記録に応用して古河川の特徴を復元し、海進、堆積盆地の沈降速度の変化、気候変動に対応した古河川流路の横断面特性値の変化について論じた。さらに、過去の流域の復元から、地層を構成する碎屑物の後背地を詳しく復元できることを示した。学位論文に関連する既公表論文は以下の 3 編である。

Shibata K., Ito M., Nemoto N. and O'Hara S. 2010. Temporal variation in channel patterns and facies architecture in a gravelly fluvial system: The Paleogene Iwaki Formation on the Joban Coalfield, a forearc basin in Northeast Japan. *Island Arc*, **19**: 489–505.

Shibata K. and Ito M. 2014. Relationships of bankfull channel width and discharge parameters for modern fluvial systems in the Japanese Islands. *Geomorphology*, **214**: 97–113.

Shibata K., Adhiperdana B. G. and Ito M. 2018. Quantitative reconstruction of cross-sectional dimensions and hydrological parameters of gravelly fluvial channels developed in a forearc basin setting under a temperate climatic condition, central Japan. *Sedimentary Geology*, **363**: 69–82.

## 6 アンケート

本館と付属施設の来館者の満足度を調査し、展示や運営の参考とするためアンケート調査を実施した。

担当：柴田

### 調査時期

6 月 1 日～4 年 3 月 31 日

### 調査方法

次の場所にアンケート用紙と回収箱を設置した。

本館：2 階展示室、1 階ホール

馬堀自然教育園：学習棟入口

天神島臨海自然教育園：ビジターセンター 1 階

ヴェルニー記念館：事務室前

### 回答数

本館 210 件

馬堀自然教育園 52 件

天神島臨海自然教育園 113 件

ヴェルニー記念館 140 件

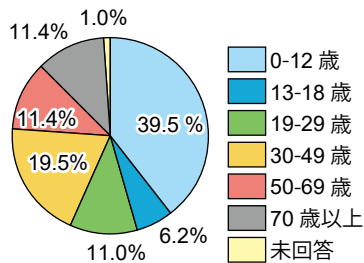
### 集計結果

自由記述を除く集計結果を 49 ～ 52 ページに示す。

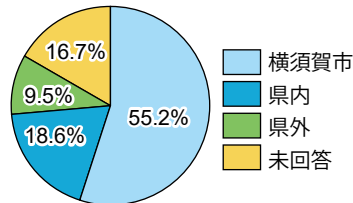
## [本館のアンケート集計結果 回答数 210 件]

1. お客様について教えてください。

1-1. 年齢

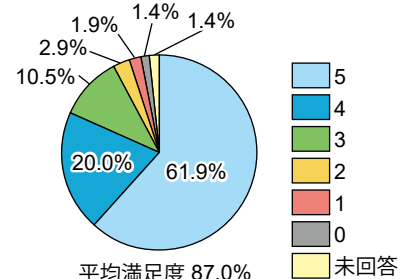


1-2. お住まい

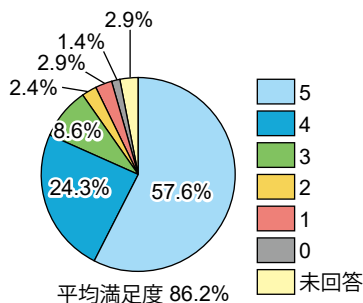


2. 満足度について 5 点満点でお答えください。

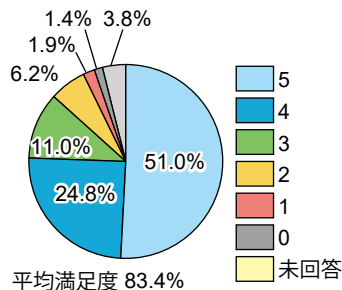
2-1. 全体の満足度



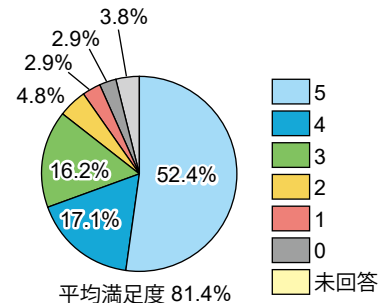
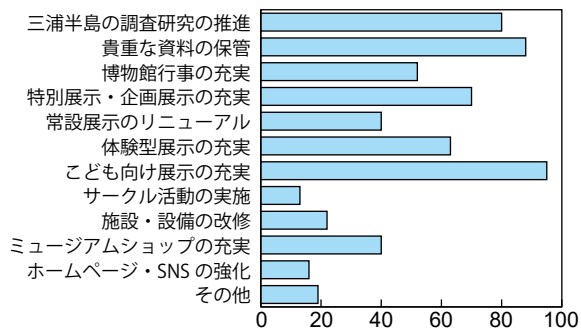
2-2. 展示物の満足度



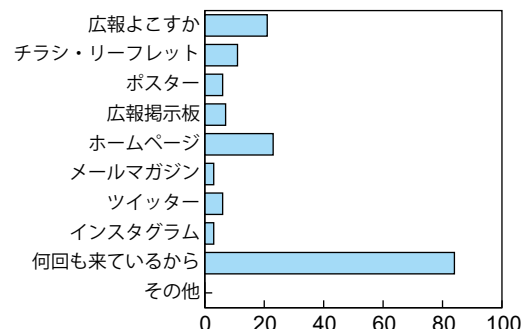
2-3. 展示パネルや展示構成の満足度



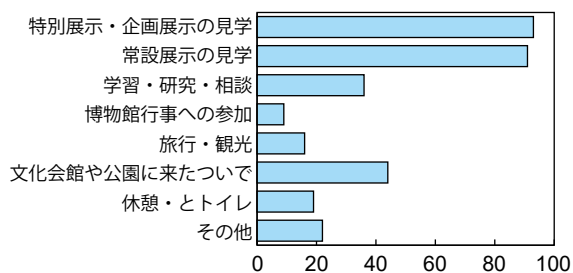
2-4. 施設・設備の満足度

3. この博物館に期待することを教えてください。  
(いくつでも)

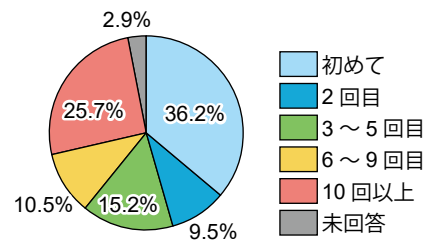
4. 何を見て博物館に来ましたか。(いくつでも)



5. どのような目的で来館されましたか。(いくつでも)



6. この博物館に来たのは何回目ですか。

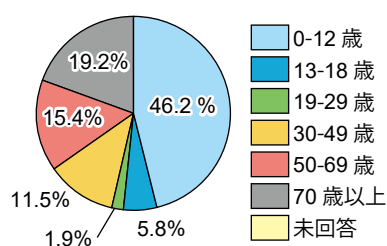


※平均満足度は、「5」を 100%、「4」を 80%、「3」を 60%、「2」を 40%、「1」を 20%、「0」を 0% として平均したもの。  
馬堀自然教育園、天神島臨海自然教育園、ヴェルニー記念館の平均満足度の計算も同様。

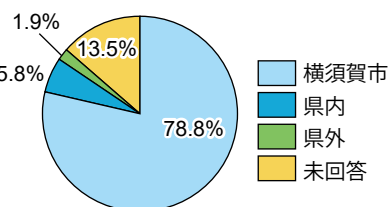
## [馬堀自然教育園のアンケート集計結果 回答数 52 件]

## 1. お客様について教えてください。

1-1. 年齢

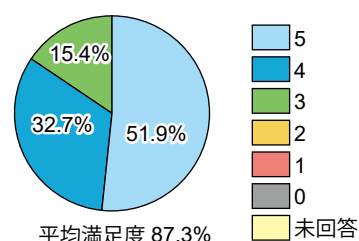


1-2. お住まい

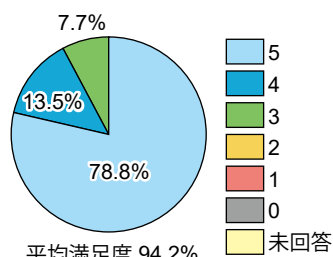
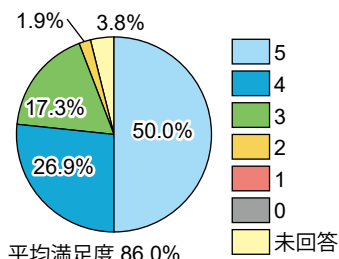
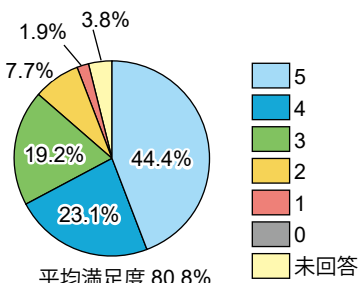
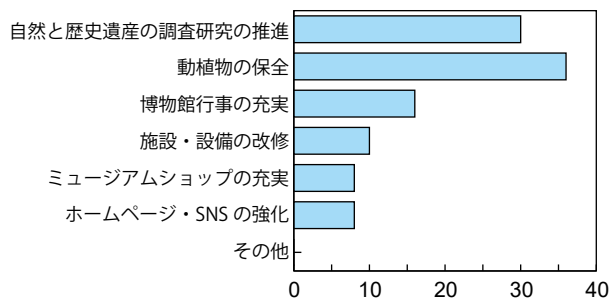


## 2. 満足度について 5 点満点でお答えください。

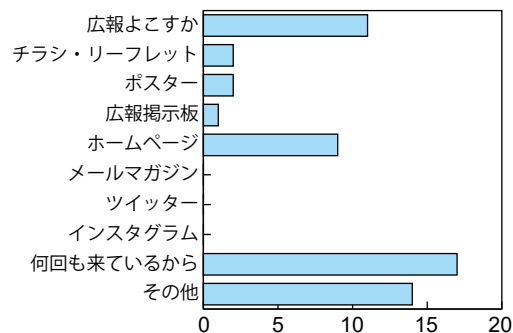
2-1. 全体の満足度



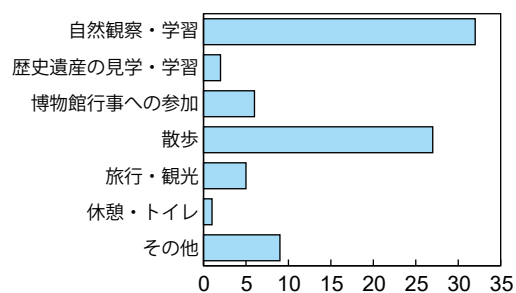
2-2. 教育園の自然の満足度

2-3. 学習棟の展示パネルや  
展示構成の満足度2-4. 学習棟の施設・設備  
の満足度3. 馬堀自然教育園に期待することを教えてください。  
(いくつでも)

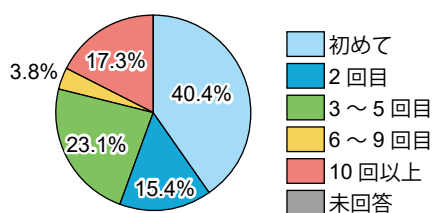
## 4. 何を見て馬堀自然教育園に来ましたか。(いくつでも)



## 5. どのような目的で来園されましたか。(いくつでも)



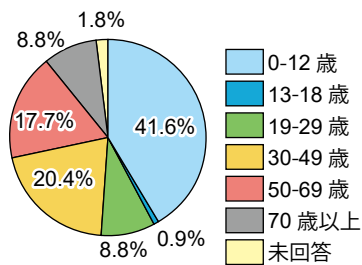
## 6. 馬堀自然教育園に来たのは何回目ですか。



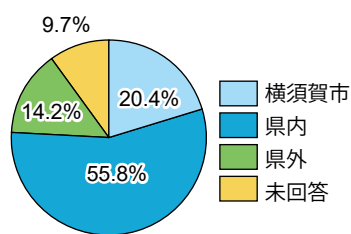
## [天神島臨海自然教育園のアンケート集計結果 回答数 113 件]

## 1. お客様について教えてください。

## 1-1. 年齢

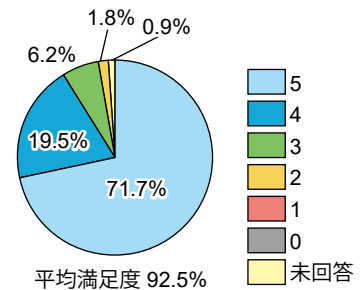


## 1-2. お住まい

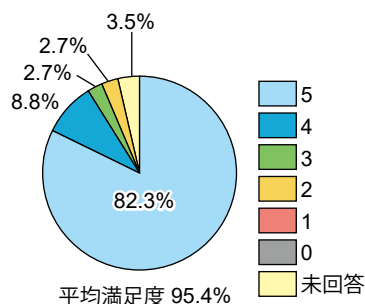
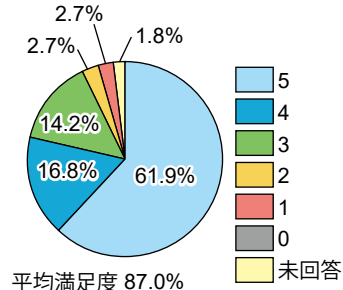
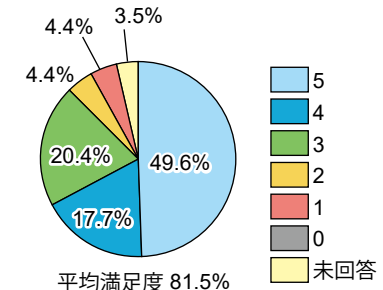
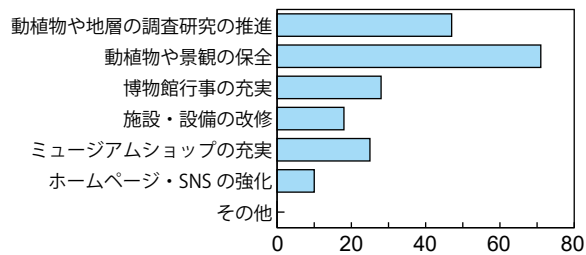


## 2. 満足度について 5 点満点でお答えください。

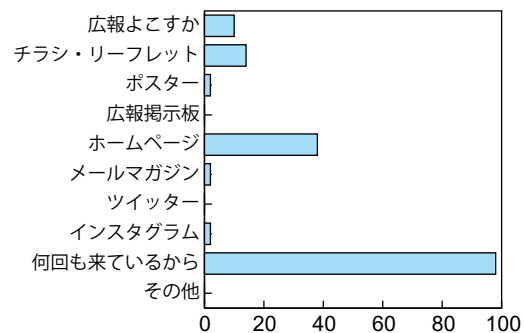
## 2-1. 全体の満足度



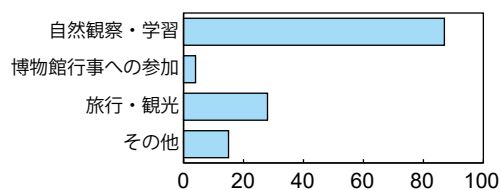
## 2-2. 教育園の自然の満足度

2-3. ビジターセンターの  
展示構成の満足度2-4. ビジターセンターの施設・  
設備の満足度3. 天神島臨海自然教育園に期待することを  
教えてください。 (いくつでも)

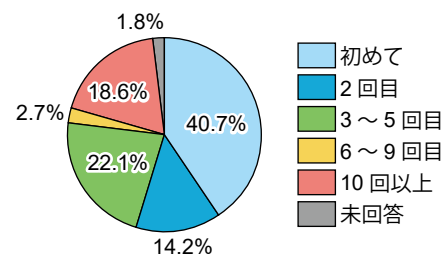
## 4. 何を見て博物館に来ましたか。 (いくつでも)



## 5. どのような目的で来館されましたか。 (いくつでも)



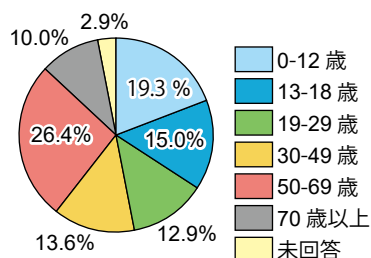
## 6. 天神島臨海自然教育園に来たのは何回目ですか。



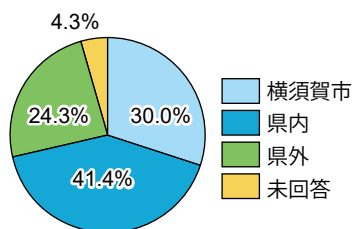
## [ヴェルニー記念館のアンケート集計結果 回答数 140 件]

## 1. お客様について教えてください。

1-1. 年齢

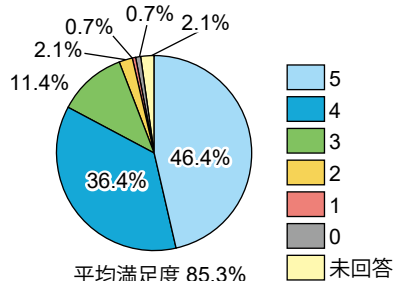


1-2. お住まい

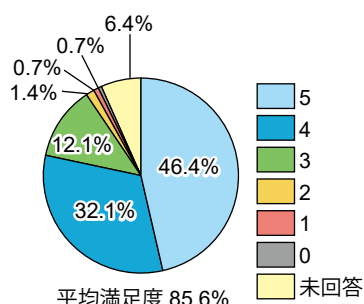


## 2. 満足度について 5 点満点でお答えください。

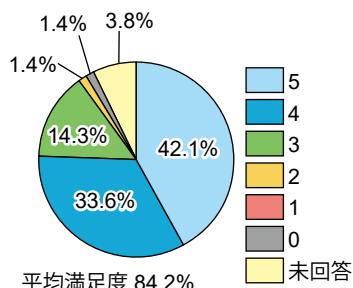
2-1. 全体の満足度



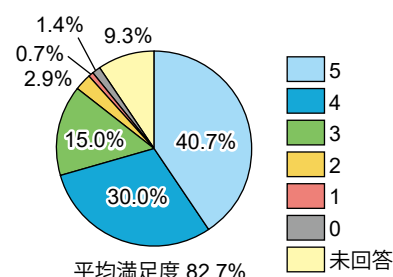
2-2. 展示物の満足度



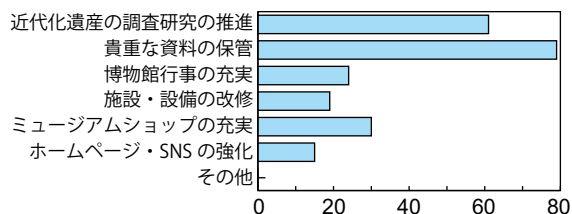
2-3. 展示パネルや展示構成の満足度



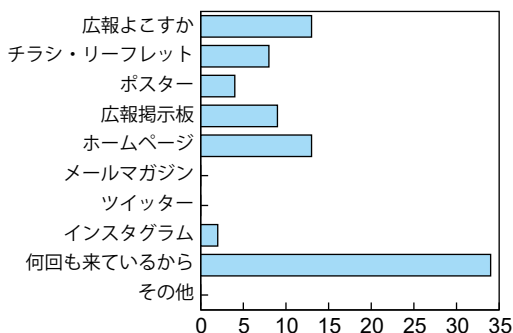
2-4. 施設・設備の満足度



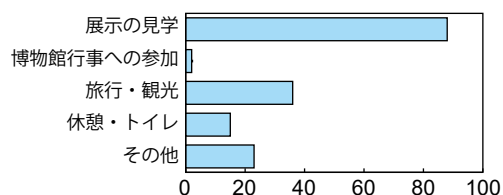
## 3. ヴェルニー記念館に期待することを教えてください。(いくつでも)



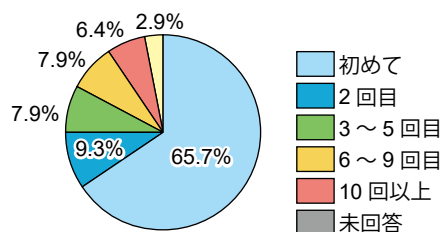
## 4. 何を見てヴェルニー記念館に来ましたか。(いくつでも)



## 5. どのような目的で来館されましたか。(いくつでも)



## 6. ヴェルニー記念館に来たのは何回目ですか。

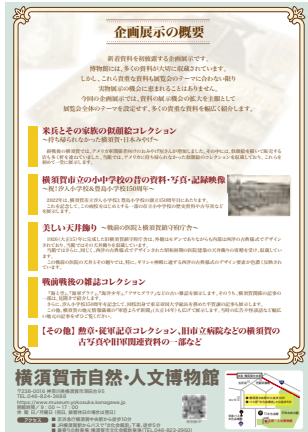


《チラシ》



特別展示  
「足跡化石から探る太古の世界  
—恐竜からナウマンゾウまで—」

企画展示①  
「第 32 回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念  
中央公園ものがたり —砲台山から中央公園、  
そして平和中央公園へ—」



企画展示②  
「新着資料展 2022—近年収蔵の近現代史料から—」



みんなの理科フェスティバル

## 博物館事業概要

令和 3 年度（2021 年 4 月～2022 年 3 月）

臨時休館園日は本誌 82 ページ

### 7 展示教育普及事業

#### (1) 主催事業①（展示）

##### ア 特別展示・企画展示（本館特別展示室）

| タイトル                             | 展示種別 | 担当          | 開催期間                                              | 見学者数     | 備考                                                                                 |
|----------------------------------|------|-------------|---------------------------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 足跡化石から探る太古の世界—恐竜からナウマンゾウまで—      | 特別展示 | 柴田          | 7 月 24 日～8 月 22 日, 9 月 24 日～4 年 1 月 10 日 [115 日間] | 23,025 人 | 恐竜をはじめとする足跡化石を 128 点展示した。新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館のため 8 月 24 日～9 月 23 日は休止。3-10 ページ参照。 |
| 中央公園ものがたり —砲台山から中央公園、そして平和中央公園へ— | 企画展示 | 内船・山本・萩原・柴田 | 4 月 24 日～6 月 27 日 [56 日間]                         | 11,920 人 | 第 32 回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念。中央公園の写真パネルや、リニューアル中の調査で発見・採集された資料等を展示した。11-23 ページ参照。      |
| 新着資料展 2022—近年収蔵の近現代史料から—         | 企画展示 | 菊地・瀬川・藤井    | 4 年 3 月 5 日～令和 4 年度へ継続 [23 日間]                    | 5,515 人  | アメリカ兵と家族の似顔絵、横須賀を記録した「写真」や刊行物などを展示した。23-29 ページ参照。                                  |

計 3 件：延開催日数 194 日，延見学者数 40,460 人

#### イ 常設展示

##### (ア) 展示新設

###### ○くずし字体験コーナー

ワークシートとワークスペースを設置した。人文館 2 階。4 年 3 月 27 日設置。（担当：藤井）

##### (イ) 展示更新

###### ○生体展示コーナー

昆虫類の動的な展示として 10 種約 30 個体を入れ替えながら展示した。自然館 2 階。年間。（担当：内船）

###### ○馬堀自然教育園案内サイン

案内サインを更新した。馬堀自然教育園。10 月 14 日更新。（担当：山本）

###### ○生命の歴史

特別展示「足跡化石から探る太古の世界」で制作した展示台 5 台と古生物復元画 2 件を移設し、解説パネルと資料ラベルを一新した。また展示資料の一部入れ替えを行った。自然館 1 階。4 年 1 月 13 日更新。（担当：柴田）

###### ○ナウマンゾウ

特別展示「足跡化石から探る太古の世界」で制作したナウマンゾウ足跡化石レプリカ付きのパネル 1 枚，ナウマンゾウの足跡産地床面シート 1 枚を移設した。4 年 1 月 13 日移設。また，パネル 2 枚を更新した。4 年 3 月 28 日更新。自然館 2 階。（担当：柴田）

###### ○ヴェルニー記念館展示室

展示品の追加調整を行った。ヴェルニー記念館。4 年 1 月 19 日更新。（担当：菊地）

###### ○三浦一族と三浦半島

展示史料を全面更新した。横須賀市教育委員会生涯学習課の中三川昇氏と横須賀市中央図書館郷土資料室の谷合伸介氏の展示協力を得た。人文館 1 階。4 年 2 月更新。（担当：藤井）

###### ○近世コーナー移設

「ペリー来航から始まった近代外交」・「近代初的外交使節と造船所計画」と「横須賀製鉄所の建設とナウマンゾウの発見」・「横須賀製鉄所にはじまる日本の近代化」の展示場所を入れ替えた。人文館 2 階。4 年 2 月 19 日～21 日に移設。（担当：藤井・菊地）

###### ○横須賀製鉄所関係コーナー両脇の展示ケース内展示

展示品を総入れ替えした。人文館 2 階。4 年 2 月 21 日更新。（担当：菊地）

###### ○深海から生まれた三浦半島

パネル類を更新した。自然館 2 階。4 年 3 月 28 日更新。（担当：柴田）

###### ○三浦半島の活断層

パネル 2 枚を更新した。自然館 2 階。4 年 3 月 28 日更新。（担当：柴田）

###### ○三浦半島をとりまく地形

ボタン周辺の亚克力パネル 6 枚を更新した。感染症対策によるアルコールのための亚克力の劣化による。自然館 2 階。4 年 3 月 28 日更新。（担当：柴田）

###### ○植物

パネル 18 枚を更新した。自然館 1 階。4 年 3 月 28 日更新。（担当：山本）



生命の歴史 (4 年 1 月 13 日更新)



植物 (4 年 3 月 28 日更新)

## ウ トピックス展示

(ア) 自然館 (本館 1 階トピックス展示コーナー)

| タイトル        | 担当              | 開催期間                              | 見学者数     | 備考                                                                                                                                                         |
|-------------|-----------------|-----------------------------------|----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 新着標本 2021   | 萩原・柴田・<br>内船・山本 | 前年度から継続～<br>7 月 4 日 [79 日間]       | 16,984 人 | ノウサギやアオウミガメのはく製、昆虫や植物の樹脂封入標本、アンモナイト化石などを展示した。                                                                                                              |
| カブトムシを調べよう  | 内船              | 7 月 10 日～8 月<br>22 日 [38 日間]      | 8,684 人  | 「三浦半島カブトムシ移動調査」実施期間に合わせ、調査の概要や過去の成果の一部を紹介し、研究活動への理解を深めた。標本 84 種 103 点。9 月 19 日までの開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館のため 8 月 22 日で終了した。                          |
| キソコン！成果展    | 内船              | 9 月 25 日～11<br>月 28 日 [56 日間]     | 10,718 人 | 当年度に開催した「基礎から学ぼう昆虫学」の参加者や講師が制作した標本・レポート・写真等を展示した。                                                                                                          |
| トラ・虎・寅年     | 萩原・柴田・<br>内船・山本 | 12 月 4 日～4 年<br>1 月 16 日 [33 日間]  | 5,880 人  | トラの写真、映像、頭骨レプリカ、足型、トラにまつわる植物や昆虫などを展示した。                                                                                                                    |
| 新着標本 2022   | 萩原・柴田・<br>内船・山本 | 4 年 1 月 22 日～<br>3 月 13 日 [38 日間] | 7,786 人  | 貝類 (テングガイ、コンクガイ)、鳥類はく製 (カイツブリ)、昆虫 (クスベニヒラタカシミカメ、シルピアシジミ、オオヨツボシゴミムシ)、植物押し葉標本 (ホクリクヨウラン、ヤビツギンラン、アオノリュウゼツラン)、三葉虫化石 (アンダルシアナ、パラドキシデス)、カブトガニ類化石 (メソリムルス) を展示した。 |
| 平和中央公園の春の植物 | 山本              | 4 年 3 月 19 日～<br>次年度へ継続 [11 日間]   | 2,840 人  | サクラやツツジなど、平和中央公園の春を彩る植物を標本や写真パネルで紹介した。また、平和中央公園で行われた「みどりの愛護」の集いの事業についても紹介した。あわせて、秋篠宮皇嗣同妃両殿下によるお手植えについてのパネルや両殿下が実際に使用された水差しや移植ごても展示した。                      |

計 6 件：延開催日数 255 日、延見学者数 52,892 人



トピックス展示「カブトムシを調べよう」



トピックス展示「キソコン！成果展」

## (イ) 人文館

| タイトル                             | 担当 | 開催期間                  | 見学者数    | 備考                                                                                                                                                                                                                     |
|----------------------------------|----|-----------------------|---------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 湊町・ヴェルニー公園の歴史と遺産                 | 菊地 | 前年度から継続～8月22日 [121日間] | 26,197人 | かつて湊町と呼ばれたヴェルニー公園内の土地利用の変遷や歴史的建造物、出土遺物、戦艦陸奥の歴史資料などを総合的に展示紹介した。また、5月29日の「よこすか近代遺産ミュージアム ティポディエ邸」(ヴェルニー公園内)の開館にあわせて、ティポディエ官舎関連の展示品や建築史の解説パネルなどを追加する展示更新を行った。8月31日までの開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館のため8月22日で終了した。本館第1学習室。 |
| 幕末・明治初期の写真の大画面スライドショー(メラング家旧蔵資料) | 菊地 | 前年度から継続～5月30日 [52日間]  | 12,582人 | 「横須賀製鉄所製図工長メラング家旧蔵資料」が、令和2年3月17日に市指定重要文化財になったのを記念して、ここに含まれる全ての古写真を大面映像で一堂に展示した。写真の内訳は、幕末の1866年から1868年ころ撮影の横須賀製鉄所やお雇いフランス人の家族写真を中心とした38点。本館3階ラウンジ。                                                                      |
| オリンピック・パラリンピック記念展示               | 瀬川 | 7月17日～8月22日 [32日間]    | 7,547人  | 東京オリンピック・パラリンピック開催を記念して、1964年開催時の記念品などを展示した。9月5日までの開催を予定したが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館のため8月22日で終了した。本館3階ラウンジ。                                                                                                               |
| 和本にみる鎌倉                          | 藤井 | 4年2月23日～次年度へ継続 [32日間] | 7,143人  | 江戸時代の和本(版本)を通して、武士の都・鎌倉とゆかりの武将などについて紹介した。本館2階展示室。                                                                                                                                                                      |

計4件：延開催日数237日、延見学者数53,469人

## エ 季節展示

| タイトル      | 担当 | 開催期間                | 見学者数   | 備考                                                                                             |
|-----------|----|---------------------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| クリスマス     | 山本 | 12月15日～12月24日 [9日間] | 1,329人 | 自然館2階入り口のフロアをツリーやイルミネーション等で装飾し、季節感を演出した。横須賀の歴史とクリスマスについての解説パネルならびに馬堀自然教育園の植物を用いたクリスマスリースを展示した。 |
| お正月(春の七草) | 山本 | 4年1月8日～1月15日 [7日間]  | 1,735人 | 自然館2階入り口前に春の七草の植物標本を展示した。                                                                      |

計2件：延開催日数16日、延見学者数3,064人

## オ その他

| タイトル              | 担当 | 開催期間                 | 見学者数   | 備考                                                |
|-------------------|----|----------------------|--------|---------------------------------------------------|
| 実習生は見た～博物館で「顔」探し～ | 柴田 | 10月30日～12月26日 [50日間] | 9,732人 | 博物館実習生(自然科学系)制作。展示物で「顔」に見えるものを写真パネルで紹介した。本館2階入り口。 |
| 三浦半島の漁師と信仰        | 瀬川 | 10月30日～12月26日 [50日間] | 9,732人 | 博物館実習生(人文科学系)制作。実習生が漁師の信仰をテーマに資料を選び、展示した。本館2階展示室。 |

計2件：延開催日数100日、延見学者数19,464人



トピックス展示「トラ・虎・寅年」



トピックス展示「新着標本 2022」



博物館実習生（自然科学系）制作「実習生は見た～博物館で「顔」探し～」の解説風景



博物館実習生（人文科学系）制作「三浦半島の漁師と信仰」の解説風景

## (2) 主催事業②（学習会）

### ア 博物館教室

| 行事名                | 担当          | 開催日                                        | 開催場所           | 延参加者数      | 備考                                                                                                                                                                                                                                    |
|--------------------|-------------|--------------------------------------------|----------------|------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| そだててしらべる！カブトムシ     | 内船          | 5月8日, 7月10日(全2回)                           | 本館             | 57人        | 身近な昆虫であるカブトムシを教材に, 飼育体験を通じて昆虫の形や生態について学んだ。1回目に配布したカブトムシの幼虫を飼育し, 羽化した成虫を2回目に持参していただいた。また, 当館の「カブトムシ移動調査」について理解を深める機会とした。                                                                                                               |
| はっけん! 平和中央公園の自然    | 山本          | 5月16日, 6月19日, 9月5日(全3回)                    | 本館, 平和中央公園     | 13人        | 平和中央公園の植物を観察し, 参加者に写真撮影をしてもらいながら開花の様子を記録した。9月5日は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館のため中止とした。                                                                                                                                                        |
| 基礎から学ぼう昆虫学         | 内船          | 5月23日, 6月13日, 7月11日, 10月10日(全4回, 補講含む)     | 本館, 観音崎        | 115人(補講含む) | 全4回を予定したが, 4回目(8/22予定)は新型コロナウイルス感染症拡大にともない中止とした。身近な昆虫観察に必要な知識・技術を習得し, 地域の自然環境を継続的にモニタリングする人材の育成を目標に実施した。本館・平和中央公園のほか, 観音崎公園でも実施した。学習成果は本館にて展示した。協力: 三浦半島昆虫研究会, 県立観音崎公園<br>※中止となった4回目について, 10月10日(日)に参加予定者を対象に修了式を主とした補講を実施, 19名が参加した。 |
| こども海洋教室            | 萩原          | 6月5日, 7月3日, 8月7日, 11月6日(全4回)               | 本館, 天神島臨海自然教育園 | 85人        | 6/5: 塩分濃度あて実験, 塩分濃度と比重の実験, 水温と比重の実験など, 7/3 プランクトンの観察: 佐島漁港でのプランクトン採集, 生きたプランクトンの顕微鏡観察など, 8/7: 紙粘土を使ったアオウミウシの模型作り, 11/6(9/4予定を新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館のため延期): マアジの標本作成とスケッチなどを実施した。                                                       |
| 平和中央公園調査ボランティア養成講座 | 内船・山本       | 10月10日, 10月17日, 10月24日, 10月31日, 11月7日(全5回) | 本館, 平和中央公園     | 24人        | 7月～8月に予定したが新型コロナウイルス感染症拡大のため全日程を10月に延期して開催した。平和中央公園における植物, 昆虫, 遺構, 鳥類, 地質の見方や基礎知識について, 室内と野外で学ぶとともに, 参加者の発見をボードにまとめるなどして来館者に対して可視化した。担当学芸員のほか, 萩原・柴田ならびに横須賀市教育委員会生涯学習課の磯口健太郎氏が指導した。                                                   |
| 三浦半島の自然誌           | 柴田・萩原・内船・山本 | 11月10日, 11月17日, 11月24日, 12月1日, 12月8日(全5回)  | 本館             | 79人        | 三浦半島の身近な自然について解説した。地球科学, 昆虫学, 植物学, 魚類学について講義した。昆虫学2回のうち1回は日本鱗翅学会の新津修平氏に依頼した。                                                                                                                                                          |

|                  |    |                                                  |                |               |                                                                                                              |
|------------------|----|--------------------------------------------------|----------------|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 横須賀ジオツアー（地層見学講座） | 柴田 | 4 年 2 月 5 日, 2 月 20 日, 3 月 5 日, 3 月 27 日 (全 4 回) | 天神島臨海自然教育園, 荒崎 | 44 人          | 天神島臨海自然教育園と荒崎公園の地層を観察し, 三浦半島の地球科学について解説した. 2 月 5 日は新型コロナウイルス感染症拡大のため, 3 月 27 日は講師の体調不良のため中止. 協力: 三浦半島活断層調査会. |
| はじめての古文書講座①, ②   | 藤井 | ① 4 年 3 月 12 日, ② 3 月 13 日 (それぞれ全 1 回)           | 本館             | ① 7 人, ② 11 人 | 簡単な古文書のコピーをテキストとして, 入門者向けのくずし字読解に関する講義を行った.                                                                  |

計 8 件: 延開催日数 26 日, 延参加者数 435 人

## イ 自然観察会

| 行事名             | 担当 | 開催日                   | 開催場所       | 参加者数           | 備考                                                                                                                                  |
|-----------------|----|-----------------------|------------|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 野比海岸の地層         | 柴田 | 5 月 15 日              | 野比海岸       | 26 人           | 野比海岸で見られる地層や岩石, 活断層である北武断層などを見学した. 参加者といっしょに蛇紋岩やハンレイ岩といった三浦半島ではめずらしい岩石を探した. 協力: 三浦半島活断層調査会.                                         |
| ホタルのかんさつ①, ②    | 内船 | ① 6 月 5 日, ② 6 月 12 日 | 馬堀自然教育園    | ① 23 人, ② 26 人 | ホタルの生態や自然教育園による環境整備・生物保護活動について解説を行い, ホタルを観察した. ①ではゲンジボタル 80 個体のみ, ②ではゲンジボタル 50 個体, ヘイケボタル 25 個体が確認された.                              |
| ウミウシのかんさつ       | 萩原 | 6 月 12 日              | 天神島臨海自然教育園 | 27 人           | 天神島の磯でみられるウミウシのなかま 9 種を観察した. 協力: 相模湾海洋生物研究会.                                                                                        |
| 潮だまりの生き物        | 萩原 | 7 月 27 日              | 天神島臨海自然教育園 | 中止             | 荒天のため中止.                                                                                                                            |
| 夜の昆虫かんさつ①, ②    | 内船 | ① 8 月 6 日, ② 8 月 7 日  | 天神島臨海自然教育園 | ① 20 人, ② 26 人 | 自然教育園が有する海岸の自然環境と博物館の調査活動とを体験する機会として, 夜間昆虫調査をテーマに観察会を実施した. 明かりに集まる昆虫や夜の砂浜を徘徊する昆虫等を観察したほか, ①②ともハマオモトの訪花昆虫調査について植物担当学芸員 (山本) の解説を行った. |
| 箱めがねで磯の生き物観察    | 萩原 | 8 月 25 日              | 天神島臨海自然教育園 | 中止             | 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休園のため中止.                                                                                                         |
| 活断層による地形の観察     | 柴田 | 10 月 10 日             | 野比周辺       | 27 人           | 活断層である北武断層がつくった断層崖や小地溝, 横ずれ尾根などを観察した. 協力: 三浦半島活断層調査会.                                                                               |
| トウキョウサンショウウオの観察 | 萩原 | 4 年 3 月 12 日          | 馬堀自然教育園    | 17 人           | 馬堀自然教育園内で保護育成中のトウキョウサンショウウオの成体・卵のうや、アカハライモリとの違いを観察した.                                                                               |
| 海藻入門            | 山本 | 4 年 3 月 20 日          | 天神島臨海自然教育園 | 21 人           | 天神島の海岸環境とその重要性について解説し, この時期に見られる海藻を観察した. 本講座では約 30 種の海藻を確認することができ, 一部については海藻押し葉を作成した. 協力: 相模湾海藻調査会.                                 |

当初計画 9 件中, 実施計 7 件: 延開催日数 9 日, 延参加者数 213 人

## ウ 展示解説・ガイドツアー

| 行事名                                            | 担当       | 開催日                                   | 開催場所   | 参加者数                   | 備考                                                                                                                                                                                                           |
|------------------------------------------------|----------|---------------------------------------|--------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 自然館ミュージアムトーク①～③                                | 萩原・内船・山本 | ① 4 月 3 日, ② 11 月 3 日, ③ 4 年 1 月 23 日 | 本館     | ① 7 人, ② 9 人, ③ 0 人    | 自然館の常設展示、トピックス展示, 最近の話題などについて解説した.                                                                                                                                                                           |
| 企画展示解説「中央公園ものがたり 一砲台山から中央公園、そして平和中央公園へ」①, ②, ③ | 内船       | ① 4 月 24 日, ② 5 月 8 日, ③ 6 月 19 日     | 特別展示室  | ① 26 人, ② 26 人, ③ 19 人 | 企画展示「中央公園ものがたり」について解説した. 前半は全体の解説を行い, 後半はゲストとともに毎回異なるトピックを解説した. 4/24 は動植物の担当学芸員 (萩原・山本) をゲストに平和中央公園の動植物について, 5/9 は本市生涯学習課の磯口氏をゲストに同公園の東京湾要塞遺構について, 6/19 は本市郷土資料室併任の佐藤をゲストに近現代における同公園と周辺の変遷について, それぞれ詳しく解説した. |
| 文化財収蔵庫解説①, ②                                   | 瀬川       | ① 5 月 4 日, ② 11 月 3 日                 | 文化財収蔵庫 | ① 28 人, ② 21 人         | 国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具」について, 神奈川大学の安室知教授が解説した.                                                                                                                                                               |
| わくわく歴史展示ツアー①, ②                                | 菊地・瀬川・藤井 | ① 5 月 5 日, ② 8 月 3 日                  | 本館     | ① 32 人, ② 11 人         | 5 月 5 日は人文館 1 階の考古展示を中心に, 三浦半島の旧石器から古代までを, 8 月 3 日は人文館 1 階の考古展示から人文館 2 階の歴史・民俗展示を, 子どもたちと一緒に見学しながら解説した.                                                                                                      |

|                                        |             |                                          |            |                              |                                                                                                               |
|----------------------------------------|-------------|------------------------------------------|------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 特別展示解説「足跡化石から探る太古の世界—恐竜からナウマンゾウまで—」①～③ | 柴田          | ① 7 月 24 日,<br>② 8 月 7 日,<br>③ 10 月 16 日 | 特別展示室      | ① 35 人,<br>② 33 人,<br>③ 30 人 | 特別展示「足跡化石から探る太古の世界」について解説した。7 月 24 日はアメリカ合衆国ユタ州の足跡化石について、8 月 7 日は各地質時代の足跡化石について、10 月 16 日は日本の足跡化石について詳しく解説した。 |
| 博物館たんけん                                | 萩原・瀬川       | 7 月 28 日                                 | 本館         | 21 人                         | 展示室の裏側や資料室、人文館の屋上などを案内した。案内：萩原・瀬川・柴田・内船・藤井。                                                                   |
| 歴史展示ツアー考古編                             | 佐藤・菊地・瀬川・藤井 | 10 月 31 日                                | 本館         | 12 人                         | 考古学分野の展示解説を行った。講師は、当館考古学担当を併任した横須賀市立中央図書館郷土資料室の佐藤明生氏。                                                         |
| 歴史展示ツアー歴史民俗編                           | 菊地・瀬川・藤井    | 4 年 1 月 29 日                             | 本館         | 6 人                          | 近世以降の歴史・民俗・近代建築史分野の展示解説を行った。解説では、近年に展示更新した箇所とその見どころなども紹介した。                                                   |
| 企画展示解説「新着資料展 2022 年—近年寄贈の近現代史料から—」     | 菊地・瀬川       | 4 年 3 月 5 日                              | 特別展示室      | 23 人                         | 企画展について、学芸員が展示資料の見所や収集にまつわるエピソードなどを交えて解説した。                                                                   |
| 天神島ガイドツアー                              | 小長谷         | 毎月第 4 日曜<br>(計 10 回開催)                   | 天神島臨海自然教育園 | 延 95 人                       | 天神島臨海自然教育園の概要を説明するとともに、季節ごとの見どころを紹介した。8 月と 9 月は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休園のため中止。                                    |

計 10 件：延開催日数 27 日，延参加者数 434 人

## エ ワークショップ

| 行事名                  | 担当 | 開催日                          | 開催場所    | 参加者数              | 備考                                                                  |
|----------------------|----|------------------------------|---------|-------------------|---------------------------------------------------------------------|
| こども地球教室              | 柴田 | 8 月 1 日                      | 本館      | 26 人              | 化石や岩石の観察，地震による液状化実験，地層形成実験などとおして地球科学について学習した。協力：三浦半島活断層調査会。         |
| 植物図鑑のつくりかた①，②        | 山本 | 8 月 14 日                     | 本館      | 中止                | 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。                                                |
| 自分でつくる！化石レプリカ①，②     | 柴田 | 8 月 21 日                     | 本館      | 中止                | 新型コロナウイルス感染症拡大のため中止。                                                |
| 森のさんぽとクリスマススクラフト①，②  | 山本 | 12 月 4 日                     | 馬堀自然教育園 | ① 22 人,<br>② 12 人 | 馬堀自然教育園を散策しながら冬季に見られる果実や種子を観察し，それらを用いてクリスマスリースなどを作成した。              |
| つくって学ぶ！しだ・こけテラリウム①，② | 山本 | ① 4 年 2 月 6 日,<br>② 2 月 13 日 | 本館，野外   | ① 18 人,<br>② 18 人 | シダやコケを中心とした植物の解説を行いながら博物館周辺を散策した。散策後は参加者自身が採集したシダやコケを用いてテラリウムを作成した。 |

当初計画 5 件中，実施計 3 件：延開催日数 4 日 (5 回)，延参加者数 96 人

## (3) 主催事業③ (イベント等その他)

### ア 博物館講演会

| 行事名                        | 担当          | 開催日          | 開催場所 | 参加者数 | 備考                                         |
|----------------------------|-------------|--------------|------|------|--------------------------------------------|
| 特別展示講演会「アジアと世界の恐竜足跡化石」     | 柴田          | 8 月          | 本館   | 中止   | 32 ページ参照。                                  |
| よこすか歴史物語 1 建築史からみた「ティボディ邸」 | 菊地・瀬川       | 11 月 13 日    | 本館   | 21 人 | ティボディ邸の調査の過程で見えてきた建築史的価値について紹介した。32 ページ参照。 |
| よこすか歴史物語 2 横須賀の考古学最前線      | 佐藤・菊地・瀬川・藤井 | 4 年 2 月 27 日 | 本館   | 63 人 | 横須賀の考古学上の情報や新知見を広く紹介していただく機会とした。32 ページ参照。  |

当初計画 3 件中，実施計 2 件：延開催日数 2 日，延参加者数 84 人

## イ 研究発表会

| 行事名           | 担当          | 開催日                    | 開催場所                  | 参加者数    | 備考                                                                  |
|---------------|-------------|------------------------|-----------------------|---------|---------------------------------------------------------------------|
| みんなの理科フェスティバル | 内船・山本・萩原・柴田 | 4 年 1 月 22 日, 1 月 23 日 | 文化会館第 1・2 市民ギャラリー, 本館 | 2,185 人 | 学芸員や小中学生, 高校生, 大学生, 市民団体等の研究成果展示, ワークショップ, 関連講演会等を行った. 30-31 ページ参照. |

計 1 件: 延開催日数 2 日, 延参加者数 2,185 人

## ウ 特別公開

| 行事名       | 担当          | 開催日                                | 開催場所   | 参加者数  | 備考                                                                                                                                                                            |
|-----------|-------------|------------------------------------|--------|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 文化財収蔵庫公開  | 瀬川          | 5 月 3 日～5 月 5 日, 11 月 3 日～11 月 7 日 | 文化財収蔵庫 | 833 人 | 普段は公開していない国指定重要有形民俗文化財「三浦半島の漁撈用具 2,603 点を公開した.                                                                                                                                |
| ナイトミュージアム | 内船・萩原・山本・瀬川 | 10 月 23 日                          | 本館     | 113 人 | 参加者を 4 つのグループに分け, 時間差で常設展示 (自然館 1 階, 同 2 階, 人文館 2 階) を案内したほか, 講堂では博物館制作動画の上映とオリエンテーション, 1 階ホールではグッズ販売, セルフガイドの解答配布, アンケートなどを実施した. 開催にあたり近隣商店街・町内会関係者をはじめ 34 人のボランティアに協力いただいた. |

計 2 件: 延開催日数 9 日, 延参加者数 946 人

## エ クイズラリー

| 行事名       | 担当    | 開催日               | 開催場所 | 参加者数  | 備考                                                                                                            |
|-----------|-------|-------------------|------|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 夏休みクイズラリー | 萩原・菊地 | 7 月 17 日～8 月 22 日 | 本館   | 877 人 | 本館の展示の中からワークシート形式でクイズを出題し, 回答した参加者には記念品をプレゼントした. 8 月 29 日までの開催を予定したが, 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う臨時休館のため 8 月 22 日で終了した. |

計 1 件: 延開催日数 32 日, 延参加者数 877 人

## オ おでかけ博物館

令和 3 年度未実施

## カ ヴェルニー記念館解説・上映

オリジナル映像番組を全開館日に上映した. スチームハンマー蒸気の実演と解説は, 新型コロナウイルスの感染防止のために年度を通して休止した. ヴェルニー記念館. (担当: 菊地)



博物館教室「そだててしらべる! カブトムシ」



博物館教室「基礎から学ぼう昆虫学」



博物館教室「平和中央公園調査ボランティア養成講座」



博物館教室「三浦半島の自然誌」



博物館教室「横須賀ジオツアー」



自然観察会「野比海岸の地層」



自然観察会「ホタルのかんさつ」



自然観察会「夜の昆虫かんさつ」



自然観察会「活断層による地形の観察」



展示解説「博物館たんけん」



展示解説「わくわく歴史ツアー」



ワークショップ「こども地球教室」



ワークショップ「つくって学ぶ! しだ・こけテラリウム」



特別公開「ナイトミュージアム」

#### (4) 主催事業④ (出版・制作)

##### ア 館報 68 号

PDF データのみ公開. 12 月発行. A4 判 58 ページ.  
無料. (担当: 瀬川・内船・青木)

##### イ 研究報告 (自然) 69 号

4 年 3 月 25 日発行. B5 判 42 ページ. 700 円. (編集委員: 内船・萩原・柴田・山本, 担当: 内船)

Sugawara H., Tahara Y., Nakazono S., Matsukoji T. and Nagano M.: Taxonomic revision of the Yamaguchi salamander *Hynobius bakan*: Description of two new species from Chugoku and Kyushu, Japan: 1-17.

松浦啓一・萩原清司: 加計呂麻島北岸と奄美大島北部で発見されたアマミホシゾラフグの産卵巣: 19-23.

内船俊樹・齋藤 理: 横須賀市自然・人文博物館所蔵「鎌倉市十二所産甲虫類コレクション」の再検討: 25-42.

##### ウ 研究報告 (人文) 66 号

4 年 3 月 25 日発行. B5 判 66 ページ. 400 円. (編集・担当: 藤井・瀬川)

白石哲也・中村賢太郎・野内秀明: IntCal20 を用いた炭素 14 年代測定値の再校正 (2) —三浦半島の弥生時代

を対象として—: 1-12.

藤井明広: 天保 11 年 (1840)、大田和村百姓浅葉富蔵の旅—「日光山・善光寺・秩父入湯順道覚」の検討を中心に—: 13-25.

藤井明広: 寛政期における「遠国御用」遂行の事前準備: 27-56.

瀬川 渉: 横須賀市須軽谷上の里の丸石道祖神: 57-66.

##### エ 資料集 46 号

4 年 3 月 25 日発行. B5 判 127 ページ+図版 4 ページ. 750 円. (編集・担当: 萩原)

萩原清司 横須賀市自然・人文博物館所蔵魚類資料目録 (V) 横須賀市自然・人文博物館および相模湾海洋生物研究会収集奄美群島産魚類目録: 1-127, 4pls.

##### オ 博物館だより 14 巻

最近の話題や展示の見どころ, 学芸員の研究内容などをわかりやすく紹介した. 各号 4 ページ. 無料. (担当: 内船)

○ 14 巻 1 号 4 年 1 月 30 日発行 編集: 萩原  
巻頭特集 特別展示「足跡化石から探る太古の世界—恐竜からナウマンゾウまで—」(1), ヴェルニーとティボ

ディエ (2), 天神島のリュウゼツラン (3), 新作展示！  
天神島臨海自然教育園, カプトムシざくざく 馬堀自然  
教育園 (4)

○14 巻 2 号 4 年 3 月 25 日発行 編集：藤井

巻頭特集 企画展示「新着資料展 2022～近年収蔵の近  
現代史料から～」(1), 漂着した武士の遺体 (2), ハゼ類  
の多様性 (3), しだ・こけ テラリウム本館&馬堀自然教  
育園, 一足先に春をお届け 天神島臨海自然教育園, 冬  
の天神島臨海自然教育園 (4)

## カ 特別展示解説書 17「足跡化石から探る太古の世界－ 恐竜からナウマンゾウまで－」

7 月 24 日発行. A4 判 54 ページ. 700 円. (担当: 柴田)

## キ その他

### (ア) 缶バッジ

販売用のオリジナルデザインの缶バッジを制作した。  
6 月制作. 直径 32mm. 12 種類 (オオシマザクラ, す  
かぞう, ユーくん, ぺるり, 萩風, 不知火, 浜風, 清輝,  
陸奥, アオウミウシ, ハマオモト, てんのすけ・かさじ  
ろう). 各 50 円.

### (イ) 巾着

特別展示「足跡化石から探る太古の世界」の開催に合  
わせて巾着を制作し, 自動販売機カプセルステーション  
で販売した. 7 月制作. 175 × 260 mm. 3 種類 (ユ  
ーくん, すかぞう, ナウマンゾウ骨格). 各 300 円.

## (5) 共催・協力事業

### ア 横須賀市・横須賀市教育委員会等主催

#### ○里山的环境保全・活用事業, 自然環境推進事業

年間, 横須賀市環境部自然環境共生課との共催. 本館  
ほか. (担当: 萩原・内船・山本)

#### ○浦賀コミュニティセンター分館企画展示

年間, 制作協力. 浦賀コミュニティセンター主催. (担  
当: 菊地)

#### ○特別展「運慶 鎌倉幕府と三浦一族」

5 月 2 日から次年度へ継続, 協力. 横須賀美術館主催,  
神奈川県立金沢文庫共催. 横須賀美術館. 展示企画およ  
び図録執筆に協力. 展示は 4 年 7 月 6 日～9 月 4 日に  
開催. (担当: 藤井・瀬川・菊地)

#### ○横須賀しぜん散歩

5 月 15 日, 横須賀市環境政策部自然環境共生課との  
共催. 光の丘水辺公園における水辺を中心とした植物お  
よび昆虫を観察した. 横須賀市光の丘 (水辺公園). (担  
当: 内船・山本)

#### ○ホテル館リニューアル準備

7 月～4 年 3 月, 協力. 横須賀市環境政策部. ソレイ  
ユの丘. (担当: 内船)

#### ○海洋クラブ

7 月 3 日～10 月 23 日, 共催. 横須賀市経済企画部  
都市戦略課主催. 京急観音崎ホテル, 電力中央研究所,  
本館 (オンライン講義・水中ロボット模型作り). (担当:  
萩原)

#### ○よこすか子ども発明展

中止, 協力. 横須賀市教育委員会学校教育部教育指導  
課主催. 市内小学校の発明作品の展示. 作品の集約およ  
び審査は博物館で実施されたが, 9 月 11・12 日に予定  
されていた展示については新型コロナウイルス感染症拡  
大に伴う臨時休館のため中止とした. (担当: 内船)

#### ○親子しぜん観察会

10 月 3 日, 横須賀市環境政策部自然環境共生課との  
共催. 秋の衣笠山公園で鳴く虫や秋の花・実の観察をし  
た. 横須賀市小矢部 (衣笠山公園). (担当: 内船・山本)

#### ○自然環境講演会

4 年 1 月 22 日, 横須賀市環境政策部自然環境共生課  
との共催. 「三浦半島のホテル～ホテルが育んだ水辺の  
自然環境～」をテーマに, 元博物館長の林 公義氏を講  
師に基調講演を行い, 日本ホテルの会会長の本多和彦氏  
と司会の内船を加えた 3 人でトークセッションを行っ  
た. 当初 5 月 30 日を予定していたが, 講師の都合によ  
り延期. 感染症対策のため定員を 50 名としていたが,  
市内感染者急拡大を受け参加予定者を約半数に減じたい  
うえ, 参加辞退者の一部に対して Zoom による Web 配信  
を行った. 会場参加者 27 人, Web 配信参加者 18 人.  
みんなの理科フェスティバルの関連講演会①としても位  
置付けた. 本館講座室. (担当: 内船)

## イ 市内団体・機関等

#### ○モニタリング調査「天神島・笠島及びその周辺水域」

6 月 21～24 日, 10 月 19 日, 10 月 20 日, 4 年 1  
月 24 日, 1 月 25 日, 3 月 24 日, 3 月 25 日, 立ち合い.  
大楠漁業協同組合主催. 天神島・笠島及びその周辺水域.  
(担当: 萩原)

#### ○万代テラコヤ・秋

11 月 14 日, 協力. 万代テラコヤ実行委員会主催.  
鳴く虫をはじめとした昆虫観察のワークショップを実  
施. 横須賀市立万代会館. (担当: 内船)

## ウ 市外団体・機関等

#### ○特別展示「神奈川の大地—1 億年の歴史—」

10 月 23 日～4 年 1 月 10 日 (開催期間), 協力. 平塚市博物館主催. 平塚市博物館. 展示資料を貸出したほか, 展示内容や展示解説書について協力した. (担当: 柴田)

#### ○横浜市沿岸域環境調査報告書

12 月 24 日, 指導. 横浜市環境研究所主催, 本館. (担当: 萩原)

#### ○講演会

4 年 1 月 23 日, LiCaCIUB との共催. 「電子顕微鏡が解き明かす生命の神秘」をテーマに, 日本電子株式会社の近藤俊三氏を講師に開催した. 参加者 34 人. みんなの理科フェスティバルの関連講演会②としても位置付けた. 本館講座室. (担当: 内船・山本)

### (6) 学校教育等指導・対応

#### ア 研究指導

○神奈川県立横須賀高等学校スーパーサイエンスハイスクール (SSH) プリンキピア I

年間, 本館・天神島臨海自然教育園, 神奈川県立横須賀高等学校 1 学年 19 人 (担当・指導: 内船・萩原・柴田・山本)

「ユビナガコウモリの生態調査と食餌昆虫調査」(理科ハウスとの共同指導), 5 人, 指導: 内船

「黒潮の魚たちを調べる」, 5 人, 指導: 萩原

「博物館展示鑑賞者の動向分析」, 5 人, 指導: 柴田

「平和中央公園と博物館とをつなぐ自然・歴史の学習教材の開発」, 4 人, 指導: 内船・山本

○神奈川県立横須賀高等学校スーパーサイエンスハイスクール (SSH) プリンキピア II

年間, 本館, 天神島臨海自然教育園, 神奈川県立横須賀高等学校 2 学年 9 人

「認知特性と得意教科の関係性からみる学習方法の提案」, 4 人, 指導: 内船

「環境 or 遺伝 ハマダンゴムシの斑紋パターンに影響するのは?」, 5 人, 指導: 山本・内船

#### ○卒業論文指導

年間, 本館. 神奈川大学工学部 4 年生 1 人 (指導: 菊地)

#### ○卒業論文指導

年間, 本館. 明治大学文学部 4 年生 1 人 (指導: 菊地)

#### ○大学院生研究協力

年間, リモート, 東京都立大学博士前期課程 1 年生 1 人 (指導: 山本)

#### ○セミの生態調査指導

8 月 11 日・1 月 8 日, 本館. 関東学院六浦小学校 5 年生 1 人. (指導: 内船)

8 月 29 日, 本館. 横浜市立南高等学校附属中学校 2 年生 1 人. 本館 (指導: 内船)

#### ○構造色昆虫研究指導

11 月 2 日, 本館. 神奈川県立横須賀高等学校 1 年生 1 人. (指導: 内船)

#### ○卒業研究相談

4 年 2 月, リモート, 現世の河床礫について. 東京学芸大学 4 年生 1 人. (指導: 柴田)

### イ 授業・講義

#### ○小学校 1 学年生活科

横須賀市立公郷小学校, 7 月 13 日, 7 月 14 日. 校内. (担当: 山本・内船)

横須賀市立田戸小学校, 11 月 19 日. 本館・校内. (担当: 山本)

#### ○小学校 2 学年生活科

横須賀市立公郷小学校, 11 月 26 日. 校内. (担当: 山本・内船)

#### ○小学校 3 学年理科

横須賀市立鶴久保小学校, 「校庭の虫さがし (秋・冬)」, 4 年 1 月 27 日. 校内・校庭. (担当: 内船)

#### ○小学校 3 学年社会科

「昔の道具とくらし」 古民家や昔の道具について説明し質問に答えた. 本館. (担当: 瀬川)

横須賀市立城北小学校, 11 月 11 日.

横須賀市立森崎小学校, 12 月 21 日.

#### ○小学校 6 学年総合的な学習の時間

横須賀市立走水小学校, 「ホテルの観察と環境整備」, 6 月 17 日. 校庭. (担当: 内船)

#### ○小学校 6 学年理科

「土地のつくりと変化」. 野外で地層について解説した. (担当: 柴田)

横須賀市立走水小学校, 10 月 7 日. 観音崎公園.

横須賀市立大津小学校, 11 月 5 日. 横須賀市三春町.

横須賀市立鷹取小学校, 4 年 1 月 18 日. 鷹取山.

#### ○小学校特別支援学級

横須賀市立馬堀小学校, 「教室で飼っている虫などについて」, 7 月 2 日. 校内. (担当: 内船)

#### ○中学校総合的な学習の時間

横須賀市立不入斗中学校, 5 月 14 日・5 月 21 日. 本館の展示解説と校内で講演を行った. 本館・校内. (担当: 山本)

横須賀市立大津中学校 1 年生, 12 月 7 日. 本館. (担当: 菊地)

#### ○中学校キャリア教育プログラム

常葉中学校, 4 年 2 月 24 日, 校内. 横須賀キャリア教育推進事務局主催. (担当: 萩原)

#### ○高等学校美術 I

神奈川県立横須賀高等学校, 「生物の点描制作」, 10 月 27 日. 事前収録の解説動画を放映した. 校内. (担当: 内船)

#### ○大学学芸員課程等

日本大学生物資源科学部, 「博物館実習 I」, 6 月 12 日. バックヤード等をオンラインで解説した. 本館. (担当: 内船・柴田・山本)

神奈川大学, 11 月 3 日, 本館 (担当: 瀬川)

立正大学, 11 月 20 日, 本館 (担当: 藤井)

東海大学, 「社会教育実習」, 12 月 11 日. 「横須賀市自然・人文博物館の地域における活動」について講義した. 本館. (担当: 内船)

帝京平成大学, 12 月 4 日. 「森のさんぽとクリスマスクラフト①, ②」を見学し, イベントの運営について実習した. 馬堀自然教育園. (担当: 山本)

#### ○大学その他

北里大学, 「海洋実習」, 9 月 7 日, オンライン講義 (担当: 萩原)

### ウ 非常勤講師

○北里大学, 「博物館概論」, 4 月 5 日～6 月 7 日. (担当: 萩原)

○信州大学, 「博物館実習 I」, 6 月, 信州大学旭キャンパス. (担当: 内船)

○神奈川大学, 「博物館教育論」, 10 月～1 月, 神奈川大学湘南ひらつかキャンパス. (担当: 内船)

### エ 見学・相談・質問対応

○横須賀市立養護学校小学部高学年, 7 月 14 日. 本館 (担当: 瀬川)

○北里大学学芸員課程 2 名, 10 月 19 日. 本館 (担当: 内船)

### オ 職場体験指導

令和 3 年度未実施.

### カ 博物館実習

○8 月 17 日～22 日, 10 月 9 日, 16 日, 30 日 (6 日間および補習 3 日間), 12 人. 本館・馬堀自然教育園・天神島臨海自然教育園・ヴェルニー記念館. 実習生所属大学等: 鶴見大学・神奈川大学・二松學舎大学・駒澤大学・北里大学・明治大学・立正大学・日本大学・

大正大学・青山学院大学. (指導: 菊地・萩原・柴田・内船・山本・瀬川・藤井・佐藤. 担当: 内船)

○12 月 3 日, 1 人. 本館. 東京農業大学. (指導・担当: 内船)

### (7) 学校教育以外の指導・対応

#### ア 委員等・市民団体・会議等協力

○近代歴史遺産活用事業推進協議会, 委員. 横須賀市文化振興課, 年間 (担当: 柳井・菊地)

○横浜市ミヤコタナゴ保護育成検討会, 専門委員. 横浜市教育委員会, 年間 (担当: 萩原)

○三浦半島活断層調査会, 調査研究員. 年間 (担当: 柴田)

○逗子市池子の森運営会議, 顧問. 逗子市緑政課, 年間 (担当: 内船)

○環境教育・環境学習ネットワーク会議, 委員. 横須賀市環境政策部, 年間 (担当: 内船)

○三浦半島昆虫研究会, 編集委員・例会幹事, 年間 (担当: 内船)

○里山再生事業審議委員, 横須賀市環境政策部, 年間 (担当: 内船)

○神奈川県博物館協会, 機能研究部会長・協会報編集委員長. 年間. (担当: 瀬川)

○熊谷市史編さん委員会 (近世部会), 専門調査員. 埼玉県熊谷市, 年間 (担当: 藤井)

### イ 指導・講師

#### (ア) 講師

○よこすか近代遺産ミュージアムティボディエ邸スタッフ研修

4 月 21 日. 横須賀市文化振興課主催. 本館. (担当: 菊地)

○理科基礎技術研修講座

5 月 19 日. 横須賀市教育研究所主催. 横須賀市教育研究所. (担当: 内船)

4 年 1 月 19 日. 横須賀市教育研究所主催. 本館・平和中央公園. (担当: 山本)

○横須賀市市民大学「食と農の博物塾」

5 月 21 日, 5 月 28 日, 6 月 4 日, 6 月 18 日, 7 月 9 日, 10 月 8 日, 10 月 22 日. 横須賀市生涯学習財団主催. 横須賀市生涯学習センター. (担当: 内船・山本・佐藤)

○「博物館とは? 学芸員とは? その定義と業務について」  
6 月 18 日. 横須賀プロバスクラブ主催. 横須賀平安閣. (担当: 萩原)

○「苔テラリウム作り教室」

6 月 27 日, 東京都日野原都民の森主催, 東京都日野

原都民の森。(担当:山本)

○「はじめてのシダ観察」

7月1日,東京都日野原都民の森主催,東京都日野原都民の森。(担当:山本)

○自然観察会「天神島へ行こう!」

7月4日,神奈川県青少年センター主催,天神島臨海自然教育園。(担当:萩原)

○教員向け環境学習講座「教員向け<博物館たんけん>とく平和中央公園はっけん隊>」

7月29日,横須賀市環境部環境企画課・横須賀市教育委員会教育研究所共催,本館・平和中央公園。(指導:萩原・柴田・内船・山本,担当:内船)

○「図書館でわくわく『ムシ』たんけん」

8月4日(中止),横須賀市児童図書館主催,横須賀市児童図書館。(担当:内船)

○「田越川さかな観察会」

8月22日,逗子市環境会議・まちなみと緑の創造部会主催,逗子市田越川河口。(担当:萩原)

○「浦賀ドックと近代浦賀の街並み」

10月8日,10月15日,浦賀コミュニティセンター主催,浦賀コミュニティセンター,浦賀ドック跡,西浦賀地区及び周辺。(担当:菊地)

○よこすかシティガイド協会ヴェルニー記念館説明員研修

12月7日,よこすかシティガイド協会主催,ヴェルニー記念館。(担当:菊地)

○観察会「神奈川県域ジオツアー 三浦半島エリア」

12月4日,平塚市博物館主催,三浦市油壺(担当:柴田)

○貝山地下壕ガイド実地研修

12月24日,よこすかシティガイド協会主催,貝山地下壕。(担当:柴田)

○「横須賀の植物」

4年1月15日,神奈川県退職公務員連盟横須賀支部主催,本館。(担当:山本)

○「身近な植物」

4年2月3日,大津コミュニティセンター主催,大津コミュニティセンター。(担当:山本)

○「アクションカメラの活用法」

4年2月9日,16ミリ試写室主催,横須賀市中央図書館。(担当:萩原)

(イ) 指導

○「水辺公園の昆虫類」

4月3日,5月1日,6月5日,4年3月5日,水辺公園友の会主催,横須賀市光の丘(水辺公園)(担当:内船)

○河川水質調査

11月16日,横須賀市地域水質保全協議会主催,関根川。(担当:萩原)

ウ 見学対応等

○「クモや昆虫の観察」

7月18日,ものがたり文化の会主催,馬堀自然教育園。(担当:内船)



教員向け環境学習講座「教員向け<博物館たんけん>とく平和中央公園はっけん隊>」

## (8) 報道発表・取材等協力

## ア 報道発表

| 日付           | 表題（事業担当者）                                                    | 担当    |
|--------------|--------------------------------------------------------------|-------|
| 4 月 28 日     | 第 32 回全国「みどりの愛護」のつどい開催記念 企画展示の開催について（内船・萩原・柴田・山本）            | 青木・内船 |
| 7 月 9 日      | 特別展示「足跡化石から探る太古の世界」の開催について（柴田）                               | 北原・柴田 |
| 7 月 29 日     | めずらしいナナフシのオスを展示しますーナナフシモドキのきわめて稀なオスの寄贈を受けましたー（内船）            | 内船    |
| 7 月 29 日     | 県立横須賀高校と横須賀市自然・人文博物館のコラボ展示ー「高校美術 × 昆虫標本」の開催についてー（内船）         | 内船・北原 |
| 4 年 2 月 24 日 | 企画展示「新着資料展 2022 ～近年収蔵の近現代史料から～」の開催について（菊地・瀬川・藤井）             | 菊地・青木 |
| 4 年 3 月 16 日 | 日本初記録！「モンロユカタハゼ」の展示について（萩原）                                  | 萩原    |
| 4 年 3 月 29 日 | 「一般財団法人シティサポートよこすか」から横須賀市自然・人文博物館にデジタルサイネージが寄贈されます（柳井・内船・山本） | 柳井    |

計 7 件

## イ 取材対応・出演（新聞・雑誌・テレビ）

| 対応内容もしくは番組・記事表題（放映・掲載日）                                                         | 報道機関等   | 取材等対応日                      | 担当    |
|---------------------------------------------------------------------------------|---------|-----------------------------|-------|
| NHKBS プレミアム「ニッポンぶらり鉄道旅」. ハマオモトの同定依頼（電話・来館）.                                     | NHK     | 4 月 2 日                     | 山本    |
| NHK 総合「ダーウィンが来た！」, NHK-BS プレミアム「ワイルドライフ」. サング礁性魚類ヘラヤガラ生態についてヒアリング取材, 映像を見ながら取材. | NHK     | 4 月 7 日, 4 月 14 日, 8 月 18 日 | 萩原    |
| TVK「猫のひたいほどワイド」. 平和中央公園の紹介. 番組内で企画展も紹介. (5 月 13 日)                              | TVK     | 4 月 30 日                    | 山本    |
| 文化財収蔵庫公開の取材.                                                                    | 神奈川新聞   | 5 月 2 日                     | 瀬川    |
| 日本テレビ「鉄腕ダッシュ」. ダッシュ海岸と鹿児島水族館で撮影されたアメフラシ類の画像による同定. (5 月 9 日)                     | 日本テレビ   | 5 月 3 日                     | 萩原    |
| テレビ番組制作に伴う戦史関係資料の調査研究相談.                                                        | NHK     | 5 月 7 日                     | 菊地    |
| 神奈川新聞. 企画展示について取材.                                                              | 神奈川新聞   | 5 月 7 日, 5 月 9 日            | 内船    |
| NHK「NHK スペシャル」. テレビ番組制作に伴う歴史調査研究相談.                                             | NHK     | 5 月 9 日, 5 月 12 日, 5 月 19 日 | 菊地    |
| NHK「さわやか自然百景 神奈川県 大磯丘陵」. トンボ等の同定. (5 月 30 日)                                    | NHK     | 5 月 13 日                    | 内船    |
| TVK「猫のひたいほどワイド」. 企画展の番組紹介について. (5 月 28 日)                                       | TVK     | 5 月 19 日                    | 内船    |
| フジテレビ「Live news イット!」. アカエイ刺傷の症状について.                                           | フジテレビ   | 6 月 9 日                     | 萩原    |
| 朝日小学生新聞. 磯の自然観察について取材. (7 月 16 日号)                                              | 朝日小学生新聞 | 6 月 11 日, 6 月 25 日          | 萩原    |
| NHK-BS プレミアム「ワイルドライフ」. 高知県柏島で撮影された魚類の種名と, ハナヒゲウツボの性転換と体色変化の関係について取材.            | NHK     | 6 月 22 日                    | 萩原    |
| 林元館長に上皇陛下のご研究について取材.                                                            | フジテレビ   | 7 月 6 日                     | 萩原    |
| 読売新聞. 当館主催クイズラリーの新聞記事掲載に伴う取材. (7 月 16 日)                                        | 読売新聞    | 7 月 7 日                     | 北原・菊地 |
| 朝日小学生新聞. 海の有毒生物について取材. (7 月 16 日号)                                              | 朝日小学生新聞 | 7 月 13 日                    | 萩原    |
| 講談社 WEB 新聞. 海の有毒生物について取材. (7 月中旬公開).                                            | 講談社     | 7 月 13 日                    | 萩原    |
| 小田急ロマンスカー設計者資料に関する問い合わせ.                                                        | NHK     | 7 月 14 日                    | 菊地    |
| ペリー久里浜上陸図に関する問い合わせ.                                                             | NHK     | 7 月 14 日                    | 菊地    |
| タウンニュース. 特別展示「足跡化石から探る太古の世界」の取材.                                                | タウンニュース | 7 月 22 日                    | 柴田    |
| 神奈川新聞. 特別展示「足跡化石から探る太古の世界」の取材.                                                  | 神奈川新聞   | 7 月 24 日                    | 柴田    |
| NHK「さわやか自然百景」. 昆虫の逃避行動について. (8 月 15 日)                                          | NHK     | 7 月 28 日                    | 内船    |
| タウンニュース. 生体展示・コラボ展示の取材. (8 月 6 日および 8 月 13 日)                                   | タウンニュース | 7 月 30 日                    | 内船    |
| NHK 総合「さわやか自然百景」. 宮崎県耳川の魚類の同定依頼. (8 月 22 日)                                     | NHK     | 8 月 6 日                     | 萩原    |
| 朝日小学生新聞. 上皇陛下が新種記載したハゼについて, ハゼとはどのような魚類なのか. (9 月 23 日号)                         | 朝日小学生新聞 | 8 月 12 日, 8 月 18 日          | 萩原    |
| NHK スペシャル. 東京湾の魚類について取材.                                                        | NHK     | 8 月 26 日                    | 萩原    |
| バイク雑誌「BIKE-JIN」. 博物館の取材対応.                                                      | 実業之日本社  | 9 月 2 日                     | 内船    |
| NHK「さわやか自然百景 北アルプス・西穂高岳」. 北アルプスの昆虫同定.                                           | NHK     | 9 月 5 日, 9 月 6 日            | 内船    |

|                                                                          |                  |                       |       |
|--------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------|-------|
| 神奈川新聞。シロマダラ（ヘビ）の同定とその生態的な特徴について。                                         | 神奈川新聞<br>(横須賀支社) | 10月7日                 | 萩原    |
| 読売新聞。平和中央公園のサクラについて取材。                                                   | 読売新聞             | 10月12日                | 山本    |
| 読売新聞。フランス人名のスペル表記確認。                                                     | 読売新聞             | 10月20日                | 菊地    |
| 神奈川新聞。シロマダラに関する取材。                                                       | 神奈川新聞<br>(鎌倉支局)  | 11月9日                 | 萩原    |
| NHK-BS プレミアム「テントを背負って」。三重県尾鷲で撮影されたウ類の同定。(12月30日)                         | NHK              | 12月2日                 | 萩原    |
| NHK 総合「さわやか自然百景」。鳥取県大山で撮影されたイワナ類の同定と産卵誘発の環境要因について。(12月19日)               | NHK              | 12月3日                 | 萩原    |
| NHK-BS プレミアム「ワイルドライフ」。佐賀県で撮影された海洋生物の同定。                                  | NHK              | 12月21日                | 萩原    |
| NHK-BS プレミアム「ワイルドライフ自然写真家 野生へのまなざし 今森光彦 里山 命の輪に生かされる」。昆虫類の同定依頼。(4年1月24日) | NHK              | 12月21日, 12月28日        | 内船    |
| 神奈川新聞。トビックス展示「トラ・虎・寅年」の取材。(12月27日)                                       | 神奈川新聞<br>(横須賀支社) | 12月23日                | 萩原    |
| NHK「ブラタモリ」。東京湾の自然と歴史、第2海堡に関する相談。                                         | NHK              | 4年1月28日, 2月8日, 3月10日  | 菊地・柴田 |
| 古い映像資料の所在情報調査法に関する相談。                                                    | NHK              | 4年2月17日, 2月21日, 2月24日 | 菊地    |
| 企画展示「新着資料展 2022—近年収蔵の近現代史料から—」について取材。                                    | タウンニュース          | 4年3月1日                | 菊地    |
| 企画展示「新着資料展 2022—近年収蔵の近現代史料から—」について取材。                                    | 神奈川新聞            | 4年3月1日                | 菊地    |
| NHK 総合「さわやか自然百景」。昆虫類の同定依頼。                                               | NHK              | 3月3日                  | 内船    |
| 企画展示「新着資料展 2022—近年収蔵の近現代史料から—」について取材。                                    | 読売新聞             | 4年3月4日, 3月10日         | 菊地    |
| 企画展示「新着資料展 2022—近年収蔵の近現代史料から—」について取材。                                    | 神奈川新聞            | 4年3月5日                | 菊地    |
| 沈没船に関する問い合わせ                                                             | 日本テレビ            | 4年3月8日                | 菊地・瀬川 |
| NHK「再生できないホームビデオありませんか〜さよなら EM クラブ」。EM クラブ記録映像に関する番組の相談、出演依頼、番組収録。       | NHK              | 4年3月9日, 3月10日, 3月11日  | 菊地    |
| 神奈川新聞横須賀版。モノロユカタハゼについて取材。(4年3月17日)                                       | 神奈川新聞            | 4年3月10日               | 萩原    |
| 毎日新聞。モノロユカタハゼについて取材。(4年3月25日)                                            | 毎日新聞             | 4年3月17日               | 萩原    |
| 学研図鑑 NEO「のりもの」付属 DVD。当館保管資料の閲覧と利用打診。                                     | 学研               | 4年3月17日               | 菊地    |
| 朝日新聞全県版。モノロユカタハゼについて取材。(4年3月21日)                                         | 朝日新聞             | 4年3月20日               | 萩原    |

計 50 件

## ウ 画像や映像の貸出・掲載

| 対応内容もしくは番組・記事表題 (放映・掲載日)                                                    | 報道機関等           | 対応日         | 担当 |
|-----------------------------------------------------------------------------|-----------------|-------------|----|
| 神奈川新聞。考古資料の撮影と掲載許可。                                                         | 神奈川新聞<br>(本社)   | 4月8日        | 菊地 |
| 日テレアックスオン「あなたは小学5年生より賢いの?」。YouTube で公開している天神島の潮汐運動の画像の貸出。                   | 日本テレビ           | 4月13日       | 萩原 |
| NHK「英雄たちの選択 徳川慶喜・パリ万博大作戦〜600万ドルを確保せよ」。当館所蔵資料の画像データのテレビ放映利用の相談、データ貸出。(6月23日) | NHK             | 5月5日, 5月19日 | 菊地 |
| TVK「猫のひたいほどワイド」。企画展示の紹介資料を提供。(5月28日)                                        | TVK             | 5月12日       | 内船 |
| 朝日新聞。新見正興の画像貸出。(6月10日)                                                      | 朝日新聞            | 6月9日        | 藤井 |
| 高等学校用地理歴史科用副教材『歴史総合図表(仮)』。当館所蔵資料のデータ貸出と掲載利用依頼。                              | 第一学習社           | 7月21日       | 菊地 |
| 月刊誌『歴史街道』。当館所蔵資料のデータ貸出と掲載利用依頼。                                              | PHP 研究所         | 8月24日       | 菊地 |
| 読売新聞。当館所蔵資料の掲載利用。                                                           | 読売新聞            | 10月12日      | 菊地 |
| テレビ東京「中村獅童の灯台見聞録〜灯台が照らし続けた海と日本人の記憶〜」。当館所蔵資料のテレビ放映利用。(10月31日)                | 日本財団 海と日本プロジェクト | 10月20日      | 菊地 |
| 教科書『歴史総合 近代から現代へ』指導書付属データ集。当館所蔵資料の掲載利用。                                     | 山川出版社           | 10月22日      | 菊地 |
| 読売新聞「フライデーかながわ」。足跡化石の画像貸出。(11月19日)                                          | 読売新聞            | 11月12日      | 青木 |
| テレビ東京「日本を作った“偉人街”よく知らないから行ってみよう!」。ペリー画像貸し出し。(12月4日)                         | テレビ東京           | 11月17日      | 藤井 |
| テレビ東京「ニッポンを作った偉大街道」。当館ペリー関係展示エリア写真のテレビ放映利用。                                 | テレビ東京           | 11月26日      | 菊地 |

|                                                                                  |        |              |    |
|----------------------------------------------------------------------------------|--------|--------------|----|
| テレビ朝日「ハヤシソン!」.「久里浜上陸の図」画像貸出.                                                     | テレビ朝日  | 12 月 24 日    | 青木 |
| 「日本大学大学史ニュース」. 馬堀自然教育園の写真貸出.                                                     | 日本大学   | 4 年 1 月 17 日 | 青木 |
| 防衛省自衛隊オフィシャルマガジン「月刊 MAMOR( マモル )」4 月号「横須賀市の観光ミニガイド」. ナウマンゾウ画像の貸出. (4 年 2 月 21 日) | 防衛省自衛隊 | 4 年 1 月 19 日 | 菊地 |
| ポプラ社「江戸時代大百科」.「横須賀港一覧絵図」画像貸出.                                                    | ポプラ社   | 4 年 1 月 19 日 | 青木 |
| NHK「再生できないホームビデオありませんか～さよなら EM クラブ」. 当館所蔵 EM クラブ写真のテレビ放映利用依頼.                    | NHK    | 4 年 3 月 17 日 | 菊地 |
| 緑書房「ウソをつくいきものたち」. ホタル画像の掲載.                                                      | 緑書房    | 4 年 3 月 19 日 | 内船 |

計 19 件

## エ その他

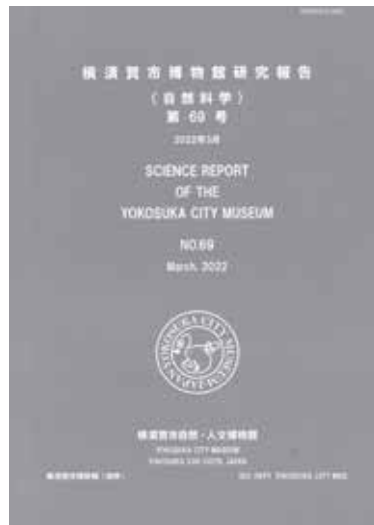
| 対応内容もしくは番組・記事表題（放映・掲載日）                                                                                                       | 報道機関等 | 対応日                | 担当 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|--------------------|----|
| JTB「大人の遠足ブック・鎌倉、湘南、三浦ウォーキング」. 改定にあたっての校正.                                                                                     | JTB   | 5 月 12 日           | 萩原 |
| はまかぜ. 原稿校正.                                                                                                                   | はまかぜ  | 6 月 8 日            | 菊地 |
| 「横浜・鎌倉半日さんぽ」記事の校正依頼.                                                                                                          | 旺文社   | 6 月 21 日           | 菊地 |
| Web サイト「レクリム」< <a href="https://event.spot-app.jp/">https://event.spot-app.jp/</a> >. ヴェルニー記念館・ティボディエ邸ミュージアム・ヴェルニー公園の取材記事の校正. | レクリム  | 6 月 26 日, 7 月 27 日 | 菊地 |
| 観光ガイドブック「カナガワ Do カナ」. ヴェルニー記念館の掲載について.                                                                                        | 神奈川県  | 11 月 24 日          | 青木 |
| 「まっふるドライブ関東・甲信越ベスト」. 天神島臨海自然教育園の掲載内容確認.                                                                                       | 旺文社   | 12 月 6 日           | 青木 |
| 神奈川新聞「ミュージアムナビ」. 企画展示の掲載について.                                                                                                 | 神奈川新聞 | 4 年 2 月 18 日       | 青木 |

計 7 件

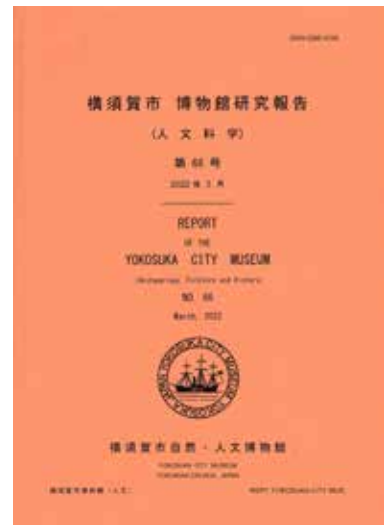
《出版物表紙》



館報 68 号（※ PDF のみ発行）



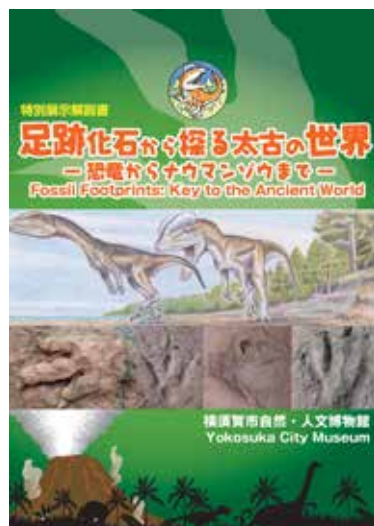
研究報告（自然科学）69 号



研究報告（人文科学）66 号



資料集 46 号



特別展示解説書 17「足跡化石から探る太古の世界－恐竜からナウマンゾウまで－」

## 8 収集調査研究事業

### (1) 調査・研究

#### ア 調査・研究テーマ

- 三浦半島淡水生物調査, 年間 (担当: 萩原)
- 三浦半島沿岸生物調査, 年間 (担当: 萩原)
- 大矢部弾薬庫生物調査, 7 月 21 日 (担当: 萩原・内船・山本)
- 横浜市ミヤコタナゴ保護育成状況調査, 横浜市青葉区, 10 月 28 日 (担当: 萩原)
- かがみ田谷戸水生生物調査, 自然環境共生課, 9 月 20 日, 4 年 3 月 18 日 (担当: 萩原)
- 三浦半島の地質調査, 年間 (担当: 柴田)
- 「足跡化石コレクションの構築と児童生徒が創造的, 探究的に学習できる展示の開発」科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 研究課題 (JP17K12968), 研究代表者, 年間 (担当: 柴田)
- 「フォトグラメトリーを用いた地層の 3-D モデル化と地層の動的・参加型の展示開発」科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 研究課題 (JP21K01010), 研究代表者, 年間 (担当: 柴田)
- 三浦半島昆虫相調査, 年間, 三浦半島 (担当: 内船)
- 昆虫形態発生研究, 年間 (担当: 内船)
- 「地域生物相の成立背景を考慮した通史展示への対応: 地域博物館リニューアルに向けて」科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 研究課題 (JP21K01011), 年間 (担当: 内船)
- 地域博物館連携に関する実践的研究, 年間 (担当: 内船)
- 三浦半島植物相調査, 年間 (担当: 山本)
- 三浦半島絶滅危惧植物調査, 年間 (担当: 山本)
- 「シダ植物の独立配偶体の DNA バーコーディングを活用した探索とその成立要因の解明」科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 研究課題 (19H03288) 研究分担者, 年間 (担当: 山本)
- 「環境フィルタリングと生物間相互作用が植物の共起に与える影響についての解析」共同研究, 年間 (担当: 山本)
- 「広域分布種サクラソウ科ハマボウスの花形態とポリネーター調査」共同研究, 年間 (担当: 山本)
- 「里山環境モデル地区における生物相調査 (里山的環境保全・活用事業)」「自然環境調査に関する生物相調査 (身近な自然の保全とふれあい推進事業)」自然環境共生課所管事業 (担当: 萩原・内船・山本)
- 三浦半島の近代建築史・土木史調査, 年間 (担当: 菊地)
- 「横須賀製鉄所における中国経由でのフランス系建築技術と様式の導入に関する研究」科学研究費助

成事業 (学術研究助成基金助成金) 研究課題 (JP18K04552), 研究代表者, 年間 (担当: 菊地)

○三浦半島の民俗調査, 年間 (担当: 瀬川)

○「南関東地方における湯立神楽の基礎的研究」科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 研究課題 (19K01218), 研究分担者, 年間 (担当: 瀬川)

○三浦半島の文献史調査, 年間 (担当: 藤井)

○旗本に関する研究, 年間 (担当: 藤井)

○近世関東地域史論, 年間 (担当: 藤井)

#### イ 調査出張等

| 日付                | 調査地                     | 出張者      |
|-------------------|-------------------------|----------|
| 4 月 2 日           | 馬堀自然教育園                 | 山本       |
| 4 月 9 日           | はだの歴史博物館                | 瀬川       |
| 4 月 11 日～16 日     | 岩手県立博物館, 岩手県宮古市         | 柴田       |
| 4 月 14 日          | 横須賀市立総合高校               | 藤井       |
| 4 月 15 日          | 田浦変電所                   | 菊地       |
| 4 月 15 日          | 横浜市磯子区                  | 藤井       |
| 4 月 16 日          | 神奈川県立図書館                | 藤井       |
| 4 月 21 日          | 横須賀市公郷町                 | 菊地       |
| 4 月 21 日          | 伊勢原市                    | 藤井       |
| 4 月 25 日          | 横浜市港南区                  | 瀬川       |
| 4 月 27 日          | 横須賀市公郷町                 | 菊地・瀬川・藤井 |
| 4 月 27 日          | 大諏訪神社, 横須賀市緑が丘          | 菊地・瀬川・藤井 |
| 4 月 28 日          | よこすか近代遺産ミュージアム (ティボディ邸) | 菊地       |
| 4 月 28 日          | 平塚市                     | 藤井       |
| 5 月 7 日           | 横須賀市光の丘                 | 内船       |
| 5 月 7 日           | 横須賀市水辺公園                | 山本       |
| 5 月 9 日           | 横須賀市長沢・津久井              | 内船       |
| 5 月 12 日          | 横浜市港南区                  | 瀬川       |
| 5 月 18 日          | 天神島臨海自然教育園              | 山本       |
| 5 月 20 日          | 横須賀市若宮台                 | 柴田       |
| 5 月 20 日          | 横須賀市根岸町                 | 瀬川       |
| 5 月 25 日          | 横須賀市安浦                  | 内船       |
| 5 月 28 日          | 横浜みなと博物館                | 瀬川       |
| 6 月 2 日           | 馬堀自然教育園                 | 山本       |
| 6 月 5 日           | 馬堀自然教育園                 | 山本       |
| 6 月 5 日           | 三浦市, 横須賀市久留和            | 瀬川       |
| 6 月 8 日           | よこすか近代遺産ミュージアム (ティボディ邸) | 菊地       |
| 6 月 8 日           | 相模原市立博物館                | 瀬川       |
| 6 月 11 日          | 浦賀コミュニティセンター分館ほか        | 菊地       |
| 6 月 13 日          | 伊勢原市                    | 瀬川       |
| 6 月 15 日          | 神奈川県立金沢文庫               | 藤井       |
| 6 月 16 日～6 月 17 日 | 横須賀市中央図書館郷土資料室          | 菊地       |
| 6 月 17 日          | 新港埠頭の港湾事務所              | 菊地       |
| 6 月 18 日          | 鎌倉市                     | 藤井       |
| 6 月 22 日          | 鹿沼市文化課                  | 藤井       |
| 6 月 25 日～6 月 28 日 | 東京都八丈島                  | 内船       |
| 6 月 29 日          | 東京国立博物館                 | 藤井       |
| 6 月 30 日          | 千代ヶ崎砲台・走水低砲台ほか          | 菊地・山本    |

|             |                                               |                   |
|-------------|-----------------------------------------------|-------------------|
| 6月30日       | 松戸市                                           | 藤井                |
| 7月1日        | よこすか近代遺産ミュージアム(ティボディ邸)                        | 菊地                |
| 7月2日        | 浦賀コミュニティセンター分館ほか                              | 菊地                |
| 7月3日        | 川崎市総合自治会館                                     | 内船                |
| 7月4日        | 横須賀市安浦町1丁目                                    | 菊地                |
| 7月5日        | 市内                                            | 藤井                |
| 7月8日        | 馬堀自然教育園                                       | 内船・山本             |
| 7月10日       | 千代田区                                          | 藤井                |
| 7月15日       | 逗子市池子                                         | 内船                |
| 7月15日       | 浦賀ドック跡地                                       | 菊地                |
| 7月20日       | 浦安市                                           | 藤井                |
| 7月21日       | 大矢部弾庫跡地                                       | 萩原・菊地・内船・山本・瀬川・藤井 |
| 7月22日～7月24日 | 東京都八丈島                                        | 内船                |
| 7月25日～7月27日 | 東京都伊豆大島                                       | 内船                |
| 7月25日～27日   | 東京都伊豆大島                                       | 山本                |
| 7月28日       | 横須賀市立田戸小学校区内                                  | 山本                |
| 7月30日       | 浦賀ドック跡地ほか浦賀地区全体                               | 菊地                |
| 7月31日       | 天神島臨海自然教育園                                    | 山本                |
| 8月3日        | 逗子市池子                                         | 内船                |
| 8月18日       | 横須賀市長井                                        | 内船                |
| 8月19日       | 天神島臨海自然教育園                                    | 山本                |
| 8月24日       | 横須賀市長井                                        | 内船                |
| 8月27日       | 馬堀自然教育園                                       | 山本                |
| 9月14日       | 横須賀市長井                                        | 内船                |
| 9月19日       | 横須賀市汐入町                                       | 菊地                |
| 9月29日       | 横須賀市衣笠山公園                                     | 山本                |
| 10月5日       | 沢山池(長坂緑地)                                     | 山本                |
| 10月6日       | 市内                                            | 藤井                |
| 10月7日       | 横須賀市不入斗公園                                     | 山本                |
| 10月10日      | 横須賀市安浦町1丁目                                    | 菊地                |
| 10月12日      | 横須賀市長井                                        | 内船                |
| 10月13日      | 逗子市桜山                                         | 菊地                |
| 10月14日      | 馬堀自然教育園                                       | 山本                |
| 10月13日      | 紙の博物館                                         | 藤井                |
| 10月16日      | 逗子市池子                                         | 内船                |
| 10月19日      | 瑞穂町郷土資料館                                      | 瀬川                |
| 10月20日      | 横須賀市三春町, 横須賀市西浦賀                              | 菊地                |
| 10月21日      | 千葉大学                                          | 柴田                |
| 10月22日      | たばこと塩の博物館                                     | 瀬川                |
| 10月24日      | 館山市立博物館分館                                     | 瀬川                |
| 10月27日      | 横須賀市大津町                                       | 瀬川・菊地             |
| 11月2日       | 横須賀市長井                                        | 内船                |
| 11月11日      | 鎌倉文化交流館                                       | 藤井                |
| 11月13日      | 千代田区                                          | 藤井                |
| 11月13日      | 神奈川県立図書館                                      | 瀬川                |
| 11月16日      | 江戸東京博物館                                       | 瀬川                |
| 11月19日      | 江戸東京博物館                                       | 藤井                |
| 11月21日      | 大磯町                                           | 山本                |
| 11月23～25日   | 和歌山県立博物館, 和歌山県立自然史博物館, 和歌山市立博物館, 養翠園, くじらの博物館 | 萩原・瀬川・藤井          |
| 11月25日      | 沢山池(長坂緑地)                                     | 山本                |
| 11月30日      | 横須賀市芦名                                        | 瀬川                |

|               |                                    |       |
|---------------|------------------------------------|-------|
| 12月2日         | 千葉県立文書館                            | 藤井    |
| 12月2日         | 海老名温故館                             | 瀬川    |
| 12月7日         | 八王子博物館                             | 瀬川    |
| 12月8日         | 国立公文書館                             | 藤井    |
| 12月10日        | 野田市郷土博物館                           | 藤井    |
| 12月10日        | 野田市郷土博物館                           | 瀬川    |
| 12月12日        | 国立歴史民俗博物館                          | 瀬川    |
| 12月14日        | ずかんミュージアム銀座                        | 瀬川    |
| 12月15日        | 横須賀市芦名                             | 瀬川    |
| 12月15日        | 印刷博物館                              | 藤井    |
| 12月16日～17日    | 三重県立総合博物館, 滋賀県立琵琶湖博物館, 岐阜関ヶ原古戦場記念館 | 山本・藤井 |
| 4年1月5日        | 平塚市博物館                             | 柴田    |
| 4年1月7日        | NHK 放送博物館                          | 藤井    |
| 4年1月9日        | 馬堀自然教育園                            | 山本    |
| 4年1月9日        | 横須賀市須軽谷                            | 瀬川・藤井 |
| 4年1月14日       | 鎌倉市                                | 藤井    |
| 4年1月15日       | 天神島臨海自然教育園                         | 内船    |
| 4年2月4日        | 馬堀自然教育園                            | 山本    |
| 4年2月8日        | 横須賀市立鶴久保小学校                        | 内船    |
| 4年2月17日       | 横須賀市田浦・逗子市                         | 瀬川    |
| 4年2月18日       | 逗子市桜山                              | 菊地    |
| 4年2月22日       | 千葉大学                               | 柴田    |
| 4年3月1日        | 横須賀市深田台                            | 菊地    |
| 4年3月2日        | 馬堀自然教育園                            | 萩原    |
| 4年3月8日～9日     | 大阪市立自然史博物館, ふじのくに地球環境史ミュージアム他      | 山本    |
| 4年3月9日        | JVC ケンウッド, 横須賀市久里浜                 | 柳井・菊地 |
| 4年3月11日       | 馬堀自然教育園                            | 山本    |
| 4年3月15日～3月18日 | 鹿児島県奄美大島                           | 内船    |
| 4年3月18日       | 天神島臨海自然教育園, 笠島                     | 萩原    |
| 4年3月19日       | 東京国立博物館                            | 藤井    |
| 4年3月20日       | 平塚市博物館                             | 瀬川    |
| 4年3月23日       | 関口調剤薬局, 横須賀市上町                     | 菊地    |
| 4年3月23日       | 箱根町                                | 藤井    |
| 4年3月24日       | 神奈川県立生命の星・地球博物館                    | 瀬川    |
| 4年3月24日       | 大矢部弾庫跡                             | 山本    |
| 4年3月25日       | 国立歴史民俗博物館                          | 藤井    |
| 4年3月29日       | 静岡市立登呂博物館                          | 藤井    |
| 4年3月29日       | 北茨城市漁業歴史資料館                        | 瀬川    |
| 4年3月30日       | 千葉県立房総のむら                          | 藤井    |

計 128 件

## (2) 研究発表・執筆

## ア 口頭発表等(ポスター発表含む)

内船俊樹 2021. データ記載の書式について. 三浦半島昆虫研究会 4 月例会. 4 月 18 日. (横須賀市自然・人文博物館. (口頭発表))

内船俊樹 2021. クスベニヒラタカスミカメについて. 三浦半島昆虫研究会 4 月例会. 4 月 18 日. (横須賀市自然・人文博物館. (口頭発表))

棚橋優花・渡邊謙太・山本 薫・村上哲明・加藤英寿 2021. 広域分布種サクラソウ科ハマボッスの小笠原諸

島における夜行性昆虫へのポリネーターシフト. 日本植物学会第 85 回大会. 9 月. 東京都立大学・オンライン. (ポスター発表)

川崎七海・中臺亮介・大西 亘・西田佐知子・山本 薫・岩元明敏・岩崎貴也 2021. 環境ニッチと生物間相互作用が植物の共起に与える影響: 神奈川県のキク科植物を用いた解析. 日本植物学会第 85 回大会. 9 月. 東京都立大学・オンライン. (口頭発表)

川崎七海・中臺亮介・大西 亘・西田佐知子・山本 薫・岩元明敏・加藤美砂子・岩崎貴也 2021. 神奈川県のキク科植物を対象にした植物の共起非共起パターンの解析: 生物間相互作用が与える影響. 第 53 回種生物学シンポジウム. 12 月. オンライン・東北. (ポスター発表)

内船俊樹 2022. 公園を「展示」する一隣接する公園と博物館を接続する試み—. 第 29 回全国科学博物館協議会研究発表大会. 4 年 2 月 18 日. オンライン会議. (ポスター発表)

川崎七海・中臺亮介・大西 亘・西田佐知子・山本 薫・岩元明敏・加藤美砂子・岩崎貴也 2022. 植物の共起を決める要因: 神奈川県の全維管束植物を対象とした網羅的解析. 日本植物分類学会第 21 回大会. 4 年 3 月. オンライン. (ポスター発表)

川崎七海・中臺亮介・大西 亘・西田佐知子・山本 薫・岩元明敏・加藤美砂子・岩崎貴也 2022. 環境フィルタリングと生物間相互作用が植物の共起に与える影響: 神奈川での解析例. 第 69 回日本生態学会. 4 年 3 月. オンライン. (ポスター発表)

計 8 件

## イ 論文等執筆

菊地勝広 2021. 横須賀製鉄所副首長ティボディエの家. 有隣, (577): 2. 株式会社有隣堂. (11 月).

Shibata K. 2022. Development of hydrological equations from modern rivers on convergent margins and applications to fluvial successions in rock records. 243pp. PhD thesis, Graduate School of Science and Engineering, Chiba University. (January, 2022)

古橋龍星・萩原清司・本村浩之 2022. 奄美大島から得られた日本初記録のユカタハゼ族魚類モンロユカタハゼ(新称). 日本動物分類学会誌, (52): 32-36. (4 年 2 月)

松浦啓一・萩原清司 2022. 加計呂麻島と奄美大島北部で発見されたアマミホシゾラフグの産卵巣. 横須賀市博研報 (自然), (69): 19-23. (4 年 3 月)

内船俊樹・齋藤 理 2022. 横須賀市自然・人文博物館

所蔵「鎌倉市十二所産甲虫類コレクション」の再検討. 横須賀市博研報 (自然), (69): 25-42. (4 年 3 月)

藤井明広 2022. 天保 11 年 (1840), 大田和村百姓浅葉富蔵の旅—「日光山・善光寺・秩父入湯順道覚」の検討を中心に—. 横須賀市博研報 (人文), (66): 13-25. (4 年 3 月)

藤井明広 2022. 寛政期における「遠国御用」遂行の事前準備. 横須賀市博研報 (人文), (66): 27-56. (4 年 3 月)

瀬川 渉 2022. 横須賀市須軽谷上の里の丸石道祖神. 横須賀市博研報 (人文), (66): 57-66. (4 年 3 月)

萩原清司 2022. 横須賀市博物館資料集 46 号「横須賀市自然・人文博物館所蔵魚類資料目録 (V) 横須賀市自然・人文博物館および相模湾海洋生物研究会収集奄美群島産魚類目録」. 横須賀市博資料集, (46): 1-127, 4 図版. (4 年 3 月)

田中徳久・勝山輝男・秋山幸也・大西 亘・田村 淳・山本 薫・石田祐子 2022. 維管束植物. 神奈川県環境農政局緑政部自然環境保全課・神奈川県立生命の星・地球博物館編, 神奈川県レッドデータブック 2022 植物編: 44-326. 神奈川県, 横浜. (4 年 3 月)

計 10 件

## ウ 書籍等執筆

柴田健一郎 2021. 足跡化石から探る太古の世界—恐竜からナウマンゾウまで—. 54 ページ. 横須賀市自然・人文博物館. (7 月)

藤井明広 2022. 旗本仁賀保家ゆかりの神社. 秋田県にかほ市教育委員会・にかほ市郷土史研究会編 雄波郷, (16): 19-39. (4 年 3 月)

藤井明広・松本 勝 2022. 第七章 地域社会の変容と村 第一節～第三節. 熊谷市史資料編 5 近世 (妻沼地域編): 712-716, 718-797. 熊谷市 (4 年 3 月)

藤井明広・松本 勝 2022. 第八章 幕末期の妻沼地域 第一節 幕末期の混乱と村々の対応. 熊谷市史資料編 5 近世 3 (妻沼地域編): 800-802, 808-849. 熊谷市 (4 年 3 月)

計 4 件

## エ その他執筆

内船俊樹 2021. 砂浜海岸の温度と生き物の関係. まなびかんニュース 4 月号: 12. 横須賀市／横須賀市生涯学習財団. (4 月).

内船俊樹 2021. 本プロジェクト発足の背景 (虫びと聴き書きプロジェクト第 1 回). 石路 (つわぶき), (177

別冊): 1. (4 月).

藤井明広 2021. 新刊案内 川田純之『徘徊する浪人たち - 近世下野の浪人社会 -』(随想社, 2020 年). 地方史研究, 71 (2): 78-79. (4 月)

山本 薫 2021. 平和中央公園でみられる海岸の植物. まなびかんニュース 5 月号: 12. 横須賀市／横須賀市生涯学習財団. (5 月).

内船俊樹 2021. 季節の自然図鑑第 41 回 中央公園のセミのぬけがらしらべ. よこすか ECO 通信, (41): 3. 横須賀市, 環境教育・環境学習ネットワーク会議. (6 月)

山本 薫 2021. 平和中央公園でみられる横須賀の海岸植物とどんぐり. よこすか ECO 通信, (42): 3. 横須賀市, 環境教育・環境学習ネットワーク会議. (9 月)

内船俊樹 2021. 横須賀市で確認されたクスベニヒラタカスミカメとその被害. かまくらちょう, (98): 15-21. (11 月)

柴田健一郎 2021. 荒崎の地層. よこすか ECO 通信, (43): 4. 横須賀市, 環境教育・環境学習ネットワーク会議. (12 月)

萩原清司 2022. ウキゴリのなかま. よこすか ECO 通信,

(44): 4. 横須賀市, 環境教育・環境学習ネットワーク会議. (4 年 3 月)

萩原清司 2022. ハゼの話. まなびかんニュース 2 月号: 12. 横須賀市／横須賀市生涯学習財団. (4 年 2 月)

山本 薫・内船俊樹 2022. 猿島ならではの植物・昆虫. まなびかんニュース 3 月号: 12. 横須賀市／横須賀市生涯学習財団. (4 年 3 月)

計 11 件

### (3) 学術研究団体・会議等協力

○日本分類学会, 連合日本魚類学会代表. 日本魚類学会, 年間 (担当: 萩原)

○日本節足動物発生学会, 編集幹事, 年間 (担当: 内船)

○第 61 回社会教育研究全国集会, 第 17 分科会世話人, 4 月～9 月 (内船)

○日本植物分類学会, ニュースレター幹事, 年間 (担当: 山本)

○日本植物分類学会第 21 回大会 (神奈川大会), 実行委員. 日本植物分類学会, 年間 (担当: 山本)

○歴史学会, 理事 (編集担当), 年間 (担当: 藤井)

《制作物（缶バッジ）》



オオシマザクラ



すかぞう



ユーくん



べるり



萩風



不知火



浜風



清輝



陸奥



アオウミウシ



ハマオモト



てんのすけとかさじろう

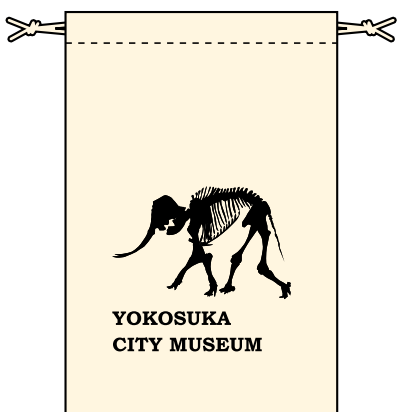
《制作物（巾着）》



ユーくん



すかぞう



ナウマンソウ骨格

## 9 分類整理保存事業

### (1) 資料の寄贈・借用

#### ア 寄贈資料

- 旧海軍及び池田家資料一式 5月9日 池田良孝 歴史
- 金塚彰夫旧蔵資料抜粋一式 5月27日 金塚彰夫・永子・朋子 歴史
- オオワニ1点 6月5日 京急油壺マリンパーク 動物
- 襖下張り文書 6月24日 長塚千代子 歴史
- アサヒグラフ1冊 6月24日 山本直樹 歴史
- 斎藤八十旧蔵資料一式 7月4日 斎藤八郎 歴史
- 大日本帝国海軍銘板1点 7月5日 新田純子 歴史
- 曲物師製作のおひつ, せいろ 7月16日 望月孝之 民俗
- ナナフシモドキ2点 7月20日 松本美希 動物
- サンショウウオ標本4点 (ナガトサンショウウオ副模式標本1点, イズモサンショウウオ副模式標本2点, ニホウサンショウウオ副模式標本1点) 7月25日 菅原弘貴 動物
- 三浦半島産魚類110点 10月1日 工藤孝浩 動物
- 永橋為茂関係書類一式 10月13日 永橋為親 歴史
- ほたる籠4点, オオミズアオ1点, 未展翅蝶類資料群1式 10月15日 鈴木通弘 動物
- 『蛭』1冊 10月15日 鈴木通弘 図書
- 岩石資料9点 10月15日 中澤仁史 地球科学
- 干鰯に関する古文書2点 10月15日 塚本貞美 歴史
- 笹生家歴史資料一式 10月19日 大槻恵子・村松亮子 歴史
- 昭和30年代国威顕彰の碑写真(米軍兵と日本の警察官)1点 10月19日 吉田節雄 歴史
- 絵ハガキ(呉・辻堂)17枚 10月21日 江川由紀 歴史
- 浦賀船渠創立20周年記念記念品入れ化粧箱1点 11月25日 金井智也乃 歴史
- 川島洋二氏旧蔵資料一式 12月8日 川島洋二 歴史
- ガントリークレーン写真, 陸奥図書各1点 12月15日 市村公良 歴史
- 横須賀海軍建設部銘入メジャー30m1点 12月21日 小金澤勝太郎 歴史
- 旧日本海軍九一式中間練習機プロペラ1点(横須賀海

軍工廠製) 12月22日 古池真裕 歴史

- 釣具(久里浜の漁師製作) 4年1月6日 大黒清隆 民俗
- レンガ1点 4年2月8日 高橋淳一 歴史
- 田中稔旧蔵航空機模型1点 4年2月18日 福田公子 歴史
- SPレコーダー一式 4年2月18日 市村公良 民俗
- 貝化石資料コンテナ2箱 4年2月25日 西川徹 地球科学
- 植物化石資料10点 4年3月21日 日守保代 地球科学
- 旧横須賀海軍工廠軍艦翔鶴進水式記念文鎮1点 4年3月20日 塚本宏 歴史
- 記念絵はがき, 記念切手シート等199点 4年3月23日 石川登美子 歴史
- アルバム1点 4年3月23日 手塚サカエ 歴史
- 東邦化学工業株式会社関連パンフレット等一式 4年3月25日 岩楯英子 歴史

#### イ 借用資料

- 船筆筒(常設展品として引き続き借用中) 1点 4月1日 幸保富雄 歴史

### (2) 登録資料(括弧内は新規登録資料)

#### ア 自然科学資料

- 地球科学 6,278件(407件)
  - 古生物資料 2,881件(191件)
  - 岩石資料 935件(85件)
  - 鉱物資料 326件(131件)
  - 地質調査報告書 2,136件(0件)
- 動物 95,593件(102件)
  - 昆虫資料 36,414件(5件)
  - 甲殻類資料 1,071件(0件)
  - 軟体動物資料 9,859件(0件)
  - 魚類資料 46,268件(92件)
  - 両生爬虫類資料 587件(4件)
  - 鳥類資料 984件(1件)
  - 哺乳類資料 410件(0件)
- 植物 79,043件(771件)
  - 維管束植物 71,346件(771件)
  - 藻類 4,676件(0件)
  - 蘚苔類 58件(0件)
  - 菌類 2,963件(0件)

## イ 人文科学資料

考古 84 件 (0 件)

歴史 413 件 (0 件)

登録銃砲刀剣類 18 件 (0 件)

民俗 739 件 (2 件)

## ウ 図書資料

自然科学 99,738 件 (502 件)

人文科学 69,521 件 (1,122 件)

## (3) 資料の利用

| 資料名                                                 | 利用形態 (用途) | 利用日 / 期間                  | 利用者 (所属)                                | 部門   |
|-----------------------------------------------------|-----------|---------------------------|-----------------------------------------|------|
| 動物考古学資料                                             | 実見・整理     | 年間                        | 剣持輝久 (横須賀市文化財審議会委員)                     | 考古   |
| 乗越遺跡出土須恵器 6 点, 同瓦 8 点                               | 貸出        | 4 月 1 日～12 月 15 日         | 海老名市教育委員会                               | 考古   |
| パーマ器 1 点, モデルウィッグ 1 点                               | 貸出        | 4 月 1 日～5 月 20 日          | 神奈川県立神奈川近代文学館                           | 民俗   |
| 田戸台横穴墓 1 号墳出土結合式釣針, 鴨居八幡神社貝塚出土結合式釣針                 | 実見        | 4 月 16 日                  | 山本美喜 (奈良大学大学院)                          | 考古   |
| ヴェルニー記念館                                            | 撮影・展示     | 4 月 27 日                  | ティボディエ邸ミュージアム                           | 歴史   |
| 考古資料実測図 (考古学論攷Ⅲ「有角石器の研究史・集成・課題」に掲載 (4 年 3 月刊行))     | 貸出・掲載     | 4 月 27 日                  | 奈良県立橿原考古学研究所                            | 考古   |
| フロラン家族写真                                            | 展示        | 4 月 28 日                  | ティボディエ邸ミュージアム                           | 歴史   |
| 鉦切遺跡出土土師器                                           | 実見・計測     | 4 月 28 日                  | 山田琴子 (埼玉県立さきたま史跡の博物館)                   | 考古   |
| 横須賀層産化石                                             | 閲覧        | 6 月 5 日, 7 月 7 日, 8 月 7 日 | 三井翔太 (日本海洋生物研究所), 樽 創 (神奈川県立生命の星・地球博物館) | 地球科学 |
| 横須賀製鉄所の写真                                           | 掲載        | 6 月 6 日                   | 佐賀城本丸歴史館                                | 歴史   |
| 鉦切遺跡出土土師器 7 点, 鉦切遺跡発掘写真 2 点                         | 貸出・展示     | 6 月 18 日～9 月 15 日         | 埼玉県立さきたま史跡の博物館                          | 考古   |
| 浦賀ドック設計図の画像 (「浦賀レンガドックガイドブック」(仮称)に掲載)               | 貸出・掲載     | 6 月 26 日                  | トライアングル                                 | 歴史   |
| 浦賀船渠古写真史料の画像 (「浦賀ドックと近代横須賀の街並み」のチラシに掲載)             | 貸出・掲載     | 6 月 29 日                  | 浦賀コミュニティセンター                            | 歴史   |
| 横須賀港一覧絵図画像 (配布資料に掲載)                                | 貸出・掲載     | 7 月 6 日                   | 神奈川県ガイド協会配布資料                           | 歴史   |
| 「三浦半島をとりまく地形」の写真 (NPO 法人産業クラスター研究会会報に掲載)            | 撮影・掲載     | 7 月 6 日                   | NPO 法人産業クラスター研究会                        | 地球科学 |
| 横須賀製鉄所明治 22 年地図画像 (市民大学の講演で利用)                      | 貸出        | 7 月 7 日                   | 横須賀市生涯学習財団                              | 歴史   |
| 海図                                                  | 閲覧        | 7 月 7 日, 8 月 19 日         | 蟹江康光・蟹江由紀 (ジオ神奈川)                       | 地球科学 |
| 地質調査報告書 16 点                                        | 貸出        | 8 月 3 日                   | 横須賀市都市部公共建築課                            | 地球科学 |
| 吉井貝塚出土骨角製釣針等 23 点                                   | 貸出        | 8 月 20 日～4 年 1 月 14 日     | 江戸東京博物館                                 | 考古   |
| 横須賀軍港関係古図書・観音崎灯台設計図面 (灯台部会紹介動画に掲載)                  | 貸出・掲載     | 8 月 24 日                  | 全国近代化遺産活用連絡協議会                          | 歴史   |
| ギフチョウ標本                                             | 貸出        | 9 月～2 月                   | 神奈川県立横須賀高等学校                            | 動物   |
| 榎戸貝塚出土骨角器                                           | 実見        | 9 月 14 日, 9 月 17 日        | 横須賀市文化財審議会委員・市生涯学習課文化財係                 | 考古   |
| 吉井貝塚出土資料                                            | 実見        | 9 月 14 日, 9 月 17 日        | 千葉 毅 (神奈川県立歴史博物館)・野内秀明 (市生涯学習課文化財係)     | 考古   |
| ボーリングコア資料                                           | 貸出        | 9 月 15 日                  | 横須賀市立豊島小学校                              | 地球科学 |
| 考古資料                                                | 実見        | 9 月 17 日                  | 駒澤大学 4 年生                               | 考古   |
| メラング家伝来資料画像 (「橙光」, 「お雇い外国人と灯台」に掲載)                  | 貸出・掲載     | 9 月 23 日                  | 橙光会                                     | 歴史   |
| 北海道産生物資料 (イトウのレプリカ, シノリガモ剥製, ヤマガラ剥製, エゾフクロウ剥製各 1 件) | 貸出・展示     | 10 月 1 日                  | 槐 真史 (あつぎ郷土博物館)                         | 動物   |

|                                                             |       |                      |                                    |            |
|-------------------------------------------------------------|-------|----------------------|------------------------------------|------------|
| 奄美大島産ユカタハゼ属の一種 1 件                                          | 貸出    | 10 月 8 日             | 本村浩之（鹿児島大学）                        | 動物         |
| 三浦半島産化石資料 2 件（平塚市博物館特別展示で展示）                                | 貸出・展示 | 10 月 13 日            | 野崎 篤（平塚市博物館）                       | 地球科学       |
| 教材セット                                                       | 貸出    | 10 月 14 日            | 神奈川県立武山養護学校                        | 地球科学・植物・民俗 |
| 地質調査報告書 26 点                                                | 貸出    | 10 月 20 日            | 横須賀市上下水道局技術部下水道管渠課                 | 地球科学       |
| 浦賀船渠古写真史料の画像のデータ（レンガドック活用センターで展示）                           | 貸出・展示 | 10 月 21 日            | 文化スポーツ観光部観光課                       | 歴史         |
| 久里浜伝福寺裏遺跡出土鹿角製銚                                             | 実見    | 10 月 21 日            | 風間智裕（駒澤大学）                         | 考古         |
| 横須賀港一覧絵図の画像（ロビーで展示）                                         | 貸出・展示 | 10 月 27 日            | ホテルニューポートヨコスカ                      | 歴史         |
| 植物資料                                                        | 閲覧    | 10 月 27 日            | 早川宗志（ふじのくに地球環境史ミュージアム）             | 植物         |
| ペリー立像の画像                                                    | 貸出・展示 | 10 月 29 日            | ペリー記念館                             | 歴史         |
| カワクモハゼ標本 1 件                                                | 貸出    | 10 月 31 日            | 林 公義（宮内庁生物学研究所）                    | 動物         |
| 「弾琴男子椅座埴輪」の画像（「宗時行「箏の音楽のいろは（楽器編）」（4 年 1 月 1 日発行）に掲載）        | 貸出・掲載 | 12 月 14 日            | 邦楽ジャーナル                            | 考古         |
| 動物骨格標本（ノウサギ，ホンダタヌキ，ニホンザル，ハト）                                | 貸出    | 12 月 19 日            | 榎本 薫（横浜市立永田台小学校）                   | 動物         |
| 葉山町産のナンセンハゼの写真                                              | 貸出    | 12 月 21 日            | 林 公義（宮内庁生物学研究所）                    | 動物         |
| 高坂貝塚・B 貝塚貝層断面写真（遠藤邦彦『縄文海進—海と陸の変遷と人々の適応—』に掲載）                | 貸出・掲載 | 12 月 22 日            | 富山房インターナショナル                       | 考古         |
| 海外産ゾウムシ類標本                                                  | 閲覧    | 12 月 22 日            | 東京農業大学大学院 1 年                      | 動物         |
| 地質調査報告書 4 点                                                 | 貸出    | 12 月 23 日            | 横須賀市上下水道局技術部下水道管渠課                 | 地球科学       |
| 横須賀層産化石                                                     | 閲覧    | 4 年 1 月 16 日         | 三井翔太（日本海洋生物研究所）                    | 地球科学       |
| 横須賀製鉄所の写真（神奈川大学建築学科卒業論文と梗概集へ掲載）                             | 貸出・掲載 | 4 年 1 月 26 日         | 神奈川大学 4 年生                         | 歴史         |
| 市指定重要文化財横須賀製鉄所製図工長メラング家旧蔵資料の重要文化財指定時の答申資料（横須賀市文化財調査報告書に掲載）  | 貸出・転載 | 4 年 2 月 1 日          | 横須賀市生涯学習課                          | 歴史         |
| 横須賀製鉄所の写真（「橙光」へ掲載）                                          | 貸出・掲載 | 4 年 2 月 1 日          | 橙光会                                | 歴史         |
| 鴨居上ノ台遺跡出土鉄剣の図面（「古代文化」73 巻第 4 号に掲載）                          | 貸出・掲載 | 4 年 2 月 9 日          | 古代学協会                              | 考古         |
| 高原北遺跡出土鉄剣の図面（「弥生布の生産と展開—秦漢以前に弥生文化に渡来した中国中原系絹織物の研究成果報告書」に掲載） | 貸出・掲載 | 4 年 2 月 9 日          | 奈良大学                               | 考古         |
| たらい，洗濯板，ガンドウ，お釜，箱まくら，わらじ，お膳，炭火アイロン，ピンボウドクリ，かつお節削り器，昔の教科書    | 貸出    | 4 年 2 月 9 日～3 月 31 日 | 横須賀市立小原台小学校                        | 民俗         |
| 博物館出版物（発光生物）データ                                             | 閲覧    | 4 年 3 月 10 日         | 愛媛大学 2 年生                          | 動物         |
| スチームハンマー写真（レンガドックかわら版 第 17 号に掲載）                            | 貸出・掲載 | 4 年 3 月 24 日         | レンガドック活用イベント実行委員会（横須賀市都市部 まちなみ景観課） | 歴史         |
| ヒゲワラスボ標本 9 件                                                | 貸出    | 4 年 3 月 29 日         | 前田 健（沖縄科学技術大学院大学）                  | 動物         |

計 53 件

## (4) 資料の保守・保存環境保全

## ア 文化財害虫と空中浮遊菌類のくん蒸および調査

## ○燻蒸消毒

文化財収蔵庫・第3資料室・第1民俗資料室・第1歴史資料室において殺菌・殺虫効果のある燻蒸剤「アルプ」を使用した燻蒸をおこなった。調査研究室・大型資料室・展示室の一部においてピレスロイド系殺虫剤の空中噴霧による燻蒸を行った。いずれも効果判定材料である供試虫の致死率 100% が認められた。6 月 27 日～7 月 5 日。(担当：瀬川・山本)

## ○調査

文化財収蔵庫・第3資料室・調査研究室・大型資料室・第1, 第2民俗資料室・第1, 第2歴史資料室・人文資料室・恒温恒湿室・資料整理室・考古資料室・視聴覚資料室・自然研究室・図書室・特別展示室・特別展示準備室・人文館展示室・自然館展示室において、インセクトトラップ・フェロモントラップを設置し、歩行性昆虫類やタバコシバンムシなどの文化財害虫の生息状況を調査した。各所でチャタテムシ類が捕獲され、一部では歩行性昆虫類も捕獲された。シバンムシ類の捕獲はほぼなかった。捕獲数が多い個所には、樹脂蒸散性防殺虫剤を設置した。7 月 4 日～8 月 11 日。(担当：瀬川・山本)

## イ 国指定重要文化財スチームハンマーの保存環境測定

## 1) 測定場所

ヴェルニー記念館の室内外の計 2 地点。

## 2) 測定項目および方法

①濾過捕集による「浮遊粒子状物質 (SPM)」の重量濃度測定, ②ザノレッツマン吸光光度法による「二酸化窒素」の濃度測定, ③濾過捕集による「粒子状酸性成分」濃度のイオンクロマト分析の 3 項目で, ①, ②は日中時間内の 1 時間値を 1 回, ③は日中時間内の 6 時間値を 1 回測定した。

## 3) 測定結果

測定結果は次の表のとおり。アルデヒドにおける不検出値は、「ホルムアルデヒド 8 以下, アセトアルデヒド 5 以下」で, 粒子状酸性成分における不検出値は, 「塩化物イオン 0.069 以下, その他 0.17 以下」とした。気象条件等も併せて記録した。

表 令和 3 年度 測定結果一覧

| 調査項目                         | 調査日 / 場所                    |         | 8 月 12 日 |         | 4 年 3 月 11 日 |    |
|------------------------------|-----------------------------|---------|----------|---------|--------------|----|
|                              | 室内                          | 室外      | 室内       | 室外      | 室内           | 室外 |
| 天候                           | ---                         | 曇       | ---      | 晴       |              |    |
| 気温 (℃)                       | 26                          | 27      | 18       | 8.3     |              |    |
| 湿度 (%)                       | 65                          | 81      | 33       | 20      |              |    |
| 風向                           | ---                         | 東       | ---      | 北       |              |    |
| 風速 (m/s)                     | ---                         | 0.5-1.6 | ---      | 0.8-1.6 |              |    |
| 浮遊粒子状物質 (mg/m <sup>3</sup> ) | 0.002                       | 0.009   | 0.001    | 0.003   |              |    |
| ホルムアルデヒド (ppb)               | 不検出                         | 不検出     | 不検出      | 不検出     |              |    |
| アセトアルデヒド (ppb)               | 不検出                         | 不検出     | 不検出      | 不検出     |              |    |
| 酸性成分                         | 塩化物イオン (μg/m <sup>3</sup> ) | 29      | 57       | 27      | 54           |    |
|                              | 亜硝酸イオン (μg/m <sup>3</sup> ) | 不検出     | 不検出      | 不検出     | 不検出          |    |
|                              | 硝酸イオン (μg/m <sup>3</sup> )  | 15      | 23       | 10      | 21           |    |
|                              | 硫酸イオン (μg/m <sup>3</sup> )  | 41      | 81       | 53      | 85           |    |

《リーフレット》



2021年4月～8月（表）



2021年4月～8月（裏）



2021年9月～2022年3月（表）



2021年9月～2022年3月（裏）

## 10 管理事業

## (1) 施設利用

## ア 団体による見学等利用

## (ア) 学校教育関係

| 日付                  | 学校・学年等         | 施設    |
|---------------------|----------------|-------|
| 4月15日               | 北里大学海洋生命科学部    | 天神島   |
| 4月15日               | 横須賀市立荻野小学校     | 天神島   |
| 5月1日                | 神奈川大学学芸員課程     | 天神島   |
| 5月11日, 5月13日        | 慶應義塾志木高等学校     | 天神島   |
| 5月14日               | 横須賀市立不入斗中学校    | 本館    |
| 5月18日, 5月21日, 11月5日 | 横須賀市立馬堀小学校     | 馬堀    |
| 5月26日, 7月8日         | シモゾノ学園国際動物専門学校 | 天神島   |
| 5月28日               | 横須賀市立逸見小学校     | 本館    |
| 5月29日               | 神奈川県立生田高等学校    | 天神島   |
| 6月1日                | 横須賀市立走水小学校     | 馬堀    |
| 7月14日, 11月19日       | 横須賀市立養護学校      | 本館    |
| 10月13日              | 湘南芽吹高等学院       | 本館    |
| 10月16日              | 埼玉県立不動岡高等学校    | 本館    |
| 11月11日              | 横須賀市立城北小学校     | 本館    |
| 11月19日              | 横須賀市立諏訪小学校     | 本館    |
| 11月26日              | 横浜市立ろう特別支援学校   | ヴェルニー |
| 11月30日              | 横須賀市立桜小学校      | 本館    |
| 11月30日              | 横須賀市立鴨居小学校     | 本館    |
| 11月30日              | 横須賀市立大津中学校     | 本館    |
| 12月2日               | 横須賀市立大矢部小学校    | 本館    |
| 12月3日               | 三浦市立三崎小学校      | 本館    |
| 12月4日               | 帝京平成大学学芸員課程    | 馬堀    |
| 12月10日              | 川崎市立聾学校小学部     | 本館    |
| 12月21日              | 横須賀市立森崎小学校     | 本館    |
| 12月23日              | 横須賀市立田戸小学校     | 本館    |
| 4年1月28日             | 横須賀市立鴨居小学校     | 本館    |
| 4年2月18日             | 東洋大学国際観光学部須賀ゼミ | ヴェルニー |
| 4年3月23日             | 横須賀市立豊島小学校     | 本館    |
| 4年3月23日             | 横須賀市立汐入小学校     | 本館    |
| 4年3月23日             | 清泉女学院中学校2学年    | 本館    |

計 30 件, 35 回

## (イ) 学校教育以外

| 日付            | 団体名                 | 施設  |
|---------------|---------------------|-----|
| 4月16日         | ラリガラス               | 馬堀  |
| 5月4日          | スタジオみらい逗子田浦         | 本館  |
| 5月23日         | 横須賀シティガイド           | 本館  |
| 5月25日         | しんわピノキオ保育ランド        | 天神島 |
| 6月12日         | いいだばし・えびす幼児教室       | 天神島 |
| 6月22日, 4年1月7日 | 早稲田こどもフィールドサイエンス教室  | 天神島 |
| 6月25日         | 杜ちやいど園              | 天神島 |
| 6月25日         | YBS にじのそら保育園        | 本館  |
| 7月1日, 9月28日   | 学童保育所まぼりっ子クラブ       | 馬堀  |
| 7月4日          | ボーイスカウト横須賀第15団ビーバー隊 | 馬堀  |

|                |                           |       |
|----------------|---------------------------|-------|
| 7月4日           | 神奈川県青少年センター               | 天神島   |
| 7月8日, 7月9日     | 横須賀幼稚園                    | 本館    |
| 7月13日          | 横須賀市立諏訪幼稚園                | 本館    |
| 7月17日          | 青い保育園                     | 天神島   |
| 7月18日          | ものがたり文化の会                 | 馬堀    |
| 7月21日          | 横須賀上町教会附属めぐみ幼稚園           | 天神島   |
| 7月29日          | 森林インストラクター東京会<br>森の自然倶楽部  | 天神島   |
| 7月30日          | ワーカーズ・コレクティブティンクルおおぐすぐくどう | 天神島   |
| 8月5日           | 上町学童たんぼぼクラブ               | 本館    |
| 8月6日           | 横須賀市教育研究所, 自然人文博物館        | 天神島   |
| 8月11日          | はすのみ学童クラブ                 | 本館    |
| 8月19日, 4年3月30日 | 中央学童クラブ                   | 本館    |
| 10月19日         | うさぎ保育園                    | 本館    |
| 10月22日         | おひさま保育室                   | 天神島   |
| 10月26日         | 葉山にこここ保育園                 | 本館    |
| 10月28日         | 衣笠保育園                     | 本館    |
| 10月29日         | NPO 法人こどもの夢サポートセンター       | 本館    |
| 10月30日         | 放課後等デイサービスココノワ都筑          | 本館    |
| 11月2日          | ゆうゆう坂本相談教室                | 本館    |
| 11月4日          | うさぎ保育園                    | 天神島   |
| 11月5日          | 横須賀市立武山保育園                | 本館    |
| 11月9日, 12月14日  | キッズアカデミーぎんのすずこども園         | 本館    |
| 11月21日         | うみやまさいど                   | 本館    |
| 11月27日         | おおくすエコミュージアムの会            | 天神島   |
| 12月1日          | コアラ保育園                    | 馬堀    |
| 12月5日          | 横須賀海洋少年団                  | 本館    |
| 12月16日         | 横須賀市立諏訪幼稚園                | 本館    |
| 12月16日         | 桜が丘東映・福祉サポートセンター          | 馬堀    |
| 4年1月15日        | 神奈川県退職公務員連盟横須賀支部          | 本館    |
| 4年3月4日         | インターナショナル・ランゲージ・ハウス幼稚園    | 天神島   |
| 4年3月12日        | 神奈川県建築士会横須賀支部女性委員会        | ヴェルニー |
| 4年3月15日        | 津久井幼稚園                    | 本館    |

計 42 件, 47 回

## イ 調査・研究等利用

| 日付                                                                         | 団体名                 | 施設  |
|----------------------------------------------------------------------------|---------------------|-----|
| 年間                                                                         | 横須賀植物会              | 本館  |
| 年間                                                                         | 神奈川県植物誌調査会          | 本館  |
| 年間                                                                         | 三浦半島昆虫研究会           | 本館  |
| 4月9日, 5月14日, 6月11日, 7月9日, 10月8日, 11月12日, 12月10日, 4年1月14日, 4年2月11日, 4年3月11日 | 好古会                 | 本館  |
| 4月27日                                                                      | 東京海洋大学藻類学研究室 大学院生1人 | 天神島 |

|                                            |                               |     |
|--------------------------------------------|-------------------------------|-----|
| 5月18日～20日                                  | 東京都立大学植物系統分類学研究室 大学院生 1 人     | 天神島 |
| 5月23日                                      | 神奈川県立横須賀高等学校 2 学年 (プリンキピア II) | 天神島 |
| 6月10日, 6月17日, 8月5日, 10月28日, 12月16日, 4年3月3日 | 神奈川県立横須賀高等学校 1 学年 (プリンキピア I)  | 本館  |

|               |            |    |
|---------------|------------|----|
| 6月20日, 12月19日 | 広尾地学研究会    | 本館 |
| 11月14日        | 相模湾海洋生物研究会 | 本館 |

計 10 件, 27 回

※ 馬堀：馬堀自然教育園, 天神島：天神島臨海自然教育園, ヴェルニー：ヴェルニー記念館

## (2) 開館園日数・入館園者数

| 月  | 本 館 |        | 馬堀自然教育園 |       | 天神島臨海自然教育園 |        | ヴェルニー記念館 |        | 合計      |
|----|-----|--------|---------|-------|------------|--------|----------|--------|---------|
|    | 日数  | 入館者    | 日数      | 入園者   | 日数         | 入園者    | 日数       | 入館者    | 入館園者数   |
| 4  | 26  | 6,319  | 26      | 185   | 26         | 4,967  | 26       | 4,014  | 15,485  |
| 5  | 26  | 6,263  | 26      | 382   | 26         | 6,588  | 26       | 8,501  | 21,734  |
| 6  | 24  | 4,059  | 26      | 300   | 26         | 3,675  | 26       | 6,972  | 15,006  |
| 7  | 26  | 4,703  | 27      | 151   | 27         | 5,213  | 27       | 4,358  | 14,425  |
| 8  | 19  | 4,853  | 19      | 79    | 19         | 4,462  | 19       | 2,851  | 12,245  |
| 9  | 6   | 741    | 6       | 43    | 0          | 0      | 0        | 0      | 784     |
| 10 | 27  | 4,795  | 27      | 71    | 27         | 3,544  | 27       | 5,810  | 14,220  |
| 11 | 25  | 5,457  | 25      | 137   | 25         | 3,421  | 25       | 6,246  | 15,261  |
| 12 | 24  | 3,942  | 24      | 135   | 24         | 2,065  | 24       | 3,768  | 9,910   |
| 1  | 24  | 4,999  | 24      | 81    | 24         | 2,423  | 24       | 2,873  | 10,376  |
| 2  | 18  | 3,324  | 24      | 89    | 24         | 2,957  | 24       | 3,300  | 9,670   |
| 3  | 27  | 5,981  | 27      | 188   | 27         | 3,678  | 27       | 5,512  | 15,359  |
| 計  | 272 | 55,436 | 281     | 1,841 | 275        | 42,993 | 275      | 54,205 | 154,475 |

### ※臨時休館園

#### 本館

6月29日～7月1日：館内収蔵資料の燻蒸作業のため

8月24日～9月23日：新型コロナウイルス感染症拡大のため

4年2月15日～2月20日電気設備の改修工事に伴う停電のため

#### 馬堀自然教育園

8月24日～9月23日：新型コロナウイルス感染症拡大のため

#### 天神島臨海自然教育園

8月24日～9月30日：新型コロナウイルス感染症拡大のため

#### ヴェルニー記念館

8月24日～9月30日：新型コロナウイルス感染症拡大のため

## (3) 人 事

- 4月1日 転入 課長 柳井栄美 (教育総務部生涯学習課から)
- 4月1日 転入 再任用 北原一郎 (教育総務部生涯学習課から)
- 4年3月31日 転出 館長 佐々木暢行 (衣笠行政センターへ)
- 4年3月31日 転出 青木微笑 (教育総務部生涯学習課へ)

## (4) 予 算

| 費 目       | 予算額 (千円) |
|-----------|----------|
| 資料収集調査研究費 | 1,242    |
| 資料分類整理保存費 | 8,486    |
| 展示教育普及費   | 11,522   |
| 営繕工事費     | 428,681  |
| 博物館本館費    | 63,964   |
| 自然教育園費    | 22,325   |
| ヴェルニー記念館費 | 8,912    |
| 計         | 545,132  |

**(5) 営繕工事****ア 人文博物館外壁改修工事**

人文博物館の外壁をタイルから塗装壁に変更した。

**イ 自然・人文博物館受変電設備改修工事**

自然・人文博物館の受変電設備を更新した。

**ウ 自然博物館エレベーター改修工事**

自然博物館のエレベーターを更新した。

**エ 天神島ビジターセンター外壁改修工事**

天神島ビジターセンターの外壁を改修した。

○12月28日号 横須賀製鉄所副首長ティボディエの家(1)調査と発見 菊地

○4年2月2日号 博物館と理科フェス 内船

○4年3月1日号 横須賀製鉄所副首長ティボディエの家2 特徴的な屋根の構造—フレンチトラス 菊地

**ウ ツイッター**

384件投稿した。フォロワー数1,361人(令和4年3月7日)(担当:青木・山本)

**エ インスタグラム**

82件投稿した。フォロワー数271人(令和4年3月7日)(担当:青木)

**オ 横須賀市博ムービーチャンネル (YouTube)**

動画投稿サイト YouTube を活用し、三浦半島の自然や歴史、展示解説などの動画を紹介した。動画39件(新着動画7件)、視聴回数合計24,982回、総再生時間551.4時間(令和3年度)、チャンネル登録者数181人(令和4年3月31日)。(担当:柴田・青木)

新着動画一覧

○足跡化石コレクション～恐竜・ナウマンゾウ～(担当:柴田)

○暗い展示室で見えるのは…(担当:瀬川)

○きけんな生き物(クラゲ編)(担当:萩原)

○判じ絵をよむ - 神奈川県の名地名編 - (担当:藤井)

○きけんな海の生き物(タコ・魚編)(担当:萩原)

○どんぐりの笛づくり(担当:萩原)

○むかしの写真「横須賀製鉄所製図工長メラング伝来写真」横須賀市自然・人文博物館コレクション(担当:菊地)

**(8) 講習会等の参加**

○神奈川県博物館協会令和3年度第1回研修会、参加。6月4日、はだの歴史博物館。(参加:瀬川)

○神奈川県博物館協会令和3年度第2回研修会、参加。10月15日、よこはま動物園ズーラシア。(参加:瀬川)

○神奈川県博物館協会令和3年度第3回研修会、参加。12月9日、神奈川県立歴史博物館・川崎市市民ミュージアム。(参加:瀬川)

**(6) 消防訓練・避難訓練****ア 本館**

1月26日の文化財防火デーにあわせ、例年、横須賀市中央消防署と共催で消防訓練を行っているが、中央消防署の都合により共催での実施ができなかったため、単独で消防訓練を行った。(担当:北原)

**イ 天神島臨海自然教育園**

6月10日に東南海地震による津波の発生を想定した避難訓練を実施した。(担当:中村)

**(7) ホームページ・メールマガジン・SNS****ア ホームページ**

博物館ホームページを40回更新した。閲覧数(セッション数)は122,425回。(担当:柴田)

**イ メールマガジン**

12回配信した。メールマガジンの登録数724人、配信数524人(4年3月31日)。各メールマガジンには「学芸員自然と歴史のたより」を掲載した。タイトルと執筆者は以下のとおり。(担当:柴田)

○4月3日号 漂着した武士の遺体 藤井

○5月12日号 平和中央公園のクロマツ 山本

○6月1日号 横須賀製鉄所の指導者ヴェルニーとティボディエってどういう関係? 菊地

○6月27日号 三浦半島に再出現したシルビアシジミ 内船

○8月1日号 黒猫ミューザをよろしくお願ひします! 瀬川

○8月31日号 ハゼ類の多様性 萩原

○10月1日号 写真からつくる足跡化石3-Dモデル 柴田

○10月29日号 「くずし字」を学ぶ 藤井

○12月2日号 100年目に開花?天神島のリュウゼツラン 山本



## 職員名簿（令和 3 年度）

館 長 佐々木 暢行  
課 長 柳井 栄美

### （管理運営係）

係 長 金満 嘉政  
主 任 横山 靖志  
担 当 者 青木 微笑  
担 当 者 北原 一郎

### （自然部門）

学芸員・主査 萩原 清司（海洋生物学）  
学芸員・主任 柴田 健一郎（地球科学）  
学芸員・主任 内船 俊樹（昆虫学）  
学 芸 員 山本 薫（植物学）

### （人文部門）

学芸員・主査 菊地 勝広（建築史学）  
学 芸 員 瀬川 涉（民俗学）  
学 芸 員 藤井 明広（文献史学）  
併 任 佐藤 明生  
（図書館郷土資料室）  
併 任 谷合 伸介  
（図書館郷土資料室）

### （天神島臨海自然教育園）

会計年度任用職員 中村 薫  
会計年度任用職員 小長谷 美沙

## 《表紙写真解説》

### 肉食恐竜の足跡化石「ユーブロンテス」

がっしりとした3本の指からなる足跡化石で、肉食恐竜であるディロフォサウルスのなかまが  
残したと考えられている。足跡の上に土砂が降り積もって固まり、やがて地層面がはがれて発見  
された、上に凸のナチュラルキャスト。鋭い爪の跡と、地層面上のマッドクラックが保存されて  
いる。アメリカ合衆国ユタ州セントジョージの下部ジュラ系モエナビ層から産出した標本のレプ  
リカ。YCM-GP1877。特別展示「足跡化石から探る太古の世界」で展示した後、常設展示「生命  
の歴史」に移設した。（柴田）

編集担当：柴田健一郎

### 横須賀市博物館報 第 69 号

2022 年 12 月 発 行

編集・発行 横須賀市自然・人文博物館

〒 238-0016 神奈川県横須賀市深田台 95

電話 046-824-3688 Fax. 046-824-3658

e-mail m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

<https://www.museum.yokosuka.kanagawa.jp>

